

## 第 2 次山武市総合計画 令和元年度施策・基本事業評価結果

### 目 次

#### 【施策・基本事業評価結果】

政策 1	暮らしを支える快適なまちづくり . . . . .	1
政策 2	住みやすい環境と安全なまちづくり . . . . .	19
政策 3	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり . . . . .	49
政策 4	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり . . . . .	67
政策 5	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり . . . . .	99
政策 6	市民と行政が協働してつくるまちづくり . . . . .	125

## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

国・県道においては、市街地における国道126号とそれに接続する県道の渋滞緩和や、通学路及び生活道路では安全に通行できる環境整備が、それぞれ求められています。加えて、成田空港の機能強化に伴い、成田空港方面へのアクセス改善や、産業振興を視野に入れた道路環境の改善が必要となっています。

排水路等を含む道路施設や公園施設については、適正な管理が求められ、定期的な調査や修繕が必要となっています。

駅周辺の市街地については、人口が微減する一方、高齢化が進んでいることから、駅周辺の中心市街地の活性化や、利便性の向上を図る必要があります。その他の地域では、人口減少に伴い増加している空家への対策等を通じて、秩序あるまちなみ形成につなげる必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度(%)	成果	-	56.3	☀ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	道路の拡幅・改良・新設延長(計画期間累計)(km)	成果	-	2.91	☀ (向上)	-	
01	道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果	-	2	☁ (横ばい)	-	
02	成田空港関連事業実施箇所数(延べ)箇所	成果	-	30	☀ (向上)	-	
03	床上浸水件数(件)	成果	-	61	☂ (低下)	-	
04	駅周辺の利便性に対する満足度(%)	成果	-	47	☀ (向上)	-	
05	都市公園長寿命化進捗率(%)	成果	-	13.4	☀ (向上)	-	
05	公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数(件)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	
06	空家対策数(件)	成果	-	8	☁ (横ばい)	-	
06	景観条例指導件数(件)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

### 施策 01 地域核をネットワークする都市整備の推進

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 市全域</li> </ul>	地域核の拠点機能及びネットワークが形成され、利便性が向上します。

#### 施策の成果状況と評価

指標	都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【土木課】	%	53.4	-	56.3	54	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度は56.3%で、基準値と比較して2.9ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 都市施設の整備は順調に進んでいますが、利用頻度の比較的低い都市施設への要望等に対し、事業着手に至らないことなどが、満足度の横ばいの要因と考えられます。</p>		<p>(%)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>				対 前年度
							-
							達成 状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	道路網の整備・維持管理
基本事業	02	成田空港周辺地域としての基盤整備
基本事業	03	浸水対策の推進
基本事業	04	駅周辺の利便性の向上
基本事業	05	公園の適正な管理
基本事業	06	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

### 基本事業01 道路網の整備・維持管理

指標	道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	単位	基準値	実績値（H30）	実績値（R01）	めざそう値（R04）	対基準値
	【土木課】	Km	0	-	2.91	8	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和元年度の道路の拡幅・改良・新設延長は2.91kmです。 < 原因 > 第2次総合計画の道路網の整備・維持管理が順調に進んでいるためです。						対前年度 -
							達成状況 ■■ (中)

### 基本事業01 道路網の整備・維持管理

指標	道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	単位	基準値	実績値（H30）	実績値（R01）	めざそう値（R04）	対基準値
	【土木課】	件	0	-	2	0	☁ (横ばい)
評価	< 状況 > 道路の管理瑕疵に起因する損害賠償件数は2件です。 < 原因 > 道路の老朽化に伴い維持・修繕件数は増加傾向にありますが、道路パトロール、通報等により道路状況の把握に努めましたが、2件発生してしまいました。						対前年度 -
							達成状況 ■■ (中)

### 基本事業02 成田空港周辺地域としての基盤整備

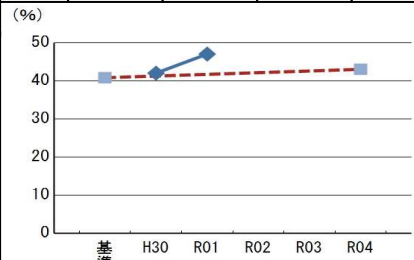
指標	成田空港関連事業実施箇所数（延べ）	単位	基準値	実績値（H30）	実績値（R01）	めざそう値（R04）	対基準値
	【土木課】	箇所	0	-	30	48	☀ (向上)
評価	< 状況 > 令和元年度の成田空港関連事業実施箇所数は30箇所です。 < 原因 > 第2次総合計画の成田空港周辺地域としての基盤整備が順調に進んでいるためです。						対前年度 -
							達成状況 ■■■ (高)

### 基本事業03 浸水対策の推進

指標	床上浸水件数	単位	基準値	実績値（H30）	実績値（R01）	めざそう値（R04）	対基準値
	【土木課】	件	0	-	61	0	☔ (低下)
評価	< 状況 > 令和元年度の床上浸水件数は、61件です。 < 原因 > 排水路の整備は順調に進んでいますが、近年の気象状況の変化により、既設排水路の規格、改修を含め対策が必要と考えられます。						対前年度 -
							達成状況 ■■ (低)

## 基本事業の成果状況と評価

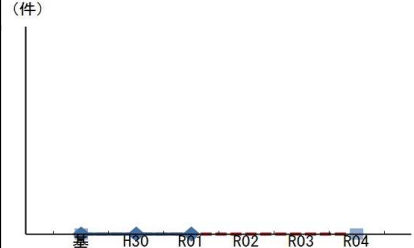
### 基本事業04 駅周辺の利便性の向上

指標	駅周辺の利便性に対する満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【都市整備課】	%	40.8	-	47	43	
評価	<div>(%)</div>						(向上)
	< 状況 > 令和元年度の駅周辺の利便性に対する満足度は47%で、基準値と比較して6.2ポイント増加しました。						対 前年度
	< 原因 > 令和元年度については、成東駅では、周辺道路工事による将来への期待が高まったものと考えられる一方で、10歳代などの若い層や60～64歳代、また、整備の行われていない日向駅や松尾駅の利用者の不満が多い傾向でした。						-
	電車本数の増加、駅へのアクセス向上、駐車場や停車スペース、店舗や立寄り所などの周辺施設整備が求められています。						達成 状況
							 (達成)


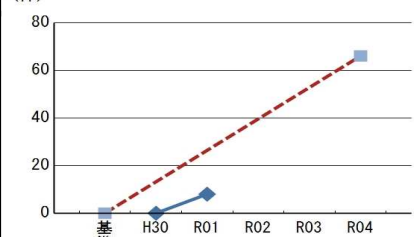

### 基本事業05 公園の適正な管理

指標	都市公園長寿命化進捗率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		%	0	-	13.4	40.3	
評 価		(%)					(向上)
	< 状況 > 令和元年度の都市公園菱樹評価進捗率は13.4%でした。						対 前年度
	< 原因 > 290施設のうち、健全度調査を実施したC判定が88施設、D判定が29施設の117施設について、令和4年度までを目標値として修繕・更新を行うものとなります。						-
	令和元年度は117施設のうち、39施設を行っています。						達成 状況
		(中)					

### 基本事業05 公園の適正な管理




指標	公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		件	0	-	0	0	
		【都市整備課】	(件)				
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の公園維持管理上の庇護による損害賠償件数は0件で、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 都市公園施設の遊具については、毎年安全点検が義務付けされており、点検が実施されています。また、その他の公園施設についても2年に1度、点検が実施されており、老朽化している施設については適時、修繕が行われています。</p> <p>また、台風15号等で多くの公園の倒木などがありましたが、迅速な災害対応により、適切な維持管理が図られたためです。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
値							(達成)

### 基本事業06 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

指標	空家対策数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値						
	【都市整備課】	件	0	-	8	66							
評価 値	<p>＜状況＞ 令和元年度の空家対策数は8件でした。</p> <p>＜原因＞ 令和元年度については、台風15号等の影響により、相談件数や対応件数が増えたものの、業務に遅れが生じ、特定空家の認定や相談会が未実施となりました。</p> <p>また、適正管理の推進におけるリーフレットの配布も年度末となり、地区周知における回覧も未実施となったことから、空家の改善に至るケースが少なかったことが原因と考えられます。</p>						(件)						
													(横ばい)
													対 前年度
													-
													達成 状況
						 (中)							

基本事業の成果状況と評価

基本事業06 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用

指標	景観条例指導件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		件	1	-	0	0	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の景観条例指導件数は0件で、基準値と比較して1件減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 景観条例に関する届出件数は27件ありましたが、事前協議の段階で届出者との調整を丁寧に行っている事が原因と考えられます。</p>	<p>(横ばい)</p>					
							対 前年度
							-
							達成 状況  (達成)

## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

人口減少及び少子高齢化（平成29年4月1日現在、高齢化率31.8%）が急速に進んでおり、日常生活の移動手段がない高齢者が増加傾向にあり、交通弱者の移動手段として公共交通の重要性は大きくなっています。

そのため、市内3区域を運行するデマンド対応の乗合タクシーと、各地域の拠点及び主要施設間を連絡する基幹バスを運行し、接続可能な公共交通の確立を目指します。

本計画期間では、平成30年度に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」に基づき、各交通手段の連携と維持向上、より公共交通を使いやすい環境づくりに取り組んでいきます。



## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
公共交通網の満足度 (%)	成果	-	45.9	☀ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内移動の交通手段に困っている市民の割合 (%)	成果	-	34.5	☀ (向上)	-	
01	基幹バスの年間利用者数 (人)	代替	-	47,854	☀ (横ばい)	-	
01	乗合タクシーの年間利用者数 (人)	代替	-	47,462	☀ (横ばい)	-	
01	バス運行状況の満足度 (%)	成果	-	42.4	☀ (向上)	-	
02	東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数 (人)	成果	-	1,117	☂ (低下)	-	
02	成田空港方面への1日当たりのバス利用者数 (人)	成果	-	68.5	☂ (低下)	-	
03	1日当たりの鉄道利用者数 (人)	代替	-	4,551	☂ (低下)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

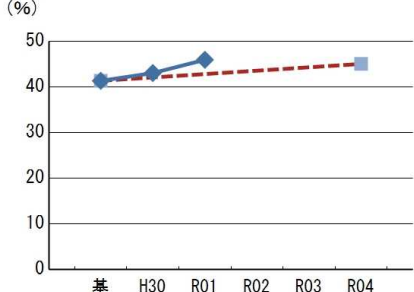
## 政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

### 施策 02 公共交通網の整備・充実

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 交通事業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通網が充実し、市民生活における移動の利便性が高まります。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価

指標	公共交通網の満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	%	41.3	-	45.9	45	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の公共交通網の満足度は45.9%で、基準値と比較して4.6ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; アンケートの割合では、男女とも45%を超え、年代別では10歳代は40%弱ですが、60歳代以上では50%前後です。地域別では成東地域の52.5%と山武地域の38.6%で地域差がみられます。公共交通として、鉄道・一般路線バス・一般タクシーに加え、基幹バス・乗合タクシーの認知と利用が市民に浸透していきいているものと考えます。</p>			<p>(%)</p>  <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>			対 前年度
							-
							達成 状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市内における交通手段の確保

基本事業 02 バスでの主要都市へのアクセス向上

基本事業 03 鉄道の利便性向上

### 基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	%	39.7	-	34.5	35.8	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市内移動の交通手段に困っている市民の割合は34.5%で、基準値と比較して5.2ポイント減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 一般の公共交通機関に加え、基幹バス・乗合タクシーの認知と利用が進んだことにより指標値が向上したものと考えます。アンケートの割合では、若年層で50%を超え、地域間では10%程度の差異もみられることから、指標値の向上には、世代や地域ニーズに配慮した取り組みが必要であると考えます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ☑ (達成)

### 基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	基幹バスの年間利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	人	47,723	-	47,854	48,000	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の基幹バスの年間利用者数は47,854人で、基準値を131人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 基幹バスの利用者数は、運行開始時から全体として増加傾向にありますが、令和元年度は、台風15号やコロナ禍の影響もあり、利用者数が伸び悩む要因がありました。利用者の増加には、利用者ニーズへの対応と車両やバス停等の利用しやすい環境づくり等が必要と考えます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ☑ (高)

### 基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	乗合タクシーの年間利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	人	46,670	-	47,462	47,000	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の乗合タクシーの年間利用者数は47,762人で、基準値と比較して792人増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 乗合タクシーの利用者数は、運行開始時から全体として増加傾向にありますが、令和元年度は、台風15号やコロナ禍の影響もあり、利用者数が伸び悩む要因がありました。利用者の増加には、限られた車両数のため飽和状態の時間帯もありますが、予約しやすい時間帯の情報提供や相乗りの推進のほか、利用者ニーズへの対応が必要と考えます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ☑ (達成)

### 基本事業01 市内における交通手段の確保

指標	バス運行状況の満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	%	36.2	-	42.4	39	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のバス運行状況の満足度は42.4%で、基準値と比較して6.2ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 一般路線バス、基幹バスや空港シャトルバスのほか、平成30年10月から実証実験運行を開始したウイングライナー(さんむ成田線)が満足度の向上に寄与しているものと考えます。アンケートでは、年代とともにバス離れの傾向があること、旧町村地域での差が見受けられることから、これらへの対応が必要と考えます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ☑ (達成)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業02 バスでの主要都市へのアクセス向上

指標	東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	人	1,270	-	1,117	1,332	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数は1,117人で、基準値と比較して153人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 利用者数の減少は、ストロベリーライナー(海浜幕張方面行)が平成30年度の平日便休止に続く令和元年度6月からの土休日の減便、台風による欠便やコロナ禍の影響により利用者が減少したことが原因であると考えます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■■■ (低)

### 基本事業02 バスでの主要都市へのアクセス向上

指標	成田空港方面への1日当たりのバス利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	人	91	-	68.5	95	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の成田空港方面への1日当たりのバス利用者数は68.5人で、基準値と比較して22.5人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は、台風15号やコロナ禍の影響もあり、利用者数が伸び悩む要因がありました。利用者の増加には、利用者ニーズへの対応と車両やバス停等の利用しやすい環境づくり等が必要と考えます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■■■ (低)

### 基本事業03 鉄道の利便性向上

指標	1日当たりの鉄道利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	人	4,841	-	4,551	4,605	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和年度の1日当たりの鉄道利用者数は4,551人で、基準値と比較して290人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 各駅の利用者の内訳は、成東駅2,783人(前年比290人減)、日向駅873人(前年比51人減)、松尾駅895人(前年比44人減)です。また、市人口に対する利用者割合は、基準年度の9.2人と比較して令和元年度は8.9人に減少しています。これは、台風15号やコロナ禍の影響もありますが、人口減少に伴う少子高齢化により、通勤通学利用者数の減少が進んでいるものと考えます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■■■ (中)




## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題










東日本大震災以降、市内の自主防災組織の設置が促進されています。地域主体の継続的な活動が期待されます。  
千葉県地域防災計画の一部改訂を受けて、避難行動要支援者の個別支援計画の策定が必要となります。  
近年は台風等の集中豪雨による災害が多く発生しています。自主防災組織による訓練等の積極的な活動が期待されます。  
地域防災強化として消防団員の確保が必要です。団員の消防技術の維持・向上のために訓練が必要です。  
津波対策として、井之内地先に津波避難施設（築山）の整備を進めています。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
災害被災戸数(火災含む)(戸)	成果	-	2,621	 (低下)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	自主防災組織数(組織)	成果	-	81	 (向上)	-	
01	各地区防災訓練実施率(%)	成果	-	46.2	 (横ばい)	-	
01	避難行動要支援者名簿の情報提供に同意した人数の割合(%)	代替	-	22.3	 (横ばい)	-	
02	地域防災計画における災害支援体制7項目の充足率(%)	成果	-	100	 (横ばい)	-	
03	災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)(項目)	成果	-	4.88	 (向上)	-	
04	消防団の火災出動率(%)	成果	-	65.8	 (横ばい)	-	
04	消防団員の充足率(%)	成果	-	93.5	 (横ばい)	-	
04	常備消防職員の充足率(%)	代替	-	98.2	 (横ばい)	-	
05	強靱化対策が終了した箇所 施設数(東日本大震災以降の累計)(箇所)	成果	-	5	 (向上)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策 03 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民・行政</li> <li>・ 消防団・常備消防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の防災意識が高まり、地域の防災力が向上し、災害の被害が少なくなります。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	災害被災戸数(火災含む)	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【消防防災課】	戸	59	-	2,621	50	☂ (低下)														
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の災害被災戸数（火災含む）は2621戸で、基準値と比較して2562戸増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は、台風15号及び19号並びに10月25日大雨により強風、浸水による被災によるものです。</p>			<p>(戸)</p> <table><caption>災害被災戸数(火災含む)実績値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値(戸)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>59</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>R01</td><td>2,621</td></tr><tr><td>R02</td><td>0</td></tr><tr><td>R03</td><td>0</td></tr><tr><td>R04</td><td>50</td></tr></tbody></table>			年度	実績値(戸)	基準	59	H30	-	R01	2,621	R02	0	R03	0	R04	50	対 前年度
							年度	実績値(戸)													
							基準	59													
							H30	-													
R01	2,621																				
R02	0																				
R03	0																				
R04	50																				
-																					
達成 状況																					
■■■ (低)																					

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。



## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業 01 地域防災力の向上

### 基本事業 02 災害支援体制の確立

### 基本事業 03 防災意識の向上


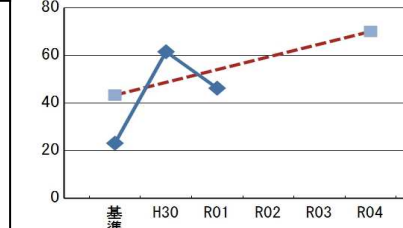

### 基本事業 04 消防力の充実

### 基本事業 05 強靱化対策の推進

#### 基本事業01 地域防災力の向上

指標	自主防災組織数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値																
	【消防防災課】	組織	67	-	81	72																	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の自主防災組織数は81組織で、基準値と比較して14組織増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 元年度末現在の組織数は81組織で、成東地区44組織、山武地区11組織、松尾地区12組織、蓮沼地区14地区で訓練を実施しました。</p>	(組織)					(向上)																
		<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>67</td></tr><tr><td>H30</td><td>67</td></tr><tr><td>R01</td><td>81</td></tr><tr><td>R02</td><td>81</td></tr><tr><td>R03</td><td>81</td></tr><tr><td>R04</td><td>81</td></tr><tr><td>めざそう値</td><td>72</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	67	H30	67	R01	81	R02	81	R03	81	R04	81	めざそう値	72	対 前年度
		項目	値																				
		基準	67																				
		H30	67																				
R01	81																						
R02	81																						
R03	81																						
R04	81																						
めざそう値	72																						
					-																		
					達成 状況																		
					 (達成)																		


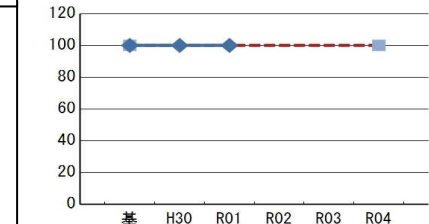

#### 基本事業01 地域防災力の向上

指標	各地区防災訓練実施率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値															
		【消防防災課】																				
		%	43.3	-	46.2	70	(横ばい)															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の各地区防災訓練実施率は46.2%で、基準値と比較して2.9ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 元年度は、原横地、富田、本須賀、姫島、日向台、日向ニュータウン、八田長谷地区の6地区で訓練を実施しました。蓮沼地区については台風の影響により元年度は中止となりました。</p>	<p>(%)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>43.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>43.3</td></tr><tr><td>R01</td><td>46.2</td></tr><tr><td>R02</td><td>46.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>46.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>70</td></tr></tbody></table>						項目	値	基準	43.3	H30	43.3	R01	46.2	R02	46.2	R03	46.2	R04	70	対 前年度
		項目	値																			
		基準	43.3																			
		H30	43.3																			
R01	46.2																					
R02	46.2																					
R03	46.2																					
R04	70																					
	-																					
	達成 状況																					
	 (中)																					

#### 基本事業01 地域防災力の向上

指標	避難行動要支援者名簿の情報提供に同意した人数の割合					単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値															
						%	22.1	-	22.3	75																
	【社会福祉課】																									
評価						(%)	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>22.1</td></tr><tr><td>H30</td><td>22.1</td></tr><tr><td>R01</td><td>22.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>22.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>22.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>75</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	22.1	H30	22.1	R01	22.3	R02	22.3	R03	22.3	R04	75	(横ばい)
	項目	値																								
	基準	22.1																								
	H30	22.1																								
	R01	22.3																								
R02	22.3																									
R03	22.3																									
R04	75																									
< 状況 > 令和元年度の避難行動要支援者名簿の情報提供に同意した人数の割合は22.3%で、基準値と比較して0.2ポイント増加しました。											対 前年度															
< 原因 > 令和元年度は、避難行動要支援者名簿の登載者のうち、平時の情報提供に同意した人の割合で集計しています。											-															
令和2年度以降は、山武市避難行動要支援者名簿に関する条例施行により、平時の名簿提供を拒否した方を除き名簿提供が可能となるため、名簿提供拒否者以外の方が平時の情報提供に同意した方となります。											達成 状況															
											 (中)															

#### 基本事業02 災害支援体制の確立

指標	地域防災計画における災害支援体制 7 項目の充足率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
		【消防防災課】																			
		%	100	-	100	100															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の地域防災計画における災害支援体制 7 項目の充足率は 100%で、基準値を維持し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 災害協定については令和元年度4協定新たに協定締結しました。備蓄品については、賞味期限を迎える食品等を入替備蓄を行いました。給水体制(22箇所)、伝達手段(8種類)については、基準値を維持しています。防災行政無線、戸別受信機についての不具合については、保守管理を実施し修繕、交換にて対応しています。</p>	<div>(%)</div>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>達成率 (%)</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr></tbody></table>					項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	達成率 (%)	100	100	100	100	100	100	(横ばい)
							項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04								
							達成率 (%)	100	100	100	100	100	100								
							対前年度														
							-														
達成状況																					
																					
							(達成)														

## 基本事業の成果状況と評価


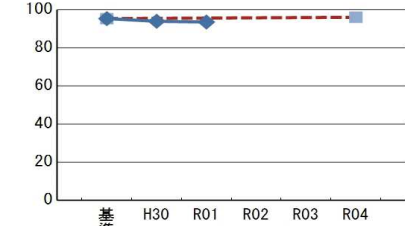

### 基本事業03 防災意識の向上

指標	災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【消防防災課】	項目	4.14	-	4.88	4.25															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の災害に対する備えの平均実施項目数のは4.88項目で、基準値と比較して0.74項目増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 災害時に必要とされる飲料水、保存食品、ラジオ・懐中電灯、燃料など基本的な備えは出来ていると思われます。また、災害時の避難場所の把握も家族で共有できていると思われます。</p>	(項目)					(向上)														
		<table border="1"><caption>Disaster Preparedness Data</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4.14</td></tr><tr><td>H30</td><td>4.14</td></tr><tr><td>R01</td><td>4.88</td></tr><tr><td>R02</td><td>4.25</td></tr><tr><td>R03</td><td>4.25</td></tr><tr><td>R04</td><td>4.25</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	4.14	H30	4.14	R01	4.88	R02	4.25	R03	4.25	R04	4.25	対 前年度
		項目	値																		
		基準	4.14																		
		H30	4.14																		
R01	4.88																				
R02	4.25																				
R03	4.25																				
R04	4.25																				
					-																
					達成 状況																
					 (達成)																


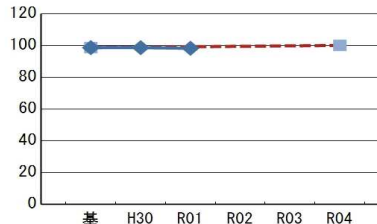

### 基本事業04 消防力の充実

指標	消防団の火災出動率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値																					
	【消防防災課】	%	64.8	-	65.8	70																						
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の消防団の火災出動率は65.8%で、基準値と比較して、1ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 消防団員の被用者化や高齢化が進み、出動率は減少傾向にあります が、団員の意識が維持されているため、基準値は上回っていると考 えられます。</p>	(%) <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>64.8</td><td>65.8</td><td>65.8</td><td>65.8</td><td>65.8</td><td>65.8</td></tr><tr><td>めざそう値</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>70</td></tr></tbody></table>					項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	実績値	64.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	めざそう値	-	-	-	-	-	70	(横ばい)
		項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04																				
		実績値	64.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8																				
		めざそう値	-	-	-	-	-	70																				
		対 前年度	-																									
達成 状況																												
	(中)																											

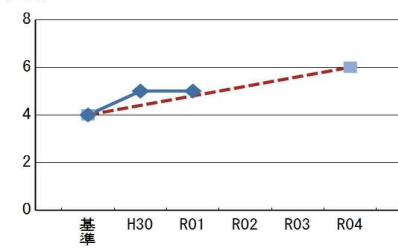
### 基本事業04 消防力の充実

指標	消防団員の充足率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【消防防災課】	%	95.3	-	93.5	96	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の消防団員の充足率は93.5%で、基準値と比較して1.8ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 若年層の減少や地域参加への意識希薄化等により、新入団員の確保が難しくなっていると考えられます。</p>	(%) 					(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							 (低)

### 基本事業04 消防力の充実

指標	常備消防職員の充足率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【消防防災課】	%	98.6	-	98.2	100	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の常備消防職員の充足率は98.2%で、基準値と比較して0.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 定員は278名となっていますが、山武郡市広域行政組合定員適正化計画によって、273名を目標職員数としています。</p>	<div>(%)</div>  <div>基準 H30 R01 R02 R03 R04</div>					(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							 (低)

基本事業05 強靱化対策の推進

指標	強靱化対策が終了した箇所・施設数（東日本大震災以降の累計）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		箇所	4	-	5	6	
評価	<p>＜状況＞ 令和元年度現在の強靱化対策が終了した箇所・施設数は5箇所、 基準値と比較して1箇所増加しました。</p> <p>＜原因＞ 津波避難タワー（2基）、津波避難階段（2施設）、木戸川堤防嵩上げが完了し、津波から生命・財産を守るインフラ整備が着実に進んでいます。</p>	【消防防災課】					
		(箇所)					(向上)
							対 前年度
							-
							達成 状況
価							(中)

## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

空き家及び空き地における雑草等の管理不良状態を放置する管理者が、居所不明の場合等における対策が必要になります。

畑及び畜産場周辺における農薬等の影響、山林等における産業廃棄物の不法投棄により、地下水の水質汚染が懸念されています。

産業廃棄物の不法投棄件数は、毎年10件以内で推移していますが、啓発運動、パトロールの強化により大規模な不法投棄は減少しています。

成田国際空港の更なる機能強化策として、第3滑走路の新設・飛行時間の延長が提案されたことから、周辺自治体として新たな騒音対策等が必要となります。

航空機騒音直下の市民等に対し、飛行回数増に対する防音等の整備措置を、成田国際空港株式会社に要請していきます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
快適な生活環境が整っていると思う市民の割合 (%)	成果	-	70.9	☀ (横ばい)	-	
生活環境に関する苦情件数 (件)	成果	-	274	☂ (低下)	-	
航空機騒音を不快に感じる市民の割合 (%)	成果	-	78.4	☀ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	空地の管理 (雑草等) 苦情件数 (件)	成果	-	127	☀ (横ばい)	-	
01	その他生活公害苦情件数 (件)	成果	-	34	☂ (低下)	-	
02	産業廃棄物不法投棄件数 (件)	成果	-	13	☂ (低下)	-	
02	一般廃棄物等不法投棄件数 (件)	成果	-	100	☂ (低下)	-	
02	ごみゼロ運動参加者数 (人)	成果	-	9,571	☀ (横ばい)	-	
03	航空機騒音対策に対する満足度 (%)	成果	-	76.4	☀ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

### 施策 01 生活環境の充実

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 市民が快適に暮らせる生活環境を確保します。

#### 施策の成果状況と評価

指標	快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	%	67.6	-	70.9	70	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の快適な生活環境が整っていると思う市民の割合は70.9%で、基準値と比較して3.3ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 30年度と比較すると、騒音、悪臭、野焼きについての苦情件数は減少していますが、空地の管理、犬・猫の管理に関する苦情は増加傾向にあります。</p>						対 前年度 -
							達成 状況 ☀ (達成)

指標	生活環境に関する苦情件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	件	248	-	274	248	☔ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の生活環境に関する苦情件数は274件で、基準値と比較して26件増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 苦情の内容は、空き地の管理に関するものが127件で5件の増加、不法投棄に関する苦情は113件で34件増加しました。増加の主な原因としては、台風災害以降の苦情件数が9件増加したことが原因とされます。引続き不法投棄禁止看板やパトロール強化に努めます。</p>						対 前年度 -
							達成 状況 ☔ (低)

指標	航空機騒音を不快に感じる市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	%	78.4	-	78.4	75	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 航空機騒音を不快に感じる市民の割合は78.4%で、基準値と同じ割合でした。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 成田国際空港における航空機発着便数の増加や飛行時間が1時間延長され24時までになる等の変化はあったものの、航空機の中・小型化や低騒音化が進んでいることが騒音を不快に感じる市民の割合が増加しなかった要因であると考えられます。</p>						対 前年度 -
							達成 状況 ☀ (中)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業 01 生活公害の対策


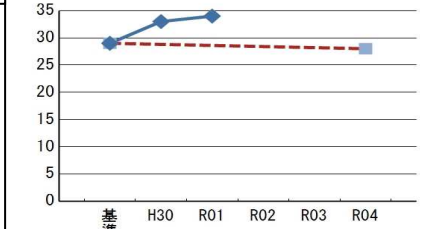

### 基本事業 02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

### 基本事業 03 航空機騒音等の対策



#### 基本事業01 生活公害の対策

指標	空地の管理（雑草等）苦情件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値															
	【環境保全課】	件	128	-	127	128	☀ (横ばい)															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の空き地の管理（雑草等）の苦情件数は127件で、基準値と比較して1件減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 指導書を受けた土地管理者が継続的な管理を行っていると考えられます。</p>	<p>(件)</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>128</td></tr><tr><td>H30</td><td>127</td></tr><tr><td>R01</td><td>127</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>128</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	128	H30	127	R01	127	R02	-	R03	-	R04	128	対 前年度 -	達成 状況 ☀ (達成)
							項目	値														
基準	128																					
H30	127																					
R01	127																					
R02	-																					
R03	-																					
R04	128																					


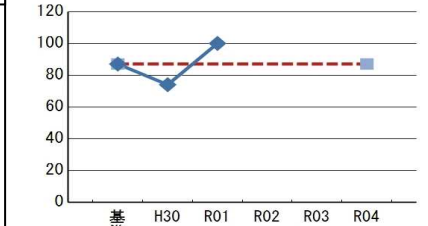

#### 基本事業01 生活公害の対策

指標	その他生活公害苦情件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	件	29	-	34	28	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のその他生活公害苦情件数は34件で、基準値と比較して5件増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 公害苦情件数内訳は騒音1件、悪臭2件、犬・猫管理9件、野焼き22件で、30年度と比較すると騒音は3件、野焼きは2件減少していますが、犬・猫管理苦情件数は6件増加しました。原因としては、飼い主の飼い方マナーの悪さを指摘する苦情であったため、山武保健所と連携した指導を図ります。</p>	<p>(件)</p> 					(低下)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							 (中)

#### 基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	産業廃棄物不法投棄件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
		件	4	-	13	4															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の産業廃棄物不法投棄件数は13件で、基準値と比較して9件増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 投棄された廃棄物は廃プラスチック、瓦、廃油と事業者による不法投棄が増加しました。原因としては、事業者による廃棄物の不法処理が原因と思われます。対策として、関係機関と連携を図り、パトロールを強化します。</p>	<p>(件)</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4</td></tr><tr><td>H30</td><td>13</td></tr><tr><td>R01</td><td>13</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>4</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	4	H30	13	R01	13	R02	-	R03	-	R04	4	<p>(低下)</p>
		項目	値																		
基準	4																				
H30	13																				
R01	13																				
R02	-																				
R03	-																				
R04	4																				
対 前年度	-																				
達成 状況	-																				
	 <p>(低)</p>																				

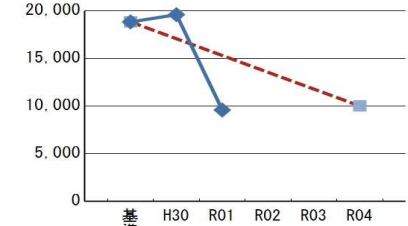
#### 基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	一般廃棄物等不法投棄件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【環境保全課】	件	87	-	100	87															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の一般廃棄物等不法投棄件数は100件で、基準値と比較して13件増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 投棄されたごみは一般廃棄物の生活ごみで家庭における可燃ごみや布団、令和元年は消費税の増税もあり、買い替え時に保管されていたテレビの適正処分がされなかったことが不法投棄増加の原因と思われます。対策として、関係機関と連携を図り、パトロールを強化します。</p>	<p>(件)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>87</td></tr><tr><td>H30</td><td>100</td></tr><tr><td>R01</td><td>100</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>87</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	87	H30	100	R01	100	R02	-	R03	-	R04	87	(低下)
		項目	値																		
基準	87																				
H30	100																				
R01	100																				
R02	-																				
R03	-																				
R04	87																				
							対 前年度														
							-														
							達成 状況														
							 (低)														

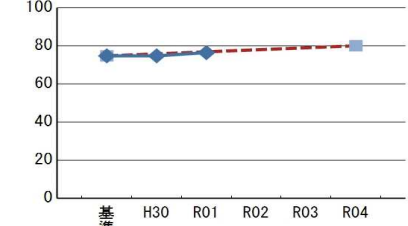


基本事業の成果状況と評価

基本事業02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

指標	ごみゼロ運動参加者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
		人	18,817	-	9,571	10,000	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度ごみゼロ運動参加者数は、9,571人が参加し基準値と比較し9,246人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度よりごみゼロ運動は年1回の開催となり、基準値は年2回実施時の数値となります。1回の開催で比較すると参加者の平均は9,409人のため横ばいです。</p>	<p>(人)</p> 					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況
							■■ (中)

基本事業03 航空機騒音等の対策

指標	航空機騒音対策に対する満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
		%	74.7	-	76.4	80	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の航空機騒音対策に対する満足度は76.4%で、基準値と比較して1.7ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 満足度が上昇した要因としては、防音家屋冷暖房設備維持管理補助金を増額したことが考えられます。</p> <p>めざそう値に到達しなかった要因としては、飛行時間が1時間延長され24時までになったことなどが影響していると考えられます。</p>	<p>(%)</p> 					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況
							■■■ (高)





## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

家庭ごみの排出量は市民のごみ減量化・再資源化に対する意識が向上してきており減少傾向にありましたが、令和元年度は災害により発生したごみの搬出が多くなりました。

外国人の誤出しが多くみられることから、山武都市環境衛生組合を含めごみ袋への英語表記やHPなどを活用した、分別方法等の周知を図る必要があります。

市民と事業者が、廃棄物の適正排出の意識を高め、きめ細かなごみ分別を行っていく必要があります。このため、廃棄物の3Rを総合的に推進する必要があります。（リサイクル倉庫の活用、資源回収運動奨励制度の普及等）


ごみの最終処理が2つの組合に委託され、袋の料金、容量、収集方法、分別方法等が異なっています。

現在実施されている両組合の分別収集品目を今後協議しつつ、法に定めるところの容器包装廃棄物（10品目）の分別収集に取り組む必要があります。（東金市外三市町清掃組合：7品目、山武都市環境衛生組合：9品目）

2028年度からは、成東地域のごみ処理も山武都市環境衛生組合で取り扱うことから、一本化に向けた検討を行う必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
1人 1日当たりのごみ排出量 (g)	成果	-	764	 (低下)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	家庭ごみ排出量 (t)	成果	-	10,824	 (横ばい)	-	
01	事業系ごみ排出量 (t)	成果	-	3,380	 (低下)	-	
01	再資源化率 (%)	成果	-	16.8	 (横ばい)	-	
02	ごみ排出指導件数 (件)	成果	-	4	 (横ばい)	-	
02	残置シール貼付件数 (件)	成果	-	1,653	 (横ばい)	-	
03	1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)(円)	成果	-	9,535	 (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

### 施策 02 廃棄物の減量・処理の適正化

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 事業者</li> <li>・ 廃棄物処置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみ排出量が減り、安全に効率的に処理されます。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価

指標	1人1日当たりのごみ排出量	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	g	719	-	764	719	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の1人1日当たりのごみ排出量は764gで、基準値と比較して45g増加しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は災害による家庭ごみの排出量が増加したことが原因と考えられます。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 ごみの減量化・再資源化の推進

基本事業 02 廃棄物に関する意識の向上と啓発

基本事業 03 ごみ処理の効率化

### 基本事業01 ごみの減量化・再資源化の推進

指標	家庭ごみ排出量	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	t	10,693	-	10,824	10,501	(横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度家庭ごみの排出量は10,824 t で、基準値と比較して131 t 増加しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は災害により排出された家庭ごみが増加したことが原因と考えられます。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 (低)

### 基本事業01 ごみの減量化・再資源化の推進

指標	事業系ごみ排出量	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	t	3,052	-	3,380	3,153	(低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の事業系ごみ排出量は3,380t で、基準値と比較して328 t 増加しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 事業系ごみは事業活動に伴い発生するため、景気の動向に左右されることが考えられます。</p>						(低下)
							対前年度
							-
							達成状況 (低)

### 基本事業01 ごみの減量化・再資源化の推進

指標	再資源化率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	%	17.3	-	16.8	18.9	(横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の再資源化率は16.8%で、基準値と比較して0.5ポイント減少しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; リサイクル倉庫の利用量や焼却灰からリサイクルする溶融スラグ等、資源化量は増加している一方で、市民団体等が実施する資源回収運動による量は減少しています。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 (低)

### 基本事業02 廃棄物に関する意識の向上と啓発

指標	ごみ排出指導件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	0	-	4	0	(横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のごみ排出指導件数は4件で、基準値と比較して4件増加しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 外国人の不適物が多く見受けられます。排出者が特定された外国人については、訪問し適宜指導を行っています。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 (低)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業02 廃棄物に関する意識の向上と啓発

指標	残置シール貼付件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	件	1,657	-	1,653	1,657	☀️
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の残置シール貼付け件数は1,653件で、基準値と比較して4件減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 傾向として外国人の不適物が多く見受けられたことから転入時に英語でのごみ出しパンフレットを渡しごみ出しの意識向上を図りました。</p>	<p>(件)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況 🏰 (達成)

### 基本事業03 ごみ処理の効率化

指標	1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	円	9,409	-	9,535	10,115	☁️
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の1人当たりの負担金額(収集料金・ごみ袋代金を含む)は9,535円で、基準値と比較して126円増加していますが、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 人口減少及び山武郡市環境衛生組合の分担金が増額となったことが考えられます。</p>	<p>(円)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況 🏰 (達成)



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

地域での環境活動を充実させ、自然環境保全に係る体制を整備する必要があります。

自然環境保全について、市民や企業の意識を高め、自主的な取組を促す必要があります。

林業者不足による山林の荒廃が進んでいるため、森林保全の一環として、県及び民間事業者と共同でバイオマスの取組を実施していきます。

地球温暖化防止のため二酸化炭素の排出量の削減が求められています。

公共用水域の水質が徐々に改善されています。

農業集落排水事業が太平、借毛本郷、武野里、大富の4地区で供用開始しています。円滑な運営のため接続率の向上と汚泥のコンポスト化を図ります。

浄化槽の維持管理が行われておらず、未処理の汚水が公共用水域に排水されてしまうおそれがあります。新築住宅での水洗化はほぼ100%で、合併浄化槽が設置されている状況ですが、引き続き合併処理浄化槽の適正な設置と補助金の継続を図ります。



## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
自然環境の満足度 (%)	成果	-	80.5	☀ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	自然環境保全活動に参加している団体数 (団体)	成果	-	33	☀ (向上)	-	
02	環境にやさしい生活様式平均実践項目数 (項目)	成果	-	5.13	☀ (向上)	-	
02	環境学習参加団体数 (団体)	成果	-	17	☀ (横ばい)	-	
03	バイオマスに関する取組の事業数 (累計) (件)	代替	-	8	☀ (横ばい)	-	
04	再生可能エネルギーの発電装置の普及件数 (件)	成果	-	1,948	☀ (向上)	-	
04	再生可能エネルギーの発電装置による契約発電量 (kw)	成果	-	463,844	☀ (向上)	-	
04	市の事務事業により発生する二酸化炭素の量 (tCO <sub>2</sub> )	成果	-	4,772	☀ (向上)	-	
05	BOD濃度作田川 (中流域) (mg/l)	成果	-	1.7	☀ (向上)	-	
05	BOD濃度木戸川 (中流域) (mg/l)	成果	-	1.5	☀ (横ばい)	-	
05	汚水処理世帯の普及率 (%)	成果	-	44.3	☀ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

### 施策 03 自然環境の保全

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民・事業者</li> <li>・ ボランティア団体</li> <li>・ N P O 法人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民や企業による自然環境保護の取組や地球に負荷を与えない行動が定着化し、市の豊かな自然環境が保全されています。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価

指標	自然環境の満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	%	77.5	-	80.5	80	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の自然環境の満足度は80.5%で、基準値と比較して3ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; まちづくりアンケートの結果では、蓮沼地域において、「ふつう」と回答した人が6ポイント増加しています。結果として蓮沼地域のアンケート結果が一因と思われます。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	自然環境保全活動の推進
基本事業	02	自然環境取組意識の向上
基本事業	03	バイオスタウン構想の推進
基本事業	04	再生可能エネルギー対策の推進
基本事業	05	汚水処理の推進

### 基本事業01 自然環境保全活動の推進

指標	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
自然環境保全活動に参加している団体数	団体	29	-	33	29	☀
	【環境保全課】					(向上)
評価	<p>(団体)</p> <p>令和元年度の自然環境保全活動に参加している団体数は33団体で、基準値と比較して4団体増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>＜原因＞ 自然環境保全に関する市民や企業の意識が高まっていることから、引き続き環境活動への参加を進めていきます。</p>					対前年度 -
						達成状況 ☀ (達成)

### 基本事業02 自然環境取組意識の向上

指標	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
環境にやさしい生活様式平均実践項目数	項目	4.83	-	5.13	4.83	☀
	【環境保全課】					(向上)
評価	<p>(項目)</p> <p>令和元年度の環境にやさしい生活様式平均実践項目数は5.13項目で基準値と比較して0.3項目増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>＜原因＞ 市民意識として、環境にやさしい生活への取り組みは図られています。</p>					対前年度 -
						達成状況 ☀ (達成)

### 基本事業02 自然環境取組意識の向上

指標	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
環境学習参加団体数	団体	19	-	17	16	☀
	【環境保全課】					(横ばい)
評価	<p>(団体)</p> <p>令和元年度の環境学習参加団体数は17団体で、基準値と比較して2団体減少しました。</p> <p>＜原因＞ 環境学習の取り組みとしては、市内小中学校17校において、環境学習として水路での水質検査や水道施設における水の浄化の仕組みを特別学習として学んでいます。令和元年度指標地の減少は、小中学校の統合によるものです。 小学校1校、中学校1校減少</p>					対前年度 -
						達成状況 ■ (中)

### 基本事業03 バイオスタウン構想の推進

指標	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
バイオマスに関する取組の事業数(累計)	件	8	-	8	9	☀
	【農林水産課】					(横ばい)
評価	<p>(件)</p> <p>令和元年度のバイオマスに関する取組の事業数は8件で、基準値を維持しています。</p> <p>＜原因＞ 想定していたよりも事業構築に時間を要したため、めざそう値を達成できませんでした。</p>					対前年度 -
						達成状況 ■ (中)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業04 再生可能エネルギー対策の推進

指標	再生可能エネルギーの発電装置の普及件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	1,538	-	1,948	1,538	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の再生可能エネルギー発電装置の普及件数は1,948件で、基準値と比較して410件増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 再生可能エネルギーの普及に積極的に取り組み、二酸化炭素の削減が図られるよう取り組みを推進します。</p>						(向上)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業04 再生可能エネルギー対策の推進

指標	再生可能エネルギーの発電装置による契約発電量	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	k w	259,882	-	463,844	259,882	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の再生可能エネルギーの発電装置による契約発電量は463,844kwで、基準値と比較して203,962kw増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 再生可能エネルギーの普及に積極的に取り組み、二酸化炭素の削減が図られるよう取り組みを推進します。</p>						(向上)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)

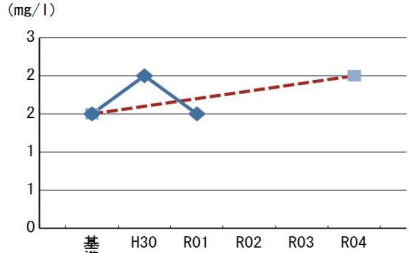
### 基本事業04 再生可能エネルギー対策の推進

指標	市の事務事業により発生する二酸化炭素の量	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	tCO2	5,366	-	4,772	5,366	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市の事務事業により発生する二酸化炭素の量は4,772tCO2で、基準値と比較して594tCO2減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 二酸化炭素の削減を図るため、照明のLED化や再生可能エネルギー設備導入による取り組みを行います。</p>						(向上)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)

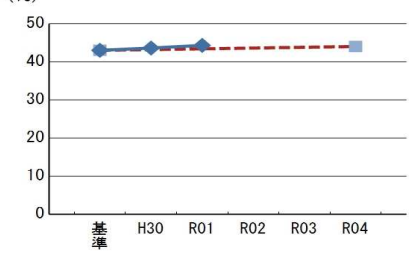
### 基本事業05 污水处理の推進

指標	BOD濃度作田川（中流域）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	mg/l	2.2	-	1.7	2	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のBOD濃度作田川（中流域）は1.7mg/lで、基準値と比較して0.5mg/l減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 前年度と比較すると0.5mg/l減少しました。要因として、上流部での公共下水道の供給や合併浄化槽による水質浄化が図られているものとされます。</p>						(向上)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)

基本事業05 汚水処理の推進

指標	BOD濃度木戸川（中流域）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	mg/l	1.5	-	1.5	2	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のBOD濃度木戸川（中流域）は1.5mg/lで基準値を維持し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 前年度と比較すると0.5mg/l減少しました。要因として、上流部での公共下水道の供給や合併浄化槽による水質浄化が図られているものとされます。</p>	<p>(mg/l)</p> 					(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況  🏰 (達成)

基本事業05 汚水処理の推進

指標	汚水処理世帯の普及率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	%	43	-	44.3	44	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度汚水処理世帯の普及率は44.3%で、基準値と比較し1.3ポイント増加し、めざそう値を達成しています。（補助基数 59基）</p> <p>&lt; 原因 &gt; 単独浄化槽やくみ取り便槽の老朽化に伴い合併浄化槽への転換が多く見受けられます。</p>	<p>(%)</p> 					(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況  🏰 (達成)

## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

飲用水を個人用井戸に依存している世帯が多く、上水道への転換には費用がかかるため給水戸数は伸び悩んでいます。  
水道事業の対象区域外や水道の本管が付近にない地区の一部で地下水の汚染が懸念されています。  
県より「県内水道の統合・広域化の当面の考え方」が公表され、県は広域自治体として広域的な水源の確保及び水道用水供給事業を担い、市町村は、基礎自治体として末端給水事業を担うことを基本とする考え方が示されました。  
県営水道と九十九里地域水道企業団との統合を目指した協議が開始され、併せて末端給水事業体（長生郡市広域市町村圏組合、八匠水道企業団、山武市営水道、山武郡市広域水道企業団）による「県内水道の統合・広域化の進め方に係る九十九里地域水道事業体会議」を設置し協議していく必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
給水戸数【市営水道】(戸)	成果	-	2,799	☀ (横ばい)	-	
給水戸数【広域水道】(戸)	成果	-	11,003	☀ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	漏水事故件数【市営水道】(件)	成果	-	0	☀ (向上)	-	
01	漏水事故件数【広域水道】(件)	成果	-	26	☀ (向上)	-	
02	水質の苦情件数【市営水道】(件)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	
02	水質の苦情件数【広域水道】(件)	成果	-	27	☂ (低下)	-	
03	応急給水資機材の備蓄数【市営水道】(袋)	代替	-	2,500	☀ (向上)	-	
03	応急給水資機材の備蓄数【広域水道】(袋)	代替	-	6,000	☀ (横ばい)	-	
04	経常収支比率【市営水道】(%)	成果	-	115.5	☀ (横ばい)	-	
04	有収率【市営水道】(%)	成果	-	92.2	☁ (横ばい)	-	
04	経常収支比率【広域水道】(%)	成果	-	107.51	☀ (横ばい)	-	
04	有収率【広域水道】(%)	成果	-	87.7	☁ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

### 施策 04 上水道の充実

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 市民が安全で安定した水道水を使うことができます。

#### 施策の成果状況と評価

指標	給水戸数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【水道課】	戸	2,705	-	2,799	2,887	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の給水戸数【市営水道】は2,799戸で、基準値と比較して94戸増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新築並びに個人井戸からの切り替えにより給水戸数が増加しました。</p>		<p>(戸)</p>				対 前年度
							-
							達成 状況
							■ (高)

指標	給水戸数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	戸	10,885	-	11,003	10,671	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の給水戸数【広域水道】は11,003戸で、基準値と比較して118戸増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 給水施設の改良工事を実施したことにより、加入者数が増加しました。</p>		<p>(戸)</p>				対 前年度
							-
							達成 状況
							■ (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。



## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 安定給水の確保

基本事業 02 水質の安全性の確保

基本事業 03 地震等の災害対策

基本事業 04 経営の健全化

### 基本事業01 安定給水の確保

指標	漏水事故件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【水道課】	件	2	-	0	0	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の漏水事故件数【市営水道】は0件で、基準値と比較して2件減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 比較的新しい配水管のため、安定的に水道水を供給できています。</p>						<p>(件)</p> <p>対前年度</p> <p>-</p> <p>達成状況</p> <p>🏰 (達成)</p>

### 基本事業01 安定給水の確保

指標	漏水事故件数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	28	-	26	25	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の漏水事故件数【広域水道】は26件で、基準値と比較して2件減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 配水管改良工事を計画的に実施し、漏水事故の減少に努めています。</p>						<p>(件)</p> <p>対前年度</p> <p>-</p> <p>達成状況</p> <p>🏰 (高)</p>

### 基本事業02 水質の安全性の確保

指標	水質の苦情件数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【水道課】	件	0	-	0	0	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の水質の苦情件数【市営水道】は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 水質の苦情は平成21年度以降なく、水質確認を日々行っており、全ての項目に対して基準を満たしています。</p>						<p>(件)</p> <p>対前年度</p> <p>-</p> <p>達成状況</p> <p>🏰 (達成)</p>

### 基本事業02 水質の安全性の確保

指標	水質の苦情件数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【環境保全課】	件	11	-	27	10	☔️ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の水質の苦情件数【広域水道】は27件で、基準値と比較して16件増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 台風15号の災害で断水が発生した後台風16号接近に伴い、断水に備えて多くの利用者が水道水の汲み置きを実施したため、にがり水が発生し苦情が発生しました。</p>						<p>(件)</p> <p>対前年度</p> <p>-</p> <p>達成状況</p> <p>🏰 (低)</p>

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業03 地震等の災害対策

指標	応急給水資機材の備蓄数【市営水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【水道課】	袋	2,300	-	2,500	2,900															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の応急給水資機材の備蓄数【市営水道】は2,500袋で基準値と比較して200袋増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 予算の範囲内で計画的に備蓄数を増やしています。</p>	<table border="1"><caption>緊急給水資機材の備蓄数推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>値</td><td>2,200</td><td>2,400</td><td>2,400</td><td>2,500</td><td>2,600</td><td>2,900</td></tr></tbody></table>					年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04	値	2,200	2,400	2,400	2,500	2,600	2,900	(向上)
		年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04													
		値	2,200	2,400	2,400	2,500	2,600	2,900													
		対 前年度	-																		
		達成 状況																			
■ (中)																					

### 基本事業03 地震等の災害対策

指標	応急給水資機材の備蓄数【広域水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	袋	6,000	-	6,000	6,000	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の応急給水資機材の備蓄数【広域水道】は6,000袋で、基準値を維持し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 災害に備え、備蓄基準数量の6,000袋の保持をしています。</p>	<div>(袋)</div>					(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況
(達成)							

### 基本事業04 経営の健全化

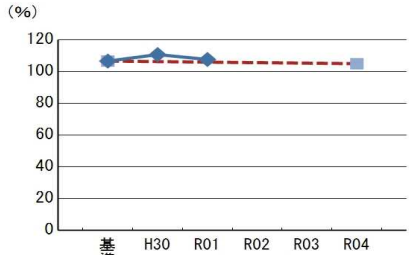

指標	経常収支比率【市営水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【水道課】	%	110.9	-	115.5	115															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の経常収支比率【市営水道】は115.5%で基準値と比較して4.6ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 経常収支比率は、全国平均である112.83%（H30）を上回っています。従来から事業の効率の運営に努めてきた結果、収支は概ね良好な状況を維持しています。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"><caption>経常収支比率の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>値</td><td>110.9</td><td>112.83</td><td>115.5</td><td>-</td><td>-</td><td>115</td></tr></tbody></table>					年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04	値	110.9	112.83	115.5	-	-	115	(横ばい)
		年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04													
		値	110.9	112.83	115.5	-	-	115													
		対 前年度	-																		
達成 状況																					
	(達成)																				

### 基本事業04 経営の健全化

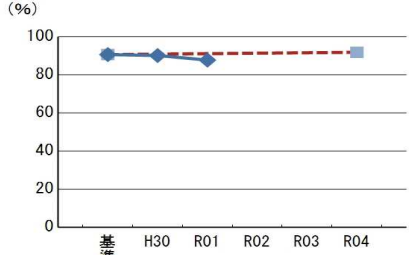

指標	有収率【市営水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【水道課】	%	92.7	-	92.2	92.7															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度有収率【市営水道】は92.2%で、基準値と比較して0.5ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 有収率は、全国平均である89.92%(H30)を上回っています。比較的新しい施設のため、漏水等による無効水量が少ないためと考えられます。</p>	(%) <table border="1"><caption>Collection Rate Trend (Estimated from Graph)</caption><thead><tr><th>Year</th><th>Collection Rate (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>92.2</td></tr><tr><td>H30</td><td>92.2</td></tr><tr><td>R01</td><td>92.2</td></tr><tr><td>R02</td><td>92.2</td></tr><tr><td>R03</td><td>92.2</td></tr><tr><td>R04</td><td>92.2</td></tr></tbody></table>					Year	Collection Rate (%)	基準	92.2	H30	92.2	R01	92.2	R02	92.2	R03	92.2	R04	92.2	(横ばい)
		Year	Collection Rate (%)																		
		基準	92.2																		
		H30	92.2																		
		R01	92.2																		
R02	92.2																				
R03	92.2																				
R04	92.2																				
対前年度	-																				
達成状況																					
■ (中)																					

基本事業の成果状況と評価

基本事業04 経営の健全化

指標	経常収支比率【広域水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	%	106.5	-	107.51	104.87	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の経常収支比率【広域水道】は107.51%で基準値と比較して1.01ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 経常収支比率は、全国平均である112.83%（H30）を下回っていますが、従来から事業の効率的に努めてきた結果、100%を上回っており、収支は概ね良好な状況を維持しています。</p>						(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況  (達成)

基本事業04 経営の健全化

指標	有収率【広域水道】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【環境保全課】	%	90.6	-	87.7	91.8	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の有収率【広域水道】は87.7%で、基準値と比較して2.9ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 有収率は、全国平均である89.92%(H30)をやや下回っています。創設当初に埋設した配水管が更新時期を迎え、経年劣化による漏水量が増加傾向にあるためです。</p>						(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況  (低)

## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

「人口1,000人当たりの刑法犯認知件数」は減少傾向が継続しています。  
 刑法犯認知件数のうち75%は窃盗犯であり、多くは乗り物盗や車上荒らし等の非侵入盗であることから、防犯カメラの設置やドライブレコーダーを搭載した青色パトロールカーを活用した防犯活動を推進します。  
 消費生活センター等の相談体制を確保することにより、電話でde詐欺といった特殊詐欺をはじめとする消費者トラブルの防止に努めます。  
 「人口1,000人当たりの交通事故発生件数」は減少傾向が継続しています。  
 平成29年に道路交通法が改正され、運転免許更新時の高齢者の認知機能の検査が強化されました。  
 山武市交通安全条例に基づく交通安全対策会議において策定された、交通安全計画に基づき施策を展開します。高齢者、幼児、児童・生徒及びドライバー等の対象者に応じた交通安全施策に取り組みます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人口1,000人当たりの刑法犯認知件数 (件)	社会	-	8	☀ (向上)	-	
人口1,000人当たりの交通事故発生件数 (件)	成果	-	2.5	☀ (向上)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数 (団体)	成果	-	29	☀ (向上)	-	
01	防犯活動を行っている協力者数 (人)	成果	-	613	☀ (横ばい)	-	
02	登下校時における児童生徒の事件・事故件数 (件)	成果	-	3	☀ (向上)	-	
03	防犯灯設置要望対応率 (%)	成果	-	100	☀ (横ばい)	-	
03	防犯カメラの設置台数(累積) (台)	成果	-	39	☀ (向上)	-	
04	消費者相談件数 (件)	代替	-	573	☂ (低下)	-	
04	消費者トラブルにあった市民の割合 (%)	成果	-	3.4	☀ (横ばい)	-	
05	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数 (回)	成果	-	3	☀ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 02 住みやすい環境と安全なまちづくり

### 施策 05 防犯・交通安全の推進

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 安全で安心して住めるまちになっていきます。

#### 施策の成果状況と評価

指標	人口1,000人当たりの刑法犯認知件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【市民課】	件	9	-	8	9	☀ (向上)														
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は8件で、基準値と比較して1件減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 防犯メールによる犯罪・不審者情報の提供や地域住民、防犯関係団体、警察等の連携により、見守り、声かけ、パトロール等地道な防犯活動のほか、防犯灯や防犯カメラの施設整備が犯罪抑止に貢献していると考えられます。</p>			<p>(件)</p> <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>9</td></tr><tr><td>H30</td><td>8</td></tr><tr><td>R01</td><td>8</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>9</td></tr></tbody></table>			項目	値	基準	9	H30	8	R01	8	R02	-	R03	-	R04	9	対 前年度
	項目	値																			
	基準	9																			
	H30	8																			
R01	8																				
R02	-																				
R03	-																				
R04	9																				
-	-																				
達成 状況	☑ (達成)																				

指標	人口1,000人当たりの交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【市民課】	件	2.7	-	2.5	2.7	☀ (向上)														
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の人口1,000人当たりの交通事故発生件数は2.5件で、基準値と比較して0.2件減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 市では、交通安全協会指導員が市内交差点での街頭監視のほか、幼児及び小中学生を対象として交通安全教室を開催しています。千葉県でも、各世代別に交通安全教室を開催しており、段階的な交通安全教育を実施していることが引き続き効果を挙げているものと考えられます。</p>			<p>(件)</p> <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>2.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>2.5</td></tr><tr><td>R01</td><td>2.5</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>2.7</td></tr></tbody></table>			項目	値	基準	2.7	H30	2.5	R01	2.5	R02	-	R03	-	R04	2.7	対 前年度
	項目	値																			
	基準	2.7																			
	H30	2.5																			
R01	2.5																				
R02	-																				
R03	-																				
R04	2.7																				
-	-																				
達成 状況	☑ (達成)																				

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業 01 防犯体制の充実

### 基本事業 02 児童・生徒の安全確保

### 基本事業 03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備

### 基本事業 04 消費者トラブルの防止

### 基本事業 05 交通安全意識の向上

#### 基本事業01 防犯体制の充実

指標	防犯活動を行っている区・自治会や団体の数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民課】	団体	27	-	29	27	☀
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の防犯活動を行っている区・自治会や団体の数は29団体で、基準値と比較して2団体増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 市内における防犯パトロール、登下校時の見守り隊、子ども110番への協力など、市民の地道な努力が防犯に対する意識を高めており、団体数の増加につながっているものと思われます。</p>						(団体)
							(向上)
							対前年度
							-
評価							達成状況
							☀
							(達成)

#### 基本事業01 防犯体制の充実

指標	防犯活動を行っている協力者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民課】	人	612	-	613	612	☀
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の防犯活動を行っている協力者数は613人で、基準値と比較して1人増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 通学路での不審者情報が、メール配信等を通して報告されており、児童生徒の保護者のみならず、子どもたちの保護に協力してくれる商店、工場等の防犯に対する意識が高まっているものと考えられます。市内の介護サービス事業所連絡会の協力者数が増加しました。</p>						(人)
							(横ばい)
							対前年度
							-
評価							達成状況
							☀
							(達成)

#### 基本事業02 児童・生徒の安全確保

指標	登下校時における児童生徒の事件・事故件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	件	5	-	3	-	☀
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の登下校時における児童生徒の事件・事故件数は3件で、基準値と比較して2件減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 内訳は、交通事故で小学校1件、中学校2件です。児童生徒の不注意が事故の原因の主なものとなっていますが、不慮の事故もあります。事件・事故防止に向けて、各学校で交通安全指導の徹底が図られている考えますが、学校ボランティアによる見守りや安全マップの作成等も実施しています。</p>						(件)
							(向上)
							対前年度
							-
評価							達成状況
							☀
							---

#### 基本事業03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備

指標	防犯灯設置要望対応率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民課】	%	100	-	100	100	☀
評価	<p>令和元年度の防犯灯設置要望対応率は100%で、基準値を維持し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 区からの設置要望に基づき、防犯灯の設置をしています。設置基準を満たしている要望については全て対応しています。</p>						(%)
							(横ばい)
							対前年度
							-
評価							達成状況
							☀
							(達成)


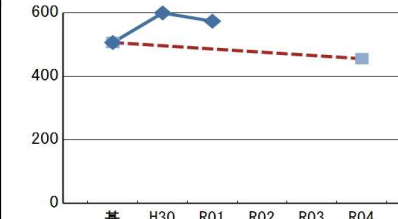



基本事業の成果状況と評価

基本事業03 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備

指標	防犯カメラの設置台数(累積)	単位	基準値	実績値(H30)	実績値(R01)	めざそう値(R04)	対基準値														
		台	23	-	39	40															
		【市民課】					(向上)														
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和元年度の防犯カメラの設置台数(累積)は39台で、基準値と比較して16台増加しています。</p> <p>&lt;原因&gt; 条例に基づき、設置を進めています。</p> <p>令和元年度の防犯カメラの設置台数は7台増加しています。市民課が、施設管理用のため、老朽化したカメラ3台の撤去と新たな駐車場に5台、主要道路(国道)に2台、駐輪場に1台設置しました。また、自治会が補助金を利用して2台設置しています。</p>	<table><caption>防犯カメラの設置台数(累積)</caption><tr><th>年度</th><th>台数</th></tr><tr><td>基準</td><td>23</td></tr><tr><td>H30</td><td>39</td></tr><tr><td>R01</td><td>40</td></tr><tr><td>R02</td><td>40</td></tr><tr><td>R03</td><td>40</td></tr><tr><td>R04</td><td>40</td></tr></table>					年度	台数	基準	23	H30	39	R01	40	R02	40	R03	40	R04	40	対前年度
							年度	台数													
							基準	23													
							H30	39													
R01	40																				
R02	40																				
R03	40																				
R04	40																				
	-																				
	達成状況																				
	(高)																				


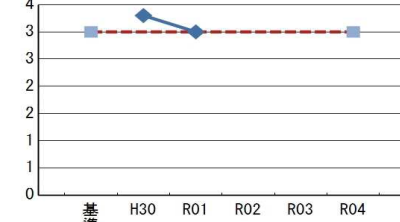

基本事業04 消費者トラブルの防止

指標	消費者相談件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
		件	506	-	573	455															
		【わがまち活性課】					(低下)														
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の消費者相談件数は573件（市464件、県111件）で、前年度からは26件減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 消費者を取り巻く環境の変化に伴い、消費生活相談の内容も複雑・多様化しています。加えて、高齢者の消費相談が増加傾向にあり、住宅リフォーム、通信販売、訪問販売、架空請求のトラブルの割合が高い傾向にあります。特に、住宅リフォームは、台風被害関連で増加となっています。</p>	<div>(件)</div>  <table><caption>消費者相談件数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>506</td></tr><tr><td>H30</td><td>573</td></tr><tr><td>R01</td><td>455</td></tr><tr><td>R02</td><td>455</td></tr><tr><td>R03</td><td>455</td></tr><tr><td>R04</td><td>455</td></tr></tbody></table>					年度	件数	基準	506	H30	573	R01	455	R02	455	R03	455	R04	455	対 前年度
							年度	件数													
							基準	506													
							H30	573													
R01	455																				
R02	455																				
R03	455																				
R04	455																				
	-																				
	達成 状況																				
																					
	(低)																				

基本事業04 消費者トラブルの防止

指標	消費者トラブルにあった市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【わがまち活性課】	%	4.4	-	3.4	3.3															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の消費者トラブルにあった市民の割合は3.4%で、基準値と比較して1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 消費生活センターに係る広報活動等により、認知度が向上していることから、相談件数は増加していますが、被害に遭う前に消費生活センターに相談が多く寄せられるため、被害が未然に防がれたものと考えます。</p>	<div>(%)</div> <table><caption>消費者トラブルにあった市民の割合</caption><tr><th>年度</th><th>割合</th></tr><tr><td>基準</td><td>4.4</td></tr><tr><td>H30</td><td>3.4</td></tr><tr><td>R01</td><td>3.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>3.3</td></tr><tr><td>R03</td><td>3.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>3.3</td></tr></table>					年度	割合	基準	4.4	H30	3.4	R01	3.3	R02	3.3	R03	3.3	R04	3.3	
							年度	割合													
							基準	4.4													
							H30	3.4													
R01	3.3																				
R02	3.3																				
R03	3.3																				
R04	3.3																				
対前年度	-																				
達成状況																					
■ (高)																					

基本事業05 交通安全意識の向上

指標	1ヶ月当たりの交通安全啓発回数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
		回	3	-	3	3															
	【市民課】	(回)					(横ばい)														
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和元年度の1ヶ月当たりの交通安全啓発回数は3回で、基準値を維持し、後期めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt;原因&gt; 交通安全指導員が定期的に市内交差点での街頭監視を行い、交通安全活動を実施していることが、基準値の維持につながっているものと考えられます。</p>	 <table><caption>交通安全啓発回数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>回数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>3</td></tr><tr><td>H30</td><td>3.5</td></tr><tr><td>R01</td><td>3</td></tr><tr><td>R02</td><td></td></tr><tr><td>R03</td><td></td></tr><tr><td>R04</td><td>3</td></tr></tbody></table>					年度	回数	基準	3	H30	3.5	R01	3	R02		R03		R04	3	対 前年度
							年度	回数													
							基準	3													
							H30	3.5													
R01	3																				
R02																					
R03																					
R04	3																				
	-																				
	達成 状況																				
	 (達成)																				





## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

農業従事者の高齢化及び後継者不足、T P P問題や放射能事故の影響による風評被害等、農業を取り巻く環境は厳しい状況です。近年の農作物価格の高騰により、農業所得は増加していますが、価格が下落した場合、再び農業所得の減少が懸念されます。

地域の中心的担い手である認定農業者の増加及び新規就農者の育成を図り、効率的農業の推進や補助事業等の積極的活用によるコスト削減を図ることにより、農業所得の向上を目指す必要があります。

農地中間管理事業を活用した農地集積・集約化、耕作放棄地の解消及び農地基盤整備事業を活用し優良農地化を図り、効率的かつ生産性の高い農業を目指す必要があります。

地域の特産であるサンプスギは、担い手不足や木材価格の低迷により、管理が行き届かない森林が多く、森林の荒廃が課題となっています。その中で令和元年房総半島台風により被害を受けた森林の復旧は急務である。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
農業所得 (百万円)	成果	-	595	☂ (低下)	-	
森林整備年間実施面積 (累計) (ha)	成果	-	289.76	☀ (向上)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	耕作面積 (ha)	成果	-	2,915	☀ (横ばい)	-	
01	家畜伝染病発生件数 (酪農、養豚、養鶏) (件)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	
02	認定農業者数 (人)	成果	-	364	☀ (向上)	-	
02	青年等就農計画認定者数 (人)	成果	-	6	☀ (向上)	-	
03	農地中間管理集積面積 (ha)	成果	-	311.2	☀ (向上)	-	
04	産地化した品目の作付面積 (ha)	成果	-	396.8	☁ (横ばい)	-	
04	GAP等による取組人数 (人)	成果	-	1,216	☁ (横ばい)	-	
05	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数 (箇所)	成果	-	4	☀ (横ばい)	-	
06	森林整備事業年間実施箇所数 (箇所)	成果	-	41	☀ (向上)	-	
06	市補助制度を活用し、搬出された木材量 (t)	成果	-	1,700	☀ (向上)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

### 施策 01 農林水産業の振興

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 農林水産業従事者	・ 農業経営が安定し、所得額が増えます。 ・ 荒廃した森林が再生します。

#### 施策の成果状況と評価

指標	農業所得	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【農林水産課】	百万円	1,393	-	595	1,599	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の農業所得は595百万円で、基準値と比較して798百万円減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年9月の台風被害の影響による収穫の減少や設備復旧等に要する経費の増加により、農業所得が減少したものと考えられます。</p>	<p>(百万円)</p>					対 前年度 -
							達成 状況 ■■■ (低)
指標	森林整備年間実施面積（累計）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【農林水産課】	ha	237.72	-	289.76	297.12	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の森林整備年間実施面積（累計）は289.76haで、基準値と比較して46.04ha増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 下刈などを実施する造林支援事業の事業面積が拡大したことで森林整備面積が増えています。 (実施事業) 造林支援事業 県単森林整備事業 サンプスギ林再生・資源循環促進事業</p>	<p>(ha)</p>					対 前年度 -
							達成 状況 ■■■ (高)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	経営の安定化の推進
基本事業	02	担い手の育成・支援
基本事業	03	農地の利用集積の推進
基本事業	04	農産物の付加価値向上と販路の拡大
基本事業	05	農業基盤整備の推進
基本事業	06	森林再生の推進

### 基本事業01 経営の安定化の推進

指標	耕作面積	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	ha	2,902.8	-	2,915	2,902.8	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の耕作面積は2,915haで、基準値と比較して12.2ha増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 農地の集積・集約化による営農の効率化や農業経営者への支援を図ることにより、耕作面積を維持することができたものと考えられます。</p>	<p>(ha)</p>					対前年度
							-
							達成状況
							☀ (達成)

### 基本事業01 経営の安定化の推進

指標	家畜伝染病発生件数（酪農、養豚、養鶏）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	件	0	-	0	0	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の家畜伝染病発生件数は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 各畜産農家が東部家畜保健衛生所等関係機関と連携協力のもと、法定伝染病の発生予防に努めたことによるものと考えられます。</p>	<p>(件)</p>					対前年度
							-
							達成状況
							☀ (達成)

### 基本事業02 担い手の育成・支援

指標	認定農業者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	人	344	-	364	389	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の認定農業者数は364人で、基準値と比較して20人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 市の担い手として、農業用機械購入及び施設整備に要する経費に対する市独自の助成制度を活用する等、規模拡大を目指す経営体が新たに認定を希望したため、認定農業者が増加したものと考えられます。</p>	<p>(人)</p>					対前年度
							-
							達成状況
							■ (中)

### 基本事業02 担い手の育成・支援

指標	青年等就農計画認定者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	人	5	-	6	20	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の青年等就農計画認定者数は6人で、基準値と比較して1人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新規就農者への国補助金の交付要件も年々厳しくなり、伸び率が鈍化しています。</p>	<p>(人)</p>					対前年度
							-
							達成状況
							■ (中)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業03 農地の利用集積の推進

指標	農地中間管理集積面積	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	h a	111	-	311.2	281	☀
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の農地中間管理集積面積は311.2haで、基準値と比較して200.2ha増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 早船・寺崎及び島地区での農地の集積・集約化が推進されたことが主な要因です。その他の地域でも担い手や地権者に本制度の趣旨が理解され、制度を活用する方が増加しています。</p>	<p>(h a)</p>					(向上)
							対前年度
							-
							達成状況 ☀ (達成)

### 基本事業04 農産物の付加価値向上と販路の拡大

指標	産地化した品目の作付面積	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	h a	406	-	396.8	447	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の産地化した品目の作付面積は396.8haで、基準値と比較して9.2ha減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 主要品目（ネギ・ニンジン・トマト）のうち、トマトについて、大玉からミニトマトへ品目変更するなど、多様化しているため、面積が減少したものと考えられます。 なお、ネギについては、高収益で価格も安定しているため、増加傾向にあります。</p>	<p>(h a)</p>					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■ (低)

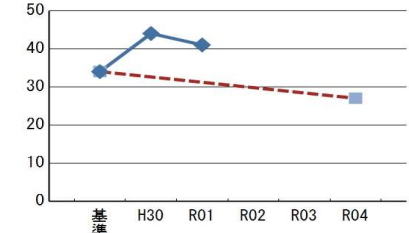
### 基本事業04 農産物の付加価値向上と販路の拡大

指標	GAP等による取組人数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	人	1,257	-	1,216	1,508	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のGAP等による取組人数は1,216人で、基準値と比較して41人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 担い手の高齢化や後継者不足のなか、その経営（農地）を引き受ける（借り受ける）大型の農家もあり、農業経営者数そのものが減少していることから、GAP等による取組人数も減少していると考えられます。</p>	<p>(人)</p>					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■ (低)

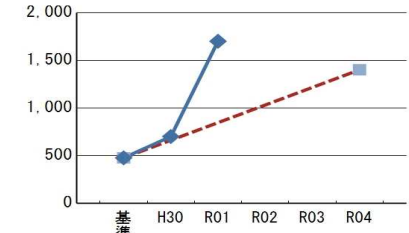
### 基本事業05 農業基盤整備の推進

指標	国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	箇所	4	-	4	5	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数は4箇所、基準値を維持しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 国営かんがい事業（両総用水）、県営広域農道整備事業、県営湛水防除事業（小松）、土地改良事業（豊岡）の4箇所が完了しています。整備中の箇所は、国営かんがい事業（北総中央用水）と県営湛水所事業（蓮沼）の2箇所となっています。</p>	<p>(箇所)</p>					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■ (中)

基本事業06 森林再生の推進

指標	森林整備事業年間実施箇所数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	箇所	34	-	41	27	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の森林整備事業年間実施箇所数は41か所で、基準値と比較して7か所増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 所有者から委託を受けた事業体が出刈などを実施する造林支援事業の補助制度を活用して整備をしたことにより森林整備実施箇所数が増加しました。</p>	(箇所)					対前年度
							-
							達成状況
							☑ (達成)

基本事業06 森林再生の推進

指標	市補助制度を活用し、搬出された木材量	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【農林水産課】	t	476.2	-	1,700	1,400	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度に補助制度を活用して、搬出された木材量は1,700tで、基準値と比較して1,223.8t増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 木材流通システムの定着化により台風被害の森林を整備する山林所有者からの搬出量増加や新たに森林経営計画対象林において発生した間伐材などの買取価格の一部を補助したことにより搬出量が増加しました。</p>	(t)					対前年度
							-
							達成状況
							☑ (達成)

## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

郊外型の大・中規模小売店舗等が進出し、既存小売店に大きな影響を及ぼすとともに、後継者不足も相まって、旧来の商店街では空き店舗が多数発生しています。地域ならではの魅力を高める取り組みを通じて、商店街の連携強化とまちの活性化を図ることが求められています。

山武市中小企業振興基本条例（平成30年4月1日施行）に基づき、地元中小企業の育成と長期的な安定成長を図るための施策を推進します。

市商工会を通じた支援策を継続的に行うとともに、人口減少や急激な社会環境の変化に対応できる、レジリエンスな地域経済の実現に向けた「エコノミックガーデニング」の推進により、地元企業が長生きして繁栄するビジネス環境の構築に取り組みます。

現在、検討が進められている成田空港の機能強化に併せて、他団体との連携を強化し、空港の発展を市の発展に結びつける取組を推進する必要があります。



## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
法人市民税額 (百万円)	社会	-	405	☀ (向上)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市内で日用品や食料品を買う市民の割合 (%)	成果	-	70.7	☁ (横ばい)	-	
02	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)(%)	成果	-	41.8	☂ (低下)	-	
02	新規法人登録件数 (件)	社会	-	67	☂ (低下)	-	
02	支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数 (社)	社会	-	163	☀ (向上)	-	
03	市内事業所数 (社)	成果	-	-	---	-	
03	市内従業者数 (人)	社会	-	-	---	-	
04	成田空港周辺自治体としての取組件数 (件)	代替	-	7	☀ (横ばい)	-	
04	成田空港関連の市内従業員数 (人)	社会	-	-	---	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

### 施策 02 商工業の振興と地域経済活性化

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 商工会</li> <li>・ 商工業者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域経済が活性化されます。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価

指標	法人市民税額	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値																																				
	【わがまち活性課】	百万円	349	-	405	297	☀ (向上)																																				
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の法人市民税調定額は、405百万円（うち均等割130百万円、法人税割275百万円）で、基準値と比較して56百万円増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度の法人市民税の調定件数は1,716件で、前年度に比べ16件増加となっており、平成29～30年の経済情勢が安定していたことが要因と考えられます。</p>			<p>(百万円)</p> <table><thead><tr><th>年度</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準値</td><td>349</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>405</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R01</td><td></td><td></td><td>405</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R04</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>297</td></tr></tbody></table>			年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04	基準値	349						H30		405					R01			405				R04						297	対 前年度	-
							年度	基準	H30	R01	R02	R03	R04																														
							基準値	349																																			
							H30		405																																		
R01			405																																								
R04						297																																					
達成 状況	☑ (達成)																																										

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業 01 市内消費の向上

### 基本事業 02 経営体の体質強化・育成

### 基本事業 03 企業立地と企業定着による雇用の推進

### 基本事業 04 成田空港経済圏の形成

#### 基本事業01 市内消費の向上

指標	市内で日用品や食料品を買う市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【わがまち活性課】	%	71.1	-	70.7	72	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市内で日用品や食料品を買う市民の割合は70.7%で、基準値と比べ0.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 年代別では10歳代が活動範囲の関係から最も多く、活動範囲の広がる20歳代から年代を追うごとに減少しています。65歳～は自動車の運転等の問題から活動範囲が狭まるものと思われ増加に転じています。地区別では、山武・蓮沼が、成東・松尾に比べ10%以上が低く、近隣市町のスーパー等の利用が多いものと思われます。</p>						対前年度 - 達成状況 ■■■ (中)

#### 基本事業02 経営体の体質強化・育成

指標	黒字化している事業所割合 (法人税割を納めている事業所数)	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【わがまち活性課】	%	55	-	41.8	60.3	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の黒字化している事業所割合 (法人税割を収めている事業所数) は41.8%で、基準値と比較して13.2ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 納税事業所自体の件数は3件増加しておりますが、課税対象年度の経済情勢に大きな動きはなく、同水準で推移していることが伺えます。エコノミックガーデニング推進事業についても、地域経済に大きな影響を与えるまでには至っていない状況です。</p>						対前年度 - 達成状況 ■■■ (低)

#### 基本事業02 経営体の体質強化・育成

指標	新規法人登録件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【わがまち活性課】	件	80	-	67	82	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の新規法人登録件数は67件で、基準値と比較して13件減少しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度に実施したビジネスインキュベーション調査において、山武市の認知度が大変低いことが伺えました。エコノミックガーデニング推進事業等で地域の創業支援を地道に続けるほか、市の魅力を積極的に発信し、新たな事業者を誘致することも必要と考えられます。</p>						対前年度 - 達成状況 ■■■ (低)

#### 基本事業02 経営体の体質強化・育成

指標	支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【わがまち活性課】	社	115	-	163	214	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数は163社で、基準値と比較して48社増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 持続化補助金申請者数が26件 (前年度比17件増) と大きく増加したほか、商工会幹旋分の公庫融資も36件 (前年度比10件増) となっており各制度を活用した投資活動が活発化しています。</p>						対前年度 - 達成状況 ■■■ (中)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業03 企業立地と企業定着による雇用の推進

指標	市内事業所数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【わがまち活性課】	社	1,772	-	-	1,772	---
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 平成28年経済センサス活動調査において、市内事業所数は1,772事業所（平成24年調査から48事業所減）となっています。次回調査は令和3年（令和4年結果発表）の経済センサス活動調査になります。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 平成28年経済センサス活動調査の結果では、「医療、福祉」が大幅に増加したのに対し、「建設業」、「製造業」、「卸売業、小売業」が大幅に減少しており、地域の高齢化の影響が見受けられます。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							---

### 基本事業03 企業立地と企業定着による雇用の推進

指標	市内従業者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【わがまち活性課】	人	15,332	-	-	15,332	---
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 平成28年経済センサス活動調査において、市内従業者数は15,332人（平成24年調査から179人減）となっています。次回調査は令和3年（令和4年結果発表）の経済センサス活動調査になります。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 平成28年経済センサス活動調査の結果では、「医療、福祉」、「卸売業、小売業」、「農業、林業」の従業者が大幅に増加したのに対し、「製造業」、「建設業」、「生活関連サービス業、娯楽業」の従業者が大幅に減少しています。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							---

### 基本事業04 成田空港経済圏の形成

指標	成田空港周辺自治体としての取組件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	件	7	-	7	9	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の成田空港周辺自治体としての取組件数は7件で、基準値を維持しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 取組みの内訳は、航空人材養成のための事業が4件（基準値5件）、グローバルキャリア教育実施事業が3件（基準値2件）です。成田空港南側の芝山町、多古町、横芝光町と協同し、各市町で特色のある取組みを実施しています。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							■ (中)

### 基本事業04 成田空港経済圏の形成

指標	成田空港関連の市内従業員数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	人	630	-	-	630	---
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度は調査対象年度でないため、数値が取得できません。（次回調査は令和2年度の予定）</p> <p>&lt; 原因 &gt;</p>						対前年度
							-
							達成状況
							---



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

国内外問わず、近年のトレンドは「団体」から「個人」へ、「物見遊山型」から「体験型」観光へと変化しています。また、宿泊者数は、平成27年の91,163人をピークに減少しており、魅力あるイベントの開催、ニーズに合った観光メニューや滞在時間の長時間化を見据えた観光ルートの造成が必要です。

東日本大震災後に激減した海水浴客数は、平成27年に約11万人まで達しましたが、近年の気候変動の影響もあり、震災前の約半数に留まっています。対策として、常設トイレのある本須賀海水浴場において、国際環境認証ブルーフラッグの取得を目指すとともに、その他の海水浴場においても適切な施設管理を行い、海水浴のイメージアップを図ります。また、サーフィンやビーチスポーツ等、夏季以外の利用を促進します。

NPO法人山武市観光協会ホームページやツイッター等のSNSを活用し、若年層に向けた観光情報発信を行います。また、電話や来訪での対応窓口である成東駅前観光案内所で、適切な案内が行われるように努めます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
年間観光客入込数（人）	成果	-	1,916,018	☂ (低下)	-	
年間宿泊観光客数（人）	成果	-	80,531	☁ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	イベントの来場者数（人）	成果	-	5,400	☂ (低下)	-	
01	広域(県) 民間事業者との連携事業数（件）	成果	-	12	☂ (低下)	-	
01	体験型観光客数（人）	成果	-	284,076	☁ (横ばい)	-	
02	観光施設(海水浴場)の利用者数（人）	成果	-	69,000	☂ (低下)	-	
02	観光施設の維持管理上の不具合件数（件）	成果	-	0	☀ (向上)	-	
03	観光案内所利用件数（件）	成果	-	6,670	☀ (横ばい)	-	
03	観光協会HP等の閲覧数（人）	成果	-	46,945	☀ (向上)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり


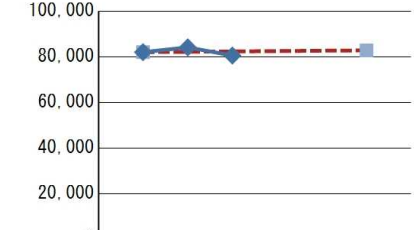

### 施策 03 観光の振興

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・観光客 ・市民	・観光客が増加し、市の魅力が高まります。

#### 施策の成果状況と評価

指標	年間観光客入込数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【わがまち活性課】	人	2,030,557	-	1,916,018	2,081,000	☔ (低下)														
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の年間観光客入込数は1,916,018人で、基準値と比較し14,539人の減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 夏季の天候不順で海水浴場入込数が減少した上に、台風によりサマーカーニバルや産業まつりの中止、観光施設が被害を受けるなど天候要因が大きな原因となっています。しかし、今後は夏季観光だけではなく、通年観光資源の更なる掘り起こしを行い、ターゲットを絞ったPR活動を実施していきます。</p>			<p>(人)</p> <table><caption>年間観光客入込数実績値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>入込数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>2,030,557</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>R01</td><td>1,916,018</td></tr><tr><td>R02</td><td>2,081,000</td></tr><tr><td>R03</td><td>2,081,000</td></tr><tr><td>R04</td><td>2,081,000</td></tr></tbody></table>			年度	入込数 (人)	基準	2,030,557	H30	-	R01	1,916,018	R02	2,081,000	R03	2,081,000	R04	2,081,000	対 前年度
							年度	入込数 (人)													
							基準	2,030,557													
							H30	-													
R01	1,916,018																				
R02	2,081,000																				
R03	2,081,000																				
R04	2,081,000																				
-																					
達成 状況																					
■■■ (低)																					

指標	年間宿泊観光客数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【わがまち活性課】	人	82,019	-	80,531	82,800	 (横ばい)														
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の年間宿泊者数は80,531人で、基準値と比較して1,488人の減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 調査対象の宿泊施設が廃業等で5軒減少しており、前年比5,894人の減少となっています。しかし、キャンプ場は順調に推移し、前年比2,612人の増加となっています。事業者の減少に加え、合宿客など団体客から個人客へ推移していると考えられます。今後は、観光協会と宿泊組合と連携し、サービス向上や適切な観光PRに努めます。</p>			<p>(人)</p>  <table><caption>年間宿泊観光客数実績値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>客数 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>82,019</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>R01</td><td>80,531</td></tr><tr><td>R02</td><td>82,800</td></tr><tr><td>R03</td><td>82,800</td></tr><tr><td>R04</td><td>82,800</td></tr></tbody></table>			年度	客数 (人)	基準	82,019	H30	-	R01	80,531	R02	82,800	R03	82,800	R04	82,800	対 前年度
							年度	客数 (人)													
							基準	82,019													
							H30	-													
R01	80,531																				
R02	82,800																				
R03	82,800																				
R04	82,800																				
-																					
達成 状況																					
 (低)																					

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。



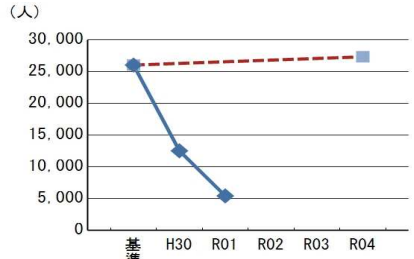
## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業 01 魅力ある観光事業の推進

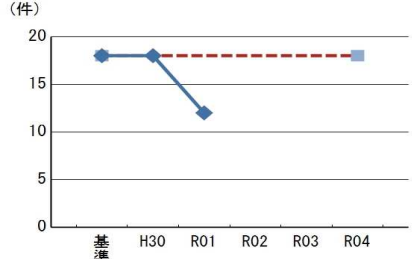
### 基本事業 02 海岸を活用した観光推進

### 基本事業 03 観光情報の発信

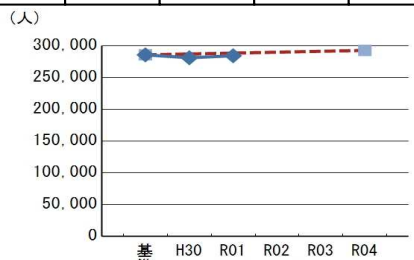
#### 基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	イベントの来場者数 【わがまち活性課】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		人	26,000	-	5,400	27,300	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のイベント来場者数は5,400人とで、基準値と比較して20,600人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 台風6号によりサマーカーニバルが、台風15号及び19号の被害対応のため産業まつり及びエコキャンダルが中止となりました。サマーカーニバルは、2年連続で台風により中止になり、今後は開催時期の見直しが必要と考えられます。</p>						(低下)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							■■■ (低)

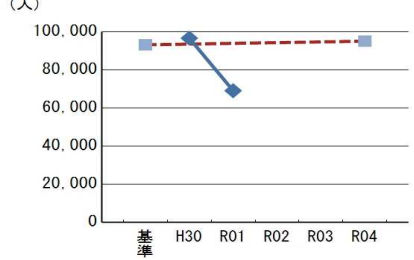
#### 基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	広域(県)、民間事業者との連携事業数 【わがまち活性課】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		件	18	-	12	18	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の連携事業数は12件で、基準値と比較して6件減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 台風により、実行委員会と連携し開催予定の大型イベントが中止になりました。サマーカーニバルについては、2年連続で台風により中止となっており、今後は、関係機関と連携し、天候に左右されないイベントの構築や開催時期の見直しが必要です。</p>						(低下)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							■■■ (低)

#### 基本事業01 魅力ある観光事業の推進

指標	体験型観光客数 【わがまち活性課】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		人	285,510	-	284,076	292,500	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の体験型観光客数は284,076人で、基準値と比較し1,434人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; ハイシーズンには、どのいちご園も午前中で満員になっている状況で、対前年比は3,138人の増加となっています。めざそう値まで8,424人という数値であり、今後は、昨年度末に実施したアンケート結果を参考に、観光協会、成東観光母組合と連携し、PRするよう努めます。</p>						(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							■■■ (高)

#### 基本事業02 海岸を活用した観光推進

指標	観光施設(海水浴場)の利用者数 【わがまち活性課】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		人	93,087	-	69,000	95,000	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の海水浴場の利用者数は69,000人で、基準値と比較して24,087人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; レジャーの多様化で、海水浴離れが進んでいることと、今期は特に週末の天候に恵まれず大幅な減少となったことが原因です。天候に左右される海水浴ですが、PRの時期を前年の冬季に行うなど、年間を通じたりピーターを増やす対策が必要です。</p>						(低下)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							■■■ (低)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業02 海岸を活用した観光推進

指標	観光施設の維持管理上の不具合件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【わがまち活性課】	件	1	-	0	0	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の施設維持管理上の不具合は0件で、基準値と比較し1件減少し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 本須賀海岸公衆トイレは、観光協会へ通年で清掃業務を委託し適切に管理しており、不具合になる前に適切に対処しました。今後も観光協会と連携し、不具合のないよう努めます。</p>						☀️ (向上)
							対前年度 -
							達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業03 観光情報の発信

指標	観光案内所利用件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【わがまち活性課】	件	6,451	-	6,670	6,800	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の観光案内所利用件数は、6,670件（来所：3,810件、電話：2,860件）で、基準値と比較し219件増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 利用の内訳で、電話が減少しており、レンタサイクルの利用者と駅前駐輪場等のトラブル対応が増加しています。トラブル対応は観光情報の発信とは直接関係しませんが、丁寧な対応を行い、観光協会のイメージアップに貢献しています。</p>						☀️ (横ばい)
							対前年度 -
							達成状況 🏰 (高)

### 基本事業03 観光情報の発信

指標	観光協会HP等の閲覧数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【わがまち活性課】	人	2,294	-	46,945	7,200	☀️ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の観光協会HP等の閲覧数は、46,945人（HP：41,541人、ツイッター：2,257人、FB：3,147人）で、基準値と比較して44,651人増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 平成30年10月にHPの全面リニューアルを行い、効果的に運用していることが、大幅増加の原因だと思われます。また、ツイッターとフェイスブックは、閲覧対象者が違うため、効果が上がっているものと考えられます。今後も、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見極め、効果的に発信するよう協会と連携します。</p>						☀️ (向上)
							対前年度 -
							達成状況 🏰 (達成)



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

本市は、65歳以上の高齢者数が年々増加傾向にあり、高齢化が進展しているため、高齢者が住み慣れた地域で健康で自分らしく住み続けられるような環境づくり（地域包括ケアシステム）を行うことが求められています。

そのため、介護予防に積極的に取り組み、要支援・要介護状態にならないよう心身ともに健康で過ごし、生きがいをもって社会参加ができるような仕組みを構築し、推進していきます。

介護保険制度や介護保険サービスの周知や理解が不足しています。また、介護サービス事業所における有資格者の確保が困難な状況となっています。

そのため、介護保険制度を広く周知するとともに、マンパワーを充足させる施策を推進し、併せて地域支援事業等において各介護保険サービスの充実を図ります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合（％）	成果	-	96.2	☁ (横ばい)	-	
介護保険サービスの満足度（％）	成果	-	79.1	☀ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	社会参加している高齢者の割合（％）	成果	-	30.7	☂ (低下)	-	
01	生きがいを持っている高齢者の割合（％）	成果	-	45	☀ (横ばい)	-	
01	新規要支援 新規要介護認定者の割合（％）	成果	-	13.2	☀ (横ばい)	-	
02	介護給付サービス利用率（居宅）（％）	成果	-	58.1	☁ (横ばい)	-	
02	施設入所待機率（％）	成果	-	9.4	☀ (横ばい)	-	
03	相談先がある高齢者の割合（％）	成果	-	79.7	☀ (横ばい)	-	
04	介護保険料収納率(現年度)（％）	成果	-	98.43	☀ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

### 施策 01 高齢者福祉の充実

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 65歳以上の市民（高齢者）</li> <li>・ 介護保険被保険者（40歳以上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者が健康を保ちながら生活でき、自分の健康状態にあった福祉サービスが受けられ、地域生活が送れます。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価

指標	65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	96.3	-	96.2	97	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の65歳から74歳までの高齢者で介護認定を受けずに生活している高齢者の割合は96.2%で、基準値と比較して0.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 介護予防や健康教室（運動教室）などの実施により、昨年度と概ね同じ割合を維持しています。（令和2年3月末現在：第1号被保険者9,112人、認定者342人）</p>						対前年度 -
							達成状況
							■ ■ ■ (低)
指標	介護保険サービスの満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	75.6	-	79.1	77	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の介護保険サービスの満足度は79.1%で、基準値と比較して3.5ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 介護保険制度や介護サービスについて周知を続けてきた結果と考えます。引き続きわかりやすい説明、周知に努めます。</p>						対前年度 -
							達成状況
							🏰 (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 生きがいきつくりと介護予防の推進

基本事業 02 介護サービス・日常生活の支援

基本事業 03 安全・安心な生活への仕組みづくり

基本事業 04 介護保険制度の安定的な運用

### 基本事業01 生きがいきつくりと介護予防の推進

指標	社会参加している高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	35.7	-	30.7	40	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の社会参加している高齢者の割合は30.7%で、基準値と比較して5ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; アンケート結果から、社会参加していない者の割合が前年度より2.7%増加しています。令和元年に発生した大型台風や大雨、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛などが高齢者の社会参加に大きな影響を及ぼしていると考えられます。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					対前年度 -
							達成状況 ■■ (低)

### 基本事業01 生きがいきつくりと介護予防の推進

指標	生きがいを持っている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	41.5	-	45	50	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の生きがいを持っている高齢者の割合は45%で、基準値と比較して3.5ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; アンケート結果から「防犯活動」に生きがいを感じている人の割合が高いことがわかりました。社会情勢の変化を受け、地域の防犯活動や防犯意識の向上が要因と考えられます。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					対前年度 -
							達成状況 ■■ (中)

### 基本事業01 生きがいきつくりと介護予防の推進

指標	新規要支援・新規要介護認定者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	15.5	-	13.2	14	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年の新規要支援・新規要介護認定者の割合は13.2%で、基準値と比較して2.3%減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 介護予防や健康教室の実施による成果と考えます。また、平成30年4月から更新申請に係る認定有効期間が最長36ヶ月（従前は24ヶ月）に制度改正された影響と考えます。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					対前年度 -
							達成状況 ☑ (達成)

### 基本事業02 介護サービス・日常生活の支援

指標	介護給付サービス利用率（居宅）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	59.2	-	58.1	60	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の介護給付サービス利用率（居宅）は58.1%で、基準値と比較して1.1%減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 要介護認定者2,103人のうち、居宅サービスを利用された方は1,222人となっています。前年度と比較して、居宅サービスを利用された方が14人減少しています。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					対前年度 -
							達成状況 ■■ (中)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業02 介護サービス・日常生活の支援

指標	施設入所待機率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	10.5	-	9.4	8	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和元年度の施設入所待機率は9.4%で、基準値と比較して1.1ポイント減少しました。 < 原因 > 令和2年3月、山武市に特別養護老人ホームが1施設開設され、近隣市町においても特別養護老人施設が開設されている状況から待機者は、今後減少すると考えられます。(令和2年3月末現在 特養待機者数203名)						対前年度
							-
							達成状況
							■■ (中)

### 基本事業03 安全・安心な生活への仕組みづくり

指標	相談先がある高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	76.2	-	79.7	78.4	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和元年度の相談先がある高齢者の割合は79.7%で、基準値と比較して、3.5ポイント増加し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 「ある」との回答は女性に多く性差が見られます。相談する相手は、男女とも主に家族や友人・知人への割合が高くなっています。						対前年度
							-
							達成状況
							■■ (中)

### 基本事業04 介護保険制度の安定的な運用

指標	介護保険料収納率(現年度)	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【高齢者福祉課】	%	98.07	-	98.43	98.5	☀ (横ばい)
評価	< 状況 > 令和元年度の介護保険料収納率(現年度)は98.43%で、基準値と比較して0.36ポイント増加しました。 < 原因 > 支払いの滞っている方が、介護サービスを利用開始する際や市税滞納者の納付相談時に介護保険料についても併せて納付相談を実施したことにより増加したと考えます。						対前年度
							-
							達成状況
							■■■ (高)





## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

平成23年8月に「障害者基本法」が改正され、障がいの有無に関わらず人格と個性を尊重する共生社会の実現を目指すことが掲げられています。

加えて、平成30年4月には「障害者総合支援法」が改正され、障がい者自ら望む地域生活を営む事ができるよう生活と就労に関する支援の一層の充実を図るとともに、児童福祉法の一部改正により、発達支援が必要な児童のニーズにきめ細かく対応するための支援の充実を図ることとしています。

障がい者の高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障がい者（児）の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築として、地域生活支援拠点の整備が必要とされています。

精神障がい者が、地域で安心して自分らしい暮らしができるよう、医療・障害福祉・介護・社会参加・住まい・地域の助け合い・教育が包括的に確保された、保健所圏域における「精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築が求められています。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
障がい者の特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）（％）	成果	-	2	☀ (横ばい)	-	
在宅で生活している障がい者の割合（％）	代替	-	97.3	☀ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	自立支援給付サービスの利用者数（人）	成果	-	588	☀ (向上)	-	
02	地域生活支援事業(地域活動支援センター 型)での相談件数（件）	代替	-	1,833	☀ (向上)	-	
02	医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数（人）	代替	-	1,568	☀ (横ばい)	-	
03	就労移行支援事業等のサービスを利用した障がい者数（人）	成果	-	26	☀ (向上)	-	
03	社会参加促進事業サービス利用割合（％）	成果	-	47.4	☀ (向上)	-	
04	就学前の障がい児通所支援の利用者数（人）	成果	-	52	☀ (向上)	-	
04	切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数（回）	代替	-	2	☀ (向上)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

施策 02 障がい者（児）福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 障がい者等	・ 障がい者（児）がその障がいの特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し、社会参加できます。

施策の成果状況と評価

指標	障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障がい者の割合（分母から重度障がい者を除く）	単位	基準値	実績値（H30）	実績値（R01）	めざそう値（R04）	対基準値
	【社会福祉課】	%	1.52	-	2	2.2	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の障がいの特性及びその環境に応じて、就業している障害者の割合（分母から重度障がい者を除く）は2%で、基準値と比較して0.48ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 平成30年度は障害者を雇用する事業者が9事業所でしたが、令和元年度は14事業所に増えたため、就業割合が増加したものと考えられます。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							■ (高)
指標	在宅で生活している障がい者の割合	単位	基準値	実績値（H30）	実績値（R01）	めざそう値（R04）	対基準値
	【社会福祉課】	%	97.2	-	97.3	97.4	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の在宅で生活している障がい者の割合は97.3%で、基準値と比較して0.1ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 生活訓練や居宅介護サービス等の利用促進に努めているため、めざそう値に近い数値で成果を維持していると考えられます。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							■ (高)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

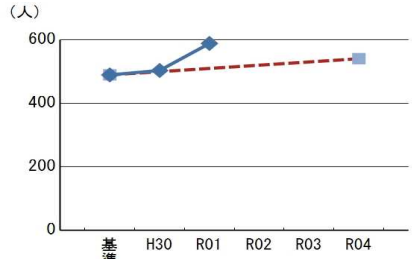
### 基本事業 01 自立支援サービスの促進

### 基本事業 02 地域生活支援の基盤づくり

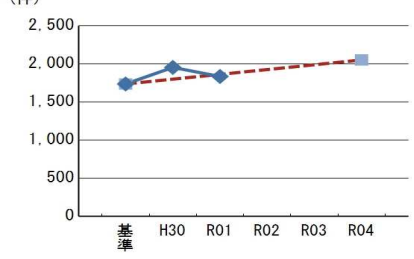
### 基本事業 03 社会活動参加の促進

### 基本事業 04 児童発達支援の充実

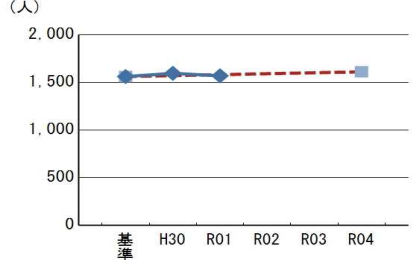
#### 基本事業01 自立支援サービスの促進

指標	自立支援給付サービスの利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	人	489	-	588	540	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の自立支援給付サービスの利用者数は588人で、基準値と比較して99人増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 各種手帳交付の際、自立支援給付サービスの説明を行い、周知に努めたことにより、成果が向上したと考えられます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ☀ (達成)

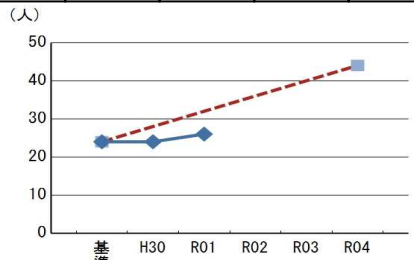
#### 基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	地域生活支援事業(地域活動支援センター 型)での相談件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	件	1,735	-	1,833	2,050	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の地域生活支援事業(地域活動支援センター 型)での相談件数は1,833件で、基準値と比較して98件増加しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 障害者手帳の交付時や、各種サービス申請時に、地域活動支援センターの周知に努めているため、基準値と比較すると相談件数は増加傾向ですが、平成30年度は通常より電話相談が200件程度多かったことから前年度と比較すると119件の減少となりました。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■ (中)

#### 基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

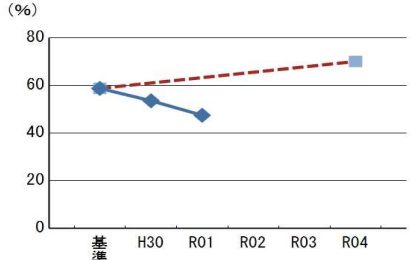
指標	医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	人	1,560	-	1,568	1,610	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数は1,568人で、基準値と比較して8人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 自立支援医療(精神通院)受給者証発行者数と重度心身障害者福祉医療対象者数は、毎年、死亡、転出等により多少の増減が生じますが、全体的には増加傾向だと考えられます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■ (中)

#### 基本事業03 社会活動参加の促進

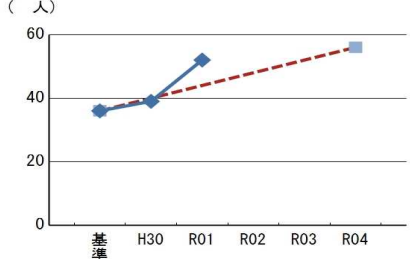
指標	就労移行支援事業等のサービスを利用した障がい者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	人	24	-	26	44	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の就労移行支援事業等のサービスを利用した障がい者数は26人で、基準値と比較して2人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 障害者の就労相談の際、制度の説明と周知に努めていますが、就労移行支援を希望する方が少ないため、成果はほぼ横ばいとなっています。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■ (中)

基本事業の成果状況と評価

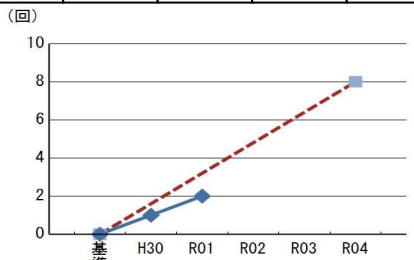
基本事業03 社会活動参加の促進

指標	社会参加促進事業サービス利用割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	%	58.7	-	47.4	70	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の社会参加促進事業サービス利用割合は47.4%で、基準値と比較して11.3%減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 福祉タクシー利用助成事業の対象者が、福祉輸送サービスや乗合タクシーの利用など、障害者サービス以外のサービスを利用していることにより利用割合が減少したと考えられます。</p>						(対前年度)
							-
							達成状況
							■ (低)

基本事業04 児童発達支援の充実

指標	就学前の障がい児通所支援の利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	人	36	-	52	56	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の就学前の障がい児通所支援の利用者数は52人で、基準値と比較して16人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 山武市簡易マザーズホームの受入体制を整備し、利用者が待機せずにご利用できるようになったため、利用者数が増加したと考えられます。</p>						(対前年度)
							-
							達成状況
							■■■ (高)

基本事業04 児童発達支援の充実

指標	切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【社会福祉課】	回	0	-	2	8	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数は2回で、基準値と比較して2回増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 障がい児の情報共有をするシステムの構築のための会議を開催する予定でしたが、庁内関係部署と2回の協議の結果、新規システムの構築は困難となったため、その後の会議開催に繋がりませんでした。</p>						(対前年度)
							-
							達成状況
							■ (低)



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

がん、心臓病、脳卒中は市の死因の55.1%を占め、国民健康保険の疾病別医療費分析によると、その原因となる可能性が高い疾病の第1位は糖尿病、第2位は高血圧となっているため、生活習慣病の発症予防や重症化予防に対する対策を強化していく必要があります。

がんは死因順位1位であり、早期発見・早期治療のためには、がん検診受診率を向上させる必要があります。

市の自殺率（人口10万対）は、国、県と比較して高い状態が続いています。関係部署や関係機関と連携し、情報収集、情報共有を行い、個別支援につなげていくことが重要です。

市の子どものむし歯保有者数は、毎年県平均より高い状況にあるため、むし歯予防対策の充実に努める必要があります。

地域医療体制の充実に当たって、地方独立行政法人んさんむ医療センターの整備と健全な運営を確保する必要があります。

国民健康保険一人あたり総医療費を減少させるためには、特定健康診査事業の受診率を向上させる必要があります。検診結果を理解し、健康意識向上につながる啓発や相談の強化を図る必要があります。



## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
健康だと思ふ市民割合（％）	成果	-	80.8	☀ (向上)	-	
生活習慣病死亡率（％）	成果	-	-	---	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)(項目)	成果	-	4	☀ (向上)	-	
02	特定健康診査受診率（％）	成果	-	40.1	☀ (向上)	-	
02	がん検診を年1回受けている市民の割合（％）	成果	-	50.3	☁ (横ばい)	-	
02	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合（％）	成果	-	-	---	-	
03	乳幼児健診の受診率（％）	成果	-	93.5	☁ (横ばい)	-	
03	乳幼児健診の満足度（％）	成果	-	95.1	☀ (横ばい)	-	
03	幼児（3歳）のむし歯保有者率（％）	成果	-	14.7	☀ (横ばい)	-	
04	地域医療体制の充足度（％）	成果	-	58.6	☀ (横ばい)	-	
05	1人当たりの総医療費（円）	成果	-	340,123	☂ (低下)	-	
05	慢性腎不全、高血圧症、糖尿病の構成割合（％）	成果	-	28.2	---	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

### 施策 03 健康づくりの推進

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 健康への意識が高まることにより、生活習慣病が減少し、健康な心身で生活を送り続けられます。

#### 施策の成果状況と評価

指標	健康だと思ふ市民割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【健康支援課】	%	73.6	-	80.8	74	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の健康だと思ふ市民の割合は80.8%で、基準値と比較して7.2ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 男女別では男性に比べて女性が2.2ポイント高く、年代別では20歳代が92.2%で最も高くなっています。地域別では成東地区は83.1%と最も高く、職業別では学生を除くと、会社員・公務員が最も86.6%で最も高くなっています。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							☑ (達成)
指標	生活習慣病死亡率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【健康支援課】	%	55.1	-	-	55	---
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の生活習慣病死亡率は11月以降に公表されるため未定です。</p> <p>&lt; 原因 &gt;</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							---

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	心身の健康管理の充実
基本事業	02	健診の受診率向上と生活習慣の改善
基本事業	03	母子の健康管理
基本事業	04	医療体制の充実
基本事業	05	国民健康保険医療費の改善

### 基本事業01 心身の健康管理の充実

指標	1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	単位	基準値	実績値(H30)	実績値(R01)	めざそう値(R04)	対基準値
	【健康支援課】	項目	3.73	-	4	3.8	☀️ (向上)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和元年度の1人当たりの健康づくり取組項目数は4.00項目で、基準値と比較して0.27ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt;原因&gt; 30年度と比較して最も増加した項目は、「週2回以上の運動(スポーツや散歩など)」で6.0ポイント増加しました。最も減少した項目は「朝食を毎日とる」で、1.1ポイント減少しました。</p>						対前年度 -
							達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	特定健康診査受診率	単位	基準値	実績値(H30)	実績値(R01)	めざそう値(R04)	対基準値
	【国保年金課】	%	34.8	-	40.1	36.4	☀️ (向上)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和元年度の特定健康診査受診率は40.1%で、基準値と比較して5.3ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt;原因&gt; 人工知能(AI)によるデータ分析に基づき、受診勧奨を必要とする対象者の抽出及び対象者の特性に合わせた勧奨資料の送付を行うことができ、全ての受診履歴の対象者において受診率は向上しました。経年未受診者の受診者数は797人(受診率6.3%)で、受診率の向上に大きく影響するとともに、通院を理由とした健診未受診者の受診啓発につながりました。</p>						対前年度 -
							達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	がん検診を年1回受けている市民の割合	単位	基準値	実績値(H30)	実績値(R01)	めざそう値(R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	50.4	-	50.3	53	☁️ (横ばい)
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和元年度のがん検診を年1回受けている市民の割合は50.3%で、基準値と比較し0.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt;原因&gt; がん検診の内訳を見ると、30年度と比較して乳がん検診が1.9ポイント増加しています。がん検診の受診率向上を目指し、特定年齢の方にがん検診の勧奨と申込みが簡易にできる「がん検診案内はがき」を送付したことや、検診料金の割引クーポン券の配付なども受診者の増加に繋がったと考えられます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■■■ (中)

### 基本事業02 健診の受診率向上と生活習慣の改善

指標	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	単位	基準値	実績値(H30)	実績値(R01)	めざそう値(R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	29.9	-	-	29	---
評価	<p>&lt;状況&gt; 令和元年度のメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は、11月以降に公表されるため未定です。</p> <p>&lt;原因&gt;</p>						対前年度 -
							達成状況 ---

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業03 母子の健康管理

指標	乳幼児健診の受診率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	95.8	-	93.5	95	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の乳幼児健診の受診率は93.5%で、基準値と比較して2.3ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 年度後半、新型コロナウイルス感染症対策のため、集団健診を中止したために受診率が減少したと考えられます。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							■ (低)

### 基本事業03 母子の健康管理

指標	乳幼児健診の満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	94.3	-	95.1	94	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の乳幼児健診の満足度は95.1%で、基準値と比較して0.8ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 毎回アンケート結果を健診スタッフ全員で共有し、受診者の要望に応えられるように努めていることが考えられます。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							🏰 (達成)

### 基本事業03 母子の健康管理


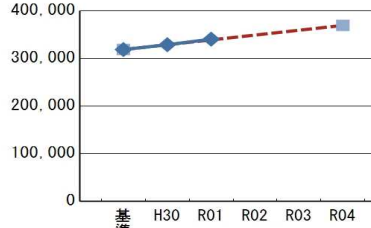

指標	幼児（3歳）のむし歯保有者率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	16.6	-	14.7	16	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の幼児（3歳）のむし歯保有者率は14.7%で、基準値と比較して1.9ポイント減少しめざそう値を達成しました</p> <p>&lt; 原因 &gt; 3歳児のむし歯保有者率は、年度によって数値の上下はありますが、全体的に減少傾向にあります。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							🏰 (達成)

### 基本事業04 医療体制の充実

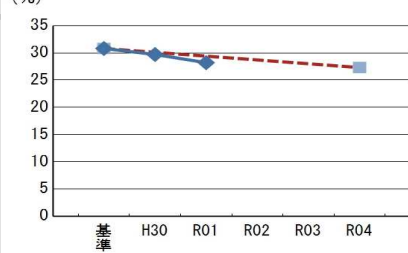
指標	地域医療体制の充足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【健康支援課】	%	55.1	-	58.6	57	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の地域医療体制の充足度は58.6%で、基準値と比較して3.5ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 診療科目別では、皮膚科、眼科、産婦人科の順で充足していないと感じている市民の方が多いです。さんむ医療センターでは、市民が安心して暮らせる医療サービスの提供と安定した病院経営に努めていますが、医師不足により市民が必要と感じる診療を充足させるには厳しい状況にあります。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業05 国民健康保険医療費の改善

指標	1人当たりの総医療費	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【国保年金課】	円	318,315	-	340,123	369,014	
評価			(円)				(低下)
	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の1人当たりの総医療費は340,123円で、基準値と比較して21,808円増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 国民健康保険加入者は、前年度と比較して449人減少、2.8ポイント減少しています。また、加入者の年齢構成では、60歳から74歳が5割を占め、医療費の上位を占める生活習慣病等の疾患である高血圧性疾患、糖尿病等は60歳以上の年齢層で8割以上を占めています。加入者が減少する一方で被保険者の高齢化及び医療技術等の高度化に伴う医療費増加の要因と推測されます。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							 (中)

基本事業05 国民健康保険医療費の改善

指標	慢性腎不全、高血圧症、糖尿病の構成割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【国保年金課】	%	30.8	-	28.2	27.3															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の慢性腎不全、高血圧症、糖尿病の構成割合は28.2%で、基準値と比較して2.6ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 疾病別では、高血圧症が1.83%、慢性腎不全（透析あり）が0.78%、糖尿病が0.02%の減少、慢性腎不全（透析なし）が0.04%の上昇となりました。特定健康診査データから県・国に比べて血圧の有所見率は高く、HbA1cの有所見率は高い状況です。</p>	<p>(%)</p>  <table><tr><th>項目</th><th>値</th></tr><tr><td>基準</td><td>30.8</td></tr><tr><td>H30</td><td>28.2</td></tr><tr><td>R01</td><td>27.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>-</td></tr></table>					項目	値	基準	30.8	H30	28.2	R01	27.3	R02	-	R03	-	R04	-	---
							項目	値													
							基準	30.8													
							H30	28.2													
							R01	27.3													
R02	-																				
R03	-																				
R04	-																				
対 前年度																					
-																					
達成 状況																					
■■ (中)																					

## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

共働きやひとり親家庭の増加に伴い、子育て支援のニーズが多様化しています。また、未満児（3歳児未満）の保育の需要が増加しています。市では認定こども園化を推進するとともに、多様なサービスへの体制づくりに努める必要があります。

子育てについての相談機関として「子育て世代包括支援センター（はびねす）」等、相談機関の体制づくりを行っています。

市では、子どもの医療費助成の対象年齢を拡大しており、引き続き保護者の経済的な負担軽減を図っていく必要があります。

学童クラブは、利用者の増加に伴い小学校の余裕教室確保が課題となります。また、放課後子ども総合プランにより学童クラブと放課後子ども教室を一体的あるいは連携して実施する総合的な放課後対策が課題となります。

若い世代を中心に、結婚・出産・子育ての希望が叶えられる環境づくりが必要になっています。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合（％）	成果	-	92.3	☁ (横ばい)	-	
この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合（％）	成果	-	89.2	☂ (低下)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	幼稚園 保育所 ・こども園の利用定員充足率（％）	成果	-	87.9	☀ (横ばい)	-	
01	就学前保育 教育に関する保護者の満足度（％）	成果	-	94.6	☁ (横ばい)	-	
02	配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合（％）	成果	-	99.3	☀ (横ばい)	-	
02	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合（％）	成果	-	87	☁ (横ばい)	-	
02	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合（％）	成果	-	89.4	☁ (横ばい)	-	
02	各種子育て相談延べ件数（件）	代替	-	4,280	☀ (横ばい)	-	
03	子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数（人）	代替	-	74,865	☁ (横ばい)	-	
03	ひとり親家庭の自立率（％）	成果	-	7.5	☀ (横ばい)	-	
04	児童虐待通告件数（件）	成果	-	71	---	-	
04	児童に関する措置件数（件）	成果	-	2	---	-	
05	学童クラブの定員充足率（％）	成果	-	80.9	☁ (横ばい)	-	
06	出生者数(計画期間累計)(人)	成果	-	199	☁ (横ばい)	-	
06	結婚する意欲のある独身者の割合（％）	成果	-	84.1	☀ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

### 施策 04 子育ての支援

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童（0～18歳未満）</li> <li>・ 子育て家庭</li> </ul>	安心して産む・育む等の子育て環境が整っているまちになっています。

#### 施策の成果状況と評価

指標	子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【子育て支援課】	%	93	-	92.3	93	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の子育てが幸せ、楽しいと思う乳幼児の保護者の割合は92.3%で、基準値と比較して0.7ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年3月の乳幼児健診をすべて中止しましたが、指標値に変化は見られませんでした。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							■ ■ ■ (中)

指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【子育て支援課】	%	94.4	-	89.2	94.4	☔ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のこの地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合は89.2%で、基準値と比較して5.2ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 母子保健事業は、大きな変更を行うことなく、現行どおり実施しており、指標値が減少傾向です。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							■ ■ ■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。



## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 幼保機能の充実

基本事業 02 子育て不安の軽減

基本事業 03 子育て家庭への援助

基本事業 04 こどもの人権の尊重

基本事業 05 学童保育の充実

基本事業 06 次世代育成に係る家族形成の支援

### 基本事業01 幼保機能の充実

指標	幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	85.1	-	87.9	85	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率は87.9%で、基準値と比較して2.8ポイント増加しめざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; こども園・幼稚園の入園児数が前年に比べ増加したことにより、利用定員充足率が増加しました。</p>						対前年度 -
							達成状況 (達成)

### 基本事業01 幼保機能の充実

指標	就学前保育・教育に関する保護者の満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	96.9	-	94.6	97	☁️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の就学前保育・教育に関する保護者の満足度は94.6%で、基準値と比較して2.3ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は災害等により中止となる行事が多かったため行事に対する満足度は下がりましたが、施設環境、衛生対策などの項目の満足度は向上しました。 各施設において保育教諭、保育士、幼稚園教諭等が適切な対応を行ったことが満足度向上の原因と考えます。</p>						対前年度 -
							達成状況 (中)

### 基本事業02 子育て不安の軽減

指標	配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	99.2	-	99.3	99.2	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合は99.3%で基準値と比べ0.1ポイント増加し、目指そう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 前年度と比較して、地域・職場・子育てサークルなど身近な相談相手が増えたことにより、相談相手がいない保護者が減少したことが原因と考えられます。</p>						対前年度 -
							達成状況 (達成)

### 基本事業02 子育て不安の軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	91	-	87	91	☁️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合は87.0%で、基準値と比較して4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 母子保健事業は、大きな変更を行うことなく、現行どおり実施しており、指標値が減少傾向です。</p>						対前年度 -
							達成状況 (中)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業02 子育て不安の軽減

指標	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	90.5	-	89.4%	90.5	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合は89.4%で、基準値と比較して1.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 母子保健事業は、大きな変更を行うことなく、現行どおり実施しており、指標値に変化は見られませんでした。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■ (中)

### 基本事業02 子育て不安の軽減

指標	各種子育て相談延べ件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	件	3,204	-	4,280	3,200	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の各種子育て相談延べ件数は4,280件で、基準値と比較して1,076ポイント増加、前年度と比較して497ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 内訳は、家庭児童相談室2,278件、家庭教育相談室36件、保健センター事業(乳幼児面接・訪問(乳児全戸含む)・電話相談・すくすく広場(育児相談))1,872件、子育て支援センター94件で、基準値より子育て相談延べ件数が増加したのは、各種相談窓口がそれぞれの役割を担い、積極的に事業展開を行ったことが主な要因と考え</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■■ (高)

### 基本事業03 子育て家庭への援助

指標	子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	人	76,140	-	74,865	76,140	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数は74,865人で、基準値と比較して1,275人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 内訳は、子ども医療費利用件数64,556件、児童手当受給世帯数2,722世帯、児童扶養手当受給者数360人、ひとり親医療費申請件数2,004件、高校生等医療費申請件数5,223件で、R1年8月診療分から、自己負担額が無償化されましたが、少子化による対象人数の減少が延べ受給者数の減少に影響したと考えられます。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■ (中)

### 基本事業03 子育て家庭への援助

指標	ひとり親家庭の自立率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【子育て支援課】	%	4.3	-	7.5	4.3	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のひとり親家庭の自立率は7.5%で、基準値と比較して3.2ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 年度末の児童扶養手当受給者は360名、本人所得制限額超過で全部支給停止は27名、前年度は受給者382名、全部支給停止26名で、受給者は22名減少し、全部支給停止は1名増加しています。児童扶養手当の受給者の減少さらに所得が増加したことが考えられ自立率が増加しています。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ☀ (達成)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業04 こどもの人権の尊重

指標	児童虐待通告件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【子育て支援課】	件	62	-	71	-															
評価		<div>(件)</div> <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>62</td></tr><tr><td>H30</td><td>71</td></tr><tr><td>R01</td><td>71</td></tr><tr><td>R02</td><td>71</td></tr><tr><td>R03</td><td>71</td></tr><tr><td>R04</td><td>71</td></tr></tbody></table>					年度	件数	基準	62	H30	71	R01	71	R02	71	R03	71	R04	71	---
	年度						件数														
	基準						62														
	H30						71														
R01	71																				
R02	71																				
R03	71																				
R04	71																				
< 状況 > 元年度の児童虐待通告件数は71件で、基準値と比較して9件増加しました。	対 前年度																				
< 原因 > 家庭児童相談室への令和元年度の相談・訪問延べ件数は2,278件で、相談内容も多岐にわたっています。地域や関係機関と連携を図りながら、児童虐待の早期発見、早期対応のため、相談者が小さな相談事と思っても相談できる環境づくりに取り組んでいることが児童虐待の予防につながっていると考えます。	-																				
	達成 状況																				
	---																				


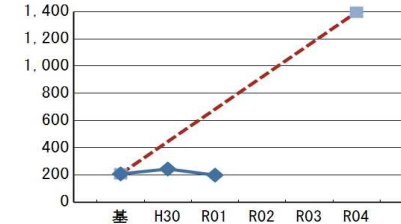
### 基本事業04 こどもの人権の尊重

指標	児童に関する措置件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【子育て支援課】	件	4	-	2	-															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の児童に関する措置件数は2件で、基準値と比較して2件減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 家庭児童相談室と児童相談所、関係機関が連携して様々な問題のある家庭への支援を継続することで、児童に関する措置件数が減少したと考えられます。</p>	<p>(件)</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (件)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>4</td></tr><tr><td>H30</td><td>2</td></tr><tr><td>R01</td><td>2</td></tr><tr><td>R02</td><td>2</td></tr><tr><td>R03</td><td>2</td></tr><tr><td>R04</td><td>2</td></tr></tbody></table>					項目	値 (件)	基準	4	H30	2	R01	2	R02	2	R03	2	R04	2	---
							項目	値 (件)													
							基準	4													
							H30	2													
R01	2																				
R02	2																				
R03	2																				
R04	2																				
対 前年度	-																				
達成 状況																					
---																					


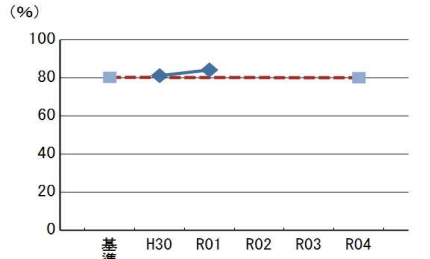

### 基本事業05 学童保育の充実

指標	学童クラブの定員充足率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【子育て支援課】	%	83.8	-	80.9	83.8															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の学童クラブの定員充足率は80.9%で、基準値と比較して2.9ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 学校や教室の規模などで定員を定めているため、児童数の多い小学校の学童クラブでは、高い定員充足率となっている一方、児童数の少ない小学校では、学童クラブの利用者も必然的に少なくなり充足率は低下傾向にあります。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"><caption>学童クラブの定員充足率推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>定員充足率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>83.8</td></tr><tr><td>H30</td><td>80.9</td></tr><tr><td>R01</td><td>80.9</td></tr><tr><td>R02</td><td>80.9</td></tr><tr><td>R03</td><td>80.9</td></tr><tr><td>R04</td><td>83.8</td></tr></tbody></table>					年度	定員充足率 (%)	基準	83.8	H30	80.9	R01	80.9	R02	80.9	R03	80.9	R04	83.8	(横ばい)
		年度	定員充足率 (%)																		
		基準	83.8																		
		H30	80.9																		
R01	80.9																				
R02	80.9																				
R03	80.9																				
R04	83.8																				
対 前年度	-																				
達成 状況																					
	(中)																				

### 基本事業06 次世代育成に係る家族形成の支援

指標	出生者数(計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値	
		人	208	-	199	1,396		
評価	【企画政策課】	(人)						(横ばい)
	< 状況 > 令和元年度の出生者数は199人で、基準値と比較して9人減少し、めざそう値(4年間累計)の元年度期待値357人に158人届きませんでした。						対 前年度	
	< 原因 > 出生数は国全体でも過去最低の86万5千人、前年比 5.79%と急減しています。市の合計特殊出生率は、平成29年の0.91から平成30年は1.14まで持ち直していましたが、出生率が上昇した翌年は反動により下がる傾向があります。めざそう値達成の目安となる「令和2年に出生率1.60」の実現は大変厳しい状況です。						-	
							達成 状況	
							■■■ (低)	

基本事業06 次世代育成に係る家族形成の支援

指標	結婚する意欲のある独身者の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	%	80.2	-	84.1	80	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のアンケート結果は84.1%で、基準値と比較して3.9ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 新型コロナウイルス感染症外出自粛中にアンケートを実施した影響で例年より回答率が高く、元々意欲が高い10歳代20歳の回答数が1.75倍になったことで、指標値が大きく上昇しました。</p> <p>また、20歳代が93.8%と11.2ポイント上昇した一方で、30歳代は63.8%と11.2ポイント減少しており、将来の生活就労環境への不安が大きく影響した可能性があります。</p>	<p>(%)</p>  <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況  (達成)



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

国では、社会的孤立や生活困窮等の問題も含め、子ども・高齢者・障がい者等、すべての人々が地域、暮らし、生きがいをともに創り、高めあうことができる「地域共生社会」の実現を目指した方向性を示しています。

平成30年4月に「社会福祉法」が改正され、地域住民が自ら、地域の様々な分野にわたる生活課題を把握し、その解決に向けて各種支援機関と連携しながら活動するということが、地域福祉の理念として掲げられました。一人でも多くの市民が地域活動に参加することのできる仕組みを整備し、活動の活性化を図ることが必要とされています。

生活保護受給者の増加に加え、非正規職員の労働者や低所得の給与収入者など、生活に困窮するリスクの高い層が増えています。

生活保護受給者数は、高齢化の進展等の社会情勢から、今後も増加が見込まれます。生活保護受給者の自立に向けた、個々の状況に応じた適切な援助、指導が必要です。

公営住宅については、長寿命化や今後の在り方を検討しながら、施設管理を行っています。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
地域で福祉の相互扶助できていると思う市民の割合（％）	成果	-	22.6	☀ (横ばい)	-	
生活保護率（‰）	代替	-	8.32	☁ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合（％）	成果	-	12.4	☀ (横ばい)	-	
01	福祉活動の市民活動団体の加入者数（人）	成果	-	1,478	☀ (横ばい)	-	
02	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数（人）	成果	-	27,406	☂ (低下)	-	
02	民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数（日）	成果	-	94	☀ (横ばい)	-	
03	生活困窮者相談件数（件数）	成果	-	2,028	☀ (向上)	-	
04	自立による生活保護廃止件数（件）	成果	-	11	☀ (向上)	-	
05	公営住宅入居率（％）	代替	-	90.2	☂ (低下)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

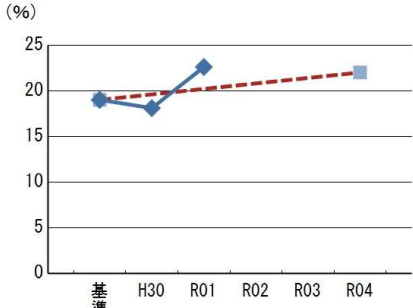
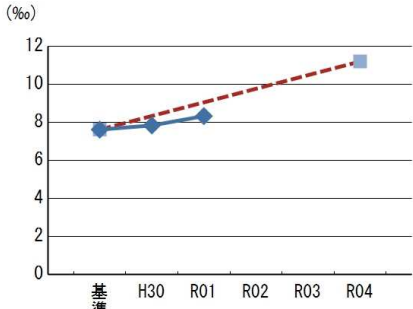
## 政策 04 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり

### 施策 05 地域福祉の充実とセーフティネットの推進

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 生活困窮者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で相互扶助できていると思う市民が増加します。</li> <li>・ 市民が経済的に安定した生活が送れます。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価

指標	地域で福祉の相互扶助できていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【社会福祉課】	%	19	-	22.6	22	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 地域で福祉の相互扶助できていると思う市民の割合は22.6%で、基準値に比べ3.6ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は、台風15号、台風19号及び10月25日大雨の災害があり、この災害時に相互扶助をできた市民がいたことが要因と思われます。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							☀ (達成)
指標	生活保護率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【社会福祉課】	‰	7.61	-	8.32	11.19	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の生活保護率は8.32‰で、基準値と比較して0.71‰増加しましたが、めざそう値は達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; ケースワーカー及び就労支援員による生活保護廃止に向けた就労支援、指導等の取組を実施していますが、高齢化の進展や傷病などによる失業等により、高齢世帯、傷病世帯及び障がい者世帯が増加傾向にあります。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							☀ (達成)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。



## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	地域福祉の担い手育成
基本事業	02	社会福祉機関・団体の充実
基本事業	03	生活困窮者自立支援の充実
基本事業	04	生活保護制度の適正な実施
基本事業	05	公営住宅の維持管理

### 基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標	地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
		%	11.3	-	12.4	12	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合は12.4%、基準値に比べ1.1ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は、台風15号、台風19号及び10月25日大雨の災害があり、この災害のボランティアに市民が参加したことが要因と思われます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ☀️ (達成)

### 基本事業01 地域福祉の担い手育成

指標	福祉活動の市民活動団体の加入者数 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
		人	1,465	-	1,478	1,500	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の福祉活動の市民活動団体の加入者数は1,478人で基準値と比べ13人増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 団体数は100団体で前年度から10団体増加しておりますが、団体の細分化によるものもあり、加入者数の増加は団体数の増加に比べ伸びが小さいです。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■ ■ ■ (中)

### 基本事業02 社会福祉機関・団体の充実

指標	社会福祉協議会で実施した事業への参加者数 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
		人	32,005	-	27,406	33,000	☔️ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の社会福祉協議会で実施した事業への参加者数は27,406人で、基準値と比較して4,599人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は、台風15号、台風19号及び10月25日大雨の災害があり、健康福祉まつり等の行事が中止となったことが大きな要因です。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■ ■ ■ (低)

### 基本事業02 社会福祉機関・団体の充実

指標	民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数 【社会福祉課】	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
		日	90	-	94	90	☀️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数は94日で、基準値と比較して4日増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 平時の地域活動によるものと台風等の災害時の活動を行ったことによるものです。</p>						対前年度 -
							達成状況 ☀️ (達成)

## 基本事業の成果状況と評価


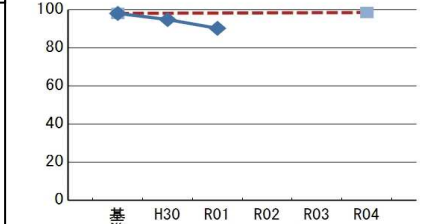

### 基本事業03 生活困窮者自立支援の充実

指標	生活困窮者相談件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値																					
	【社会福祉課】	件数	1,270	-	2,028	1,520	☀																					
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の生活困窮者相談件数は2,028件で、基準値を758件上回りめざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 相談員の体制が平成30年度まで2人体制でしたが、対象者の増加に対応するため、令和元年度から3人体制とし強化したことによるものです。</p>	<p>(件数)</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>1,270</td><td>2,028</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>1,520</td></tr><tr><td>目標値</td><td>-</td><td>-</td><td>1,520</td><td>1,520</td><td>1,520</td><td>1,520</td></tr></tbody></table>					項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	実績値	1,270	2,028	-	-	-	1,520	目標値	-	-	1,520	1,520	1,520	1,520	(向上)
							項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04															
							実績値	1,270	2,028	-	-	-	1,520															
							目標値	-	-	1,520	1,520	1,520	1,520															
							対前年度																					
-																												
達成状況																												
☀ (達成)																												

### 基本事業04 生活保護制度の適正な実施

指標	自立による生活保護廃止件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値																					
	【社会福祉課】	件	15	-	11	9																						
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の自立による生活保護廃止件数は11件で、基準値と比較して4件減少しましたが、めざそう値は達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 主な原因としては、親類縁者の引取りにより廃止に至ったケースが増加しました。</p>	<p>(件)</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>基準</th><th>H30</th><th>R01</th><th>R02</th><th>R03</th><th>R04</th></tr></thead><tbody><tr><td>実績値</td><td>15</td><td>11</td><td>11</td><td>-</td><td>-</td><td>9</td></tr><tr><td>目標値</td><td>15</td><td>15</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td></tr></tbody></table>					項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04	実績値	15	11	11	-	-	9	目標値	15	15	12	11	10	9	(向上)
							項目	基準	H30	R01	R02	R03	R04															
							実績値	15	11	11	-	-	9															
							目標値	15	15	12	11	10	9															
							対前年度																					
-																												
達成状況																												
(達成)																												

### 基本事業05 公営住宅の維持管理

指標	公営住宅入居率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値																					
	【都市整備課】	%	98.03	-	90.2	98.5																						
評価 値	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の公営住宅入居率は90.2%で、基準値と比較して8.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 入居決定者の辞退や浄化槽の災害復旧工事により入居決定者の入居が次年度に延期となったこと、また、長期間の工事により、入居募集がかけられなかったことが原因です。</p>	<p>(%)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>基準値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>98.03</td><td>98.03</td></tr><tr><td>H30</td><td>90.2</td><td>98.03</td></tr><tr><td>R01</td><td>90.2</td><td>98.03</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td><td>98.03</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td><td>98.03</td></tr><tr><td>R04</td><td>98.5</td><td>98.03</td></tr></tbody></table>					年度	実績値 (%)	基準値 (%)	基準	98.03	98.03	H30	90.2	98.03	R01	90.2	98.03	R02	-	98.03	R03	-	98.03	R04	98.5	98.03	(低下)
		年度	実績値 (%)	基準値 (%)																								
		基準	98.03	98.03																								
		H30	90.2	98.03																								
R01	90.2	98.03																										
R02	-	98.03																										
R03	-	98.03																										
R04	98.5	98.03																										
対前年度	-																											
達成状況																												
	 (低)																											



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

少子化により児童・生徒数は今後も減少が見込まれます。「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画」に基づき、小学校の複式学級及び中学校の単学級の解消を図ります。

近年の教育課題として、経済格差から子どもの学ぶ意欲や学力の低下、規範意識や倫理観の欠如等、社会を構成する一員としての責任の自覚や正義感の乏しさ等が懸念されています。

確かな学力の向上を図るため、個に応じた少人数指導の充実による指導方法の工夫改善を図る必要があります。

児童・生徒一人ひとりのニーズに対応するために、支援員の配置等の人的支援を含めた具体的な対応策を講じる必要があります。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業においてＩＣＴ機器の有効活用を図る必要があります。

社会全体で子どもたちを守り育むため、学校・家庭・地域が協力できる体制づくりを推進する必要があります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
学校生活に満足している児童の割合 (%)	成果	-	92.5	☁ (横ばい)	-	
学校生活に満足している生徒の割合 (%)	成果	-	89.2	☁ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	学力の向上が見られる児童の割合 (%)	成果	-	-	---	-	
01	学力の向上が見られる生徒の割合 (%)	成果	-	-	---	-	
01	中学校卒業時に英語検定 3級以上を取得している生徒の割合 (%)	成果	-	35	☁ (横ばい)	-	
02	生活習慣の改善に努めた生徒の割合 (%)	成果	-	28.7	☀ (向上)	-	
02	朝食を毎日食べている児童・生徒の割合 (%)	成果	-	78.5	☁ (横ばい)	-	
03	不登校児童の割合 (%)	成果	-	0.51	☀ (横ばい)	-	
03	不登校生徒の割合 (%)	成果	-	4.2	☀ (横ばい)	-	
03	道徳性、規律性がある児童・生徒の割合 (%)	成果	-	93.7	☀ (横ばい)	-	
04	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合 (%)	成果	-	50.5	☂ (低下)	-	
04	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合 (%)	成果	-	38.1	☂ (低下)	-	
04	授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合 (%)	成果	-	46.9	☀ (向上)	-	
05	学校施設 給食施設の不具合による学校生活支障件数 (件)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	
05	複式学級 (小学校) 及び単学級 (中学校) の出現数 (校)	成果	-	1	☀ (横ばい)	-	
06	学校教育活動に協力した市民数 (人)	成果	-	503	☂ (低下)	-	
06	コミュニティ・スクール導入学校数 (校)	成果	-	2	☀ (向上)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

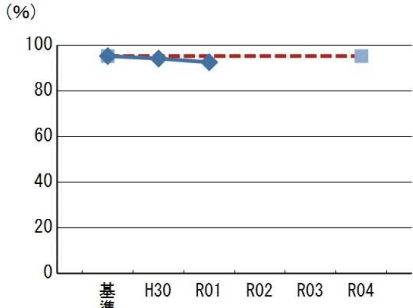
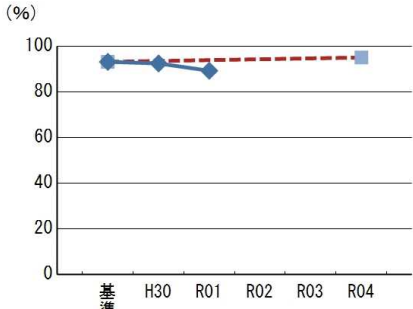
政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 01 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童</li> <li>・ 生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活に満足している児童生徒が増加します。</li> </ul>

施策の成果状況と評価

指標	学校生活に満足している児童の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	%	95.2	-	92.5	95.2	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の学校生活に満足している児童の割合は92.5%で、基準値と比較して2.7ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 学校生活に満足している児童の割合は高い水準を維持しています。また、授業を理解している児童の割合も92.9%と高い水準を維持しています。</p> <p>市の少人数指導講師や支援員の配置によりきめ細かな指導が行き渡っていることが原因と考えられます。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							■ ■ ■ (中)
指標	学校生活に満足している生徒の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	%	93.1	-	89.2	95	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の学校生活に満足している生徒の割合は89.2%で、基準値と比較して3.9ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 満足していないと答えた生徒の中には学力不振、校則に対する不満、人間関係のトラブル等がありました。また、令和元年度は台風や大雨による臨時休校や停電等の影響があったことも原因の1つと考えられます。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							■ ■ ■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
基本事業	02	「健やかな体」の育成
基本事業	03	「豊かな心」を育む
基本事業	04	ICT教育の実践
基本事業	05	教育環境の整備
基本事業	06	地域と学校の協力体制の推進

### 基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	学力の向上が見られる児童の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	57.5	-	-	60	---
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 新型コロナウイルス感染症予防による臨時休校に伴い県標準学力検査が中止になったため、指標を取得することができませんでした。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							---

### 基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	学力の向上が見られる生徒の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	54.4	-	-	56	---
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 新型コロナウイルス感染症予防による臨時休校に伴い県標準学力検査が中止になったため、指標を取得することができませんでした。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							---

### 基本事業01 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進

指標	中学校卒業時に英語検定 3 級以上を取得している生徒の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	36.1	-	35	50	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の 3 級以上の取得率の割合は35.0%で、基準値と比較して1.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 市内中学生に英語検定 3 回中の 1 回、受験の全額補助と受験対象者に英語検定対策講座を年間 3 回開設していることで、横ばいを維持しています。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							■■■ (低)

### 基本事業02 「健やかな体」の育成

指標	生活習慣の改善に努めた生徒の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	23.1	-	28.7	30	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の成果指標は28.7%で、基準値と比較して4.7ポイント増加しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 基準値より4.7ポイント上回っていますが、生徒・保護者共に積極的に取り組んでいないことが考えられます。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							■■■ (中)



## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業02 「健やかな体」の育成

指標	朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	82.8	-	78.5	85	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の毎日朝食を食べている山武市の児童・生徒の割合は78.5%で、基準値と比較して4.3ポイント減少しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 毎日朝食を食べる児童・生徒の割合は小学生が81.8%、中学生が75.3%です。食欲不振や朝食の時間不足が主な理由であり、朝食の必要性の指導や生活習慣の改善の必要があると考えられます。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■■ (低)

### 基本事業03 「豊かな心」を育む

指標	不登校児童の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	0.61	-	0.51	0.45	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の不登校児童の割合は0.51%で、基準値と比較して0.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 神経症型不登校だけでなく、生活規範の乱れが原因の脱落型不登校や積極的（意図的）不登校児童が存在しています。市雇用の心の教室相談員の配置（11校）や県派遣のスクールカウンセラーの配置（4校）による相談活動、教育相談担当職員の研修等支援体制を充実させてきてはいますが、残念ながら国・県・市ともに増加がとまらず、不登校の解消は難しいのが現状です。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■■ (中)

### 基本事業03 「豊かな心」を育む

指標	不登校生徒の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	4.23	-	4.2	3.73	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の不登校生徒の割合は4.2%で、基準値と比較して0.03ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 神経症型不登校だけでなく、生活規範の乱れが原因の脱落型不登校や積極的（意図的）不登校生徒の増加が見られます。市雇用の心の教室相談員の増配置（5校）や県派遣のスクールカウンセラー（全校配置）による相談活動、教育相談担当職員を中心とする全職員の支援体制により不登校生徒の増大を抑えていますが、国・県・市ともに不登校生徒の増加を抑えるのは難しい状態にあります。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■■ (中)

### 基本事業03 「豊かな心」を育む

指標	道徳性、規律性がある児童・生徒の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	92.2	-	93.7	97	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の道徳性、起立性があると考えられる児童生徒の割合は93.7%で、基準値と比較して1.5ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 道徳の教科化により、年間指導計画に基づく計画的な道徳の実施やいじめ防止のための継続的な指導が要因であると考えられます。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■■ (中)



## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業04 ICT教育の実践

指標	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	56.7	-	50.5	60	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の成果指標は50.5%で、基準値と比較して6.2ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; ICT機器の活用が、一般的になってきたことが、原因と考えられます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■ (低)

### 基本事業04 ICT教育の実践

指標	ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	38.8	-	38.1	45	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の成果指標は38.1%で、基準値と比較して0.7ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; ICT機器の活用が、一般的になってきたことが、原因と考えられます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■ (低)

### 基本事業04 ICT教育の実践


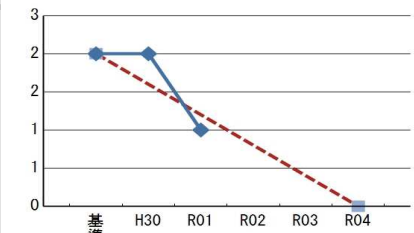

指標	授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【学校教育課】	%	37.7	-	46.9	50	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の成果指標は46.9%で基準値と比較して9.2ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; ICT機器の活用が、一般的になってきたことが、原因と考えられます。</p>						対前年度 -
							達成状況 ■■ (高)

### 基本事業05 教育環境の整備


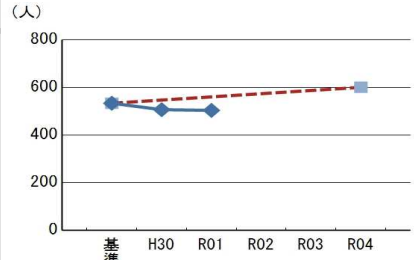

指標	学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【教育総務課】	件	0	-	0	0	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 学校施設・給食センター施設の不具合による学校生活支障件数は0件で、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 保守・日常点検等の実施により、多くの学校施設や給食センター施設において改修や修繕の必要性が発生していますが、児童や生徒の学校生活に支障が出るような不具合等はありませんでした。また、突発的な案件についても迅速かつ適切に対応してきました。</p>						対前年度 -
							達成状況 ☀ (達成)

基本事業の成果状況と評価

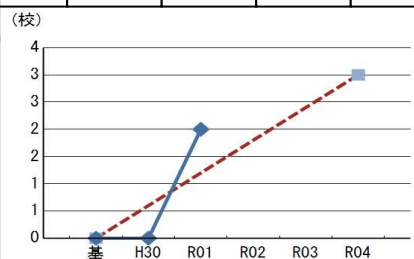
基本事業05 教育環境の整備

指標	複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値	
	【学校再編推進室】	校	2	-	1	0		
		(校)						(横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の複式学級を有する小学校は0校、全学年単学級の中学校は1校となります。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 平成31年4月に松尾小学校(松尾小学校と豊岡小学校の統合)が開校し、複式学級を有する小学校は0校となりました。</p> <p>全学年単学級の蓮沼中学校は、松尾中学校との組み合わせによる学校統合実施計画を令和2年2月に策定し、令和4年4月の開校に向けた準備を令和2年度より開始します。</p>							対 前年度
								-
								達成 状況
								
								(中)

基本事業06 地域と学校の協力体制の推進

指標	学校教育活動に協力した市民数		単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値	
			人	533	-	503	600		
	【学校教育課】		(人)					(低下)	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の学校教育活動に協力した市民数は503人で、基準値と比較して30人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 様々な活動にご協力いただいておりますが、中でも「読み聞かせ活動」が微増する一方、「防犯活動」「栽培活動」がやや減少しました。また、豊岡小学校・山武南中学校の統合による減少も影響しました。</p>								対 前年度
									-
									達成 状況
									 (低)

基本事業06 地域と学校の協力体制の推進

指標	コミュニティ・スクール導入学校数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【学校教育課】	校	0	-	2	3	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 統合校2校（山武中、松尾小）にコミュニティ・スクールを導入しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 統合に合わせ、予定どおり導入が進んだことによるものです。</p>	(校)					(向上)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							 (高)



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

市民の学習ニーズの多様化・高度化が進んでおり、これらのニーズに対応した講座の充実が求められています。

生涯学習施設利用者の高齢化・固定化が進んでいます。新たなニーズを模索し市民誰もが参加しやすい学習・文化事業の展開が必要です。また、各施設については老朽化が進行しており、公共施設等総合管理計画に基づく、施設の適正配置及び維持管理が必要となっています。

市内には国が指定する2件の文化財のほか、県12件、市90件の指定文化財があります。これらを周知・活用した学習機会を増やすことで、郷土愛の醸成につなげます。

芸術文化への関心が高まり、活動への新規参加者は増加傾向にあります。一方で、郷土芸能活動をはじめとする伝統文化等の継承・保存は担い手不足等により困難になっています。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機に、グローバル化が急速に進んでいます。多文化交流・理解力・国際競争力が求められる中、広い視野を持つ人材の育成が必要です。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）（％）	成果	-	25.7	☂ （低下）	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	市主催の生涯学習講座の年間参加者数（人）	成果	-	3,056	☂ （低下）	-	
01	自主クラブ登録数（グループ）	成果	-	120	☁ （横ばい）	-	
02	生涯学習施設の利用者数（人）	成果	-	294,243	☂ （低下）	-	
03	市民が認識している市内文化財数（全13項目）（項目）	成果	-	9.42	☀ （向上）	-	
03	文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数（人）	成果	-	4,911	☂ （低下）	-	
04	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合（％）	成果	-	69.2	☀ （向上）	-	
04	市主催の芸術文化事業への参加者数（人）	成果	-	5,594	☂ （低下）	-	
04	芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合（％）	成果	-	34.3	☂ （低下）	-	
05	青少年育成事業 体験学習への児童・生徒参加者数（人）	成果	-	3,168	☂ （低下）	-	
05	海外派遣事業応募者数（人）	代替	-	15	☂ （低下）	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 05 生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり

### 施策 02 生涯学習の推進

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民 (主に学校教育を終了した市民)	・ 生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取組が活発化し、自己実現が図られます。

#### 施策の成果状況と評価


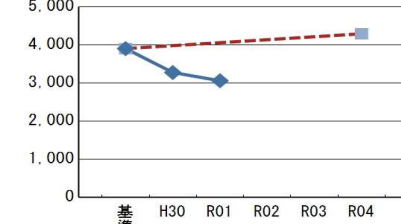
指標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【生涯学習課】	%	30.8	-	25.7	33	☂ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の生涯学習に取り組んでいる市民の割合（全般的）は25.7%で、基準値と比較して5.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は台風や大雨による災害、新型コロナウイルス感染症防止等に伴い、自主事業や講座の中止・施設利用の制限等があったことが要因と考えます、</p>		<p>(%)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>				対 前年度
							-
							達成 状況
							■■■ (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。


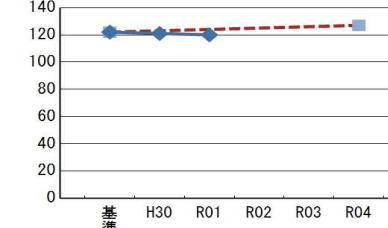
## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	主体的な学習の推進
基本事業	02	生涯学習施設の利用促進
基本事業	03	文化財の保護・活用
基本事業	04	芸術文化活動の充実
基本事業	05	青少年の育成


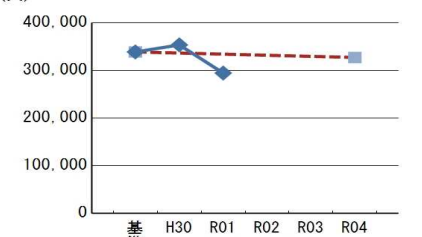
### 基本事業01 主体的な学習の推進

指標	市主催の生涯学習講座の年間参加者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値										
	【公民館】	人	3,899	-	3,056	4,288											
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市主催の生涯学習講座の年間参加者数は3,056人で、基準値と比較して843人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 台風被害及び新型コロナウイルス感染症拡大防止により施設を閉館したため、講座の開催ができなかったことが要因と思われます。</p>	<p>(人)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>3,899</td></tr><tr><td>H30</td><td>3,056</td></tr><tr><td>R01</td><td>3,056</td></tr><tr><td>R04</td><td>4,288</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	3,899	H30	3,056	R01	3,056	R04	4,288	(低下)
							項目	値									
基準	3,899																
H30	3,056																
R01	3,056																
R04	4,288																
							対 前年度										
							-										
							達成 状況										
							■■ (中)										


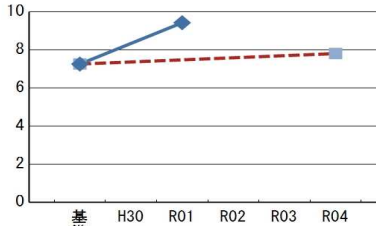

### 基本事業01 主体的な学習の推進

指標	自主クラブ登録数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【公民館】	グル ブ	122	-	120	127															
評 価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の自主クラブ登録数は120グループで、基準値と比較して2グループ減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 自主クラブ会員の高齢化により、クラブの存続が難しくなったことが要因と思われます。</p>	<p>(グループ)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>122</td></tr><tr><td>H30</td><td>120</td></tr><tr><td>R01</td><td>120</td></tr><tr><td>R02</td><td>120</td></tr><tr><td>R03</td><td>120</td></tr><tr><td>R04</td><td>127</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	122	H30	120	R01	120	R02	120	R03	120	R04	127	(横ばい)
							項目	値													
基準	122																				
H30	120																				
R01	120																				
R02	120																				
R03	120																				
R04	127																				
							対 前年度														
							-														
							達成 状況														
							■■ (低)														

### 基本事業02 生涯学習施設の利用促進


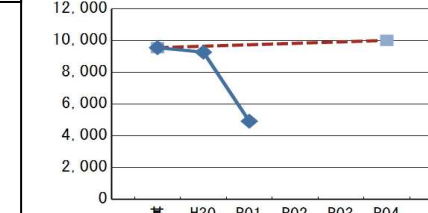

指標	生涯学習施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【文化会館】	人	338,515	-	294,243	326,900															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の生涯学習施設の利用者数は294,243人で、基準値と比較して44,272人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 施設ごとの特徴を生かし、市民ニーズに対応した学習機会の提供や学習環境の整備、活動成果を発表する機会の提供に努めることで利用者数の増加を図りましたが、施設の大規模改修や災害、新型コロナウイルス感染症対策により、施設を使用できない期間が生じたことから、利用者数が大幅減少したものと考えます。</p>	<p>(人)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>338,515</td></tr><tr><td>H30</td><td>294,243</td></tr><tr><td>R01</td><td>294,243</td></tr><tr><td>R02</td><td>294,243</td></tr><tr><td>R03</td><td>294,243</td></tr><tr><td>R04</td><td>326,900</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	338,515	H30	294,243	R01	294,243	R02	294,243	R03	294,243	R04	326,900	(低下)
		項目	値																		
基準	338,515																				
H30	294,243																				
R01	294,243																				
R02	294,243																				
R03	294,243																				
R04	326,900																				
							対 前年度														
							-														
							達成 状況														
							■■ (低)														

### 基本事業03 文化財の保護・活用


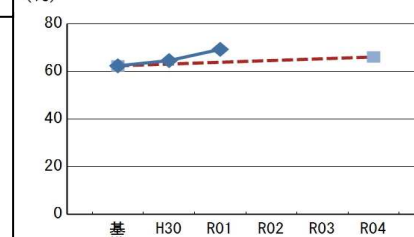

指標	市民が認識している市内文化財数(全13項目)	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【歴史民俗資料館】	項目	7.25	-	9.42	7.8	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市民が認識している市内文化財数の平均は、全13項目中9.42件で、基準値と比較して2.17ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 市内の文化財を紹介する講座を2回開催し、その参加者にアンケートを実施しました。当講座が定着し、より多くの方が興味を持たれ文化財を知る機会を提供できている事が要因と考えます。</p>	(項目)					(向上)
価値							達成 状況   (達成)

## 基本事業の成果状況と評価


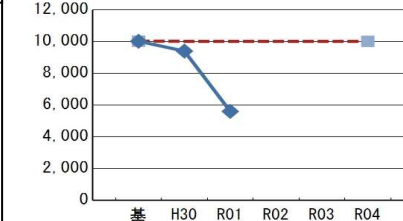

### 基本事業03 文化財の保護・活用

指標	文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【歴史民俗資料館】	人	9,542	-	4,911	10,000															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の文化財を活用した事業・施設への参加者数・入館者数の合計は4,911人で、基準値と比較して4,631人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 減少した原因は夏場の異常高温、秋の度重なる台風襲来による臨時休館や風評被害、生家改修工事による11～1月の昔道具体験の受入れ停止、新型コロナウイルスによるイベント開催自粛及びその後の閉館によるものと考えます。</p> <p>内訳：左千夫茶会233名、昔道具体験203名、食虫観察会等35名)、文化財講座48名、歴史民俗資料館入館者数4,392名</p>	<p>(人)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>9,542</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>R01</td><td>4,911</td></tr><tr><td>R02</td><td>10,000</td></tr><tr><td>R03</td><td>10,000</td></tr><tr><td>R04</td><td>10,000</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	9,542	H30	-	R01	4,911	R02	10,000	R03	10,000	R04	10,000	(低下)
		項目	値																		
		基準	9,542																		
		H30	-																		
		R01	4,911																		
R02	10,000																				
R03	10,000																				
R04	10,000																				
対前年度																					
-																					
達成状況																					
 (低)																					


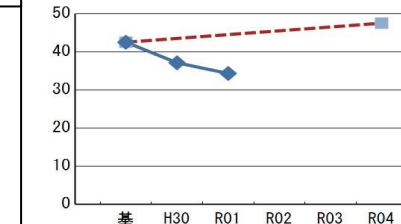

### 基本事業04 芸術文化活動の充実

指標	芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【文化会館】	%	62.3	-	69.2	66															
評価		<div>(%)</div>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>62.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>R01</td><td>69.2</td></tr><tr><td>R02</td><td>66</td></tr><tr><td>R03</td><td>66</td></tr><tr><td>R04</td><td>66</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	62.3	H30	-	R01	69.2	R02	66	R03	66	R04	66	(向上)
	項目						値														
	基準						62.3														
	H30						-														
	R01						69.2														
R02	66																				
R03	66																				
R04	66																				
	＜状況＞ 令和元年度の芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合は69.2%で、基準値と比較して6.9ポイント増加し、めざそう値を達成しています。	対前年度																			
	＜原因＞ ワークショップ等の参加型イベントや知名度の高い出演者によるホールイベント、話題性のある映画の上映会等を企画・開催したことで、より多くの市民に鑑賞する機会を提供できたものと考えます。	-																			
		達成状況																			
		 (達成)																			

### 基本事業04 芸術文化活動の充実

指標	市主催の芸術文化事業への参加者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【文化会館】	人	10,010	-	5,594	10,000															
評価	<p>＜状況＞ 令和元年度の市主催の芸術文化事業への参加者数は5,594人で、基準値と比較して4,416人減少しました。</p> <p>＜原因＞ 令和元年度中は施設の大規模改修のための休館や、災害・新型コロナウイルス感染症対策により、施設を使用できない期間が生じたことにより自主事業が行えなかったことが、利用者数が大幅減少した原因と考えます。</p>	<p>(人)</p>  <table border="1"><caption>参加者数の推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>10,010</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>R01</td><td>5,594</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>10,000</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	10,010	H30	-	R01	5,594	R02	-	R03	-	R04	10,000	(低下)
							項目	値													
							基準	10,010													
							H30	-													
							R01	5,594													
R02	-																				
R03	-																				
R04	10,000																				
対前年度	-																				
達成状況																					
																					
	(低)																				


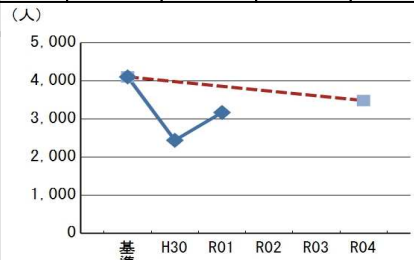

### 基本事業04 芸術文化活動の充実

指標	芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値										
	【公民館】	%	42.5	-	34.3	47.5											
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合は34.3%で、基準値と比較して8.2ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 度重なる台風の被害等で芸術文化活動まで市民の関心が及ばない時期があったのと併せ、施設改修やコロナウイルス感染予防による活動自粛等により活動をしたくても施設が利用できない期間があったことが要因と思われます。</p>	<p>(%)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>42.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>34.3</td></tr><tr><td>R01</td><td>34.3</td></tr><tr><td>R04</td><td>47.5</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	42.5	H30	34.3	R01	34.3	R04	47.5	(低下)
							項目	値									
							基準	42.5									
							H30	34.3									
R01	34.3																
R04	47.5																
対前年度																	
-																	
達成状況																	
 (低)																	


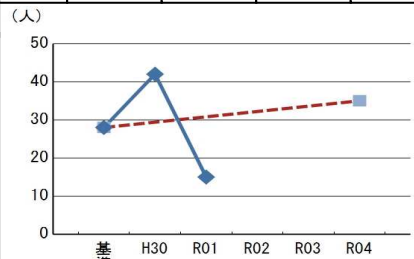



基本事業の成果状況と評価

基本事業05 青少年の育成

指標	青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【生涯学習課】	人	4,102	-	3,168	3,482	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の青少年育成事業への児童・生徒の参加者数は3,168人で、基準値と比較して934人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 国際的なテロ事件や台風等の気象災害、新型コロナウイルスのまん延などで、多くの事業が中止となったことが原因と考えられます。</p> <p>青少年育成事業：青少年相談員675人、青少年育成市民会議0人、子ども会186人、放課後子ども教室1470人</p> <p>児童生徒の体験学習事業：少年海外派遣15人、青少年スリランカ派遣0人、館内指導81人+227人、館外指導514人</p>	<p>(人)</p> 					(低下)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							
(低)							

基本事業05 青少年の育成

指標	海外派遣事業応募者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【生涯学習課】	人	28	-	15	35	
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の海外派遣事業への応募者数は15人で、基準値と比較して13人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 平成31年3月にニュージーランドで、翌4月にはスリランカでそれぞれテロ事件が発生したことに伴うスリランカへの派遣中止及び、ニュージーランドへの渡航に対し心配する方が多かった事が原因と考えます。</p>						(低下)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							 (低)

## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

高齢化社会の進行により、高齢者の健康意識の高まりによる体力づくりやスポーツ活動への参加が年々増加傾向にあるため、状況に応じたプログラムの整備を行うことで、子どもから高齢者までが、スポーツを継続的に取り組むことができる環境づくり（総合型地域スポーツクラブの設置）を推進します。

少子化に伴う少年スポーツ団体数の減少や統合により、各種団体への登録人数が減少している状況を踏まえ、子どもたちの運動機会を増やすため、一般家庭にしながら利用できる公共スポーツ施設予約システムの構築による利便性の向上を図ります。

経年劣化により老朽化したスポーツ施設の改修整備等を行い、多くの方が気持ちよく利用できる環境づくりを図ります。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
スポーツ活動に親しむ市民の割合 (%)	成果	-	32.4	☀ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	スポーツ大会 教室へ参加した市民の割合 (%)	成果	-	10.1	☁ (横ばい)	-	
01	スポーツ大会 教室の機会の充足度 (%)	成果	-	69	☀ (向上)	-	
02	スポーツ団体数 (総合型地域スポーツクラブを含む) (団体)	成果	-	49	☀ (横ばい)	-	
02	体育関係団体の指導者数 (人)	成果	-	123	☂ (低下)	-	
03	体育施設の利用者数 (人)	成果	-	138,482	☁ (横ばい)	-	
03	体育施設の修繕件数 (件)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

施策 03 スポーツの振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	・ 継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標	スポーツ活動に親しむ市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【スポーツ振興課】	%	27.7	-	32.4	28	☀ (横ばい)														
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のスポーツ活動に親しむ市民の割合は32.4%で基準値と比較して4.7ポイント増加しめざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 近年、各世代で健康のため「体力の増進・維持」を目的にスポーツ活動に親しむ市民の割合が増加してる状況です。また、65歳以上の方は「運動」や「体操」などで体を動かしたり、「脳トレ」をするなどの介護予防を行っている方が増加している状況です。</p>			<p>(%)</p> <table><caption>スポーツ活動に親しむ市民の割合の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>27.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>32.4</td></tr><tr><td>R01</td><td>32.4</td></tr><tr><td>R02</td><td>27.7</td></tr><tr><td>R03</td><td>27.7</td></tr><tr><td>R04</td><td>27.7</td></tr></tbody></table>			年度	割合 (%)	基準	27.7	H30	32.4	R01	32.4	R02	27.7	R03	27.7	R04	27.7	対 前年度
							年度	割合 (%)													
							基準	27.7													
							H30	32.4													
R01	32.4																				
R02	27.7																				
R03	27.7																				
R04	27.7																				
-																					
達成 状況																					
🏰 (達成)																					

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業 01 スポーツ活動の充実

### 基本事業 02 体育関係団体・指導者の育成

### 基本事業 03 体育施設の利用促進

#### 基本事業01 スポーツ活動の充実

指標	スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【スポーツ振興課】	%	14.4	-	10.1	14.6	(横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のスポーツ大会・教室へ参加した市民の割合は10.1%で、基準値と比較して4.3ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 災害の影響により、多くのスポーツ大会・教室等が中止になったことが原因です。参加者は、全体的に市や地域主催のスポーツ大会・教室への参加が多数を占めています。参加している人は70歳代以上の割合が高く、積極的に健康管理をしている状況です。</p>						(低)
							対前年度
							-
							達成状況
							(低)

#### 基本事業01 スポーツ活動の充実

指標	スポーツ大会・教室の機会の充足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【スポーツ振興課】	%	63.7	-	69	66.2	(向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のスポーツ大会・教室の充足度は69.0%で、基準値と比較して5.3ポイント増加し、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 各スポーツ大会や教室を実施後に、アンケート調査を行い、その結果を検討し、より参加者が興味を持つ大会運営や教室実施に努め、主要なスポーツ大会・教室等の開催内容等の変更を行いました。</p>						(達成)
							対前年度
							-
							達成状況
							(達成)

#### 基本事業02 体育関係団体・指導者の育成


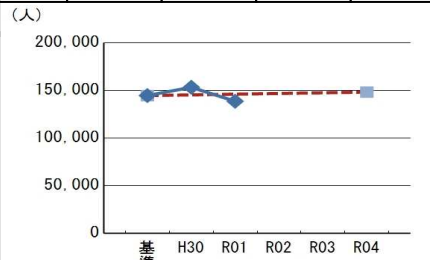

指標	スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【スポーツ振興課】	団体	49	-	49	50	(横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のスポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）は49団体で、基準値を維持しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 平成30年度と比較すると、少年スポーツクラブ連合会に加盟するクラブが1クラブ減少しました。少子化による児童・生徒の減少は続いているため、少年スポーツクラブを取り巻く環境は依然として厳しい状況です。</p>						(中)
							対前年度
							-
							達成状況
							(中)

#### 基本事業02 体育関係団体・指導者の育成


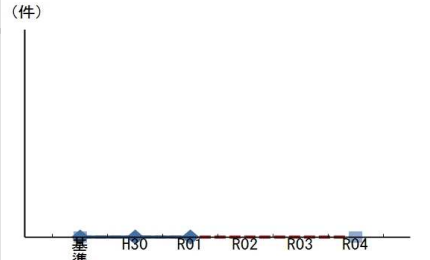

指標	体育関係団体の指導者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【スポーツ振興課】	人	133	-	123	135	(低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の体育関係団体の指導者数は123人で、基準値と比較して10人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 団体数では1団体減少したが、スポーツクラブに登録している子供の保護者が資格を取り、指導者として登録していることが、指導者数を維持している要因です。</p>						(低)
							対前年度
							-
							達成状況
							(低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業03 体育施設の利用促進

指標	体育施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
		人	144,471	-	138,482	148,122	
		【スポーツ振興課】					
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の体育施設の利用者数は138,482人で、基準値と比較して5,989人減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年度は、施設の老朽化による改修工事や台風災害及びコロナウィルス感染症拡大防止策の影響により利用者が減少しました。今後、急なキャンセル数が減少するように、予約状況の管理を行います。</p>	(人)					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況
							 (中)

基本事業03 体育施設の利用促進

指標	体育施設の修繕件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		件	0	-	0	0	
評価	【スポーツ振興課】	(件)					(横ばい)
	< 状況 > 令和元年度の体育施設の修繕件数は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 体育施設を突発的に休園、休館するようなことがないように、日常点検による、適切な修繕対応がとられています。						対 前年度
							-
							達成 状況
							 (達成)



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

「人権が尊重されているまちだ」と思う市民の割合」は、ほぼ横ばいながらも微減しています。

LGBTや外国人の人権等、配慮すべき多様な人権ニーズへの期待に応えられるよう、人権教育・啓発活動を推進します。

多様な人権問題の解決の糸口を見いだせるように、人権相談窓口を開設します。

「あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合」は、平成25年度以降、低位で推移しており、本市の男女共同参画を推進していくうえで順調とはいえない状況にあります。このため、平成31年度から運用を開始する「第3次山武市男女共同参画計画」において、積極的に男女共同参画に関連する施策を推進する必要があります。



## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合（％）	成果	-	58.5	☀ (向上)	-	
あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合（％）	成果	-	24.6	☀ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合（％）	成果	-	23.3	☁ (横ばい)	-	
01	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合（％）	成果	-	9.3	☀ (横ばい)	-	
02	人権侵害に対する措置件数（件）	代替	-	886	☂ (低下)	-	
03	審議会などに女性委員が登用されている割合（％）	成果	-	22.1	☁ (横ばい)	-	
03	男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合（％）	成果	-	77.7	☀ (横ばい)	-	
03	男性が家事・育児に積極的に参加している割合（％）	成果	-	39.2	☁ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

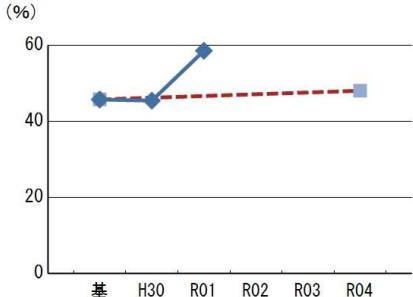
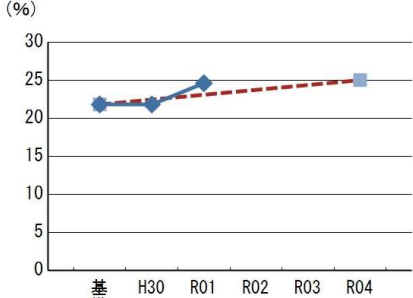
## 政策 05 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり

### 施策 04 人権尊重のまちづくり

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
・ 市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが基本的人権が守られる地域社会になります。</li> <li>男女の不公平感が解消され、女性の社会進出の促進が図られます。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価

指標	人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【市民課】	%	45.7	-	58.5	48	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の人権が尊重されているまちだと思ふ市民の割合は58.5%で、基準値と比較して12.8ポイント増加し、後期めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 人権教育やマスメディアにより、市民の多様な人権に対する意識が高まるとともに、各種人権に対するニーズも多様化したものと分析します。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							☀ (達成)
指標	あらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	%	21.8	-	24.6	25	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のあらゆる分野で男女が対等に参画していると思ふ市民の割合は24.6%で、基準値を2.8ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; アンケートでは、70歳以上では30%を超えますが、他の年代では20%前半を推移しています。男女別では男性30.9%、女性19.5%と大差があり認識に相違がみられます。前年度より指標値が向上していることから男女共同参画への理解と取り組みが進んできているものと考えます。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							■ (高)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

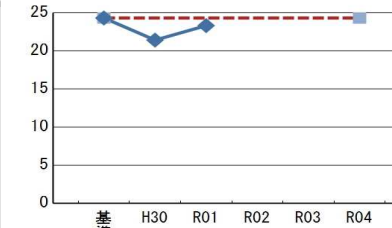

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業 01 人権教育・人権啓発の推進

### 基本事業 02 人権擁護の推進

### 基本事業 03 男女共同参画の推進


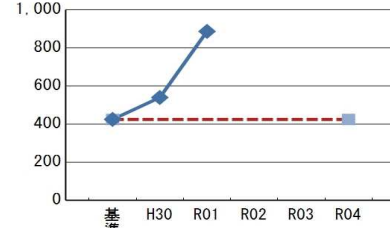

#### 基本事業01 人権教育・人権啓発の推進

指標	この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		【市民課】	%	24.3	-	23.3	24.3
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のこの1年間に人権について学んだことのある市民の割合は23.3%で、基準値と比較して1ポイント減少しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 年齢別では10歳代が34.8%と一番高く、小学校での人権教室等の啓発活動の成果と思われます。他の年代への人権教育の周知を図る必要があると思われます。</p>	(%)					(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況
							 (中)


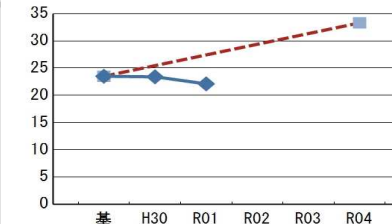

#### 基本事業01 人権教育・人権啓発の推進

指標	この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【市民課】	%	10.5	-	9.3	10.5															
		(%)	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>10.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>9.3</td></tr><tr><td>R01</td><td>9.3</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>10.5</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	10.5	H30	9.3	R01	9.3	R02	-	R03	-	R04	10.5
項目	値																				
基準	10.5																				
H30	9.3																				
R01	9.3																				
R02	-																				
R03	-																				
R04	10.5																				
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のこの1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合は9.3%で、基準値と比較して1.2ポイント減少し、後期めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; アンケートの回答では、「ある」と回答した人は年齢別では30歳代で特に顕著で、職業別では会社員・公務員層に多い傾向です。このような結果から、引き続き職場を中心に人権啓発を図る必要があると考えます。</p>						対前年度														
							-														
							達成状況														
							 (達成)														

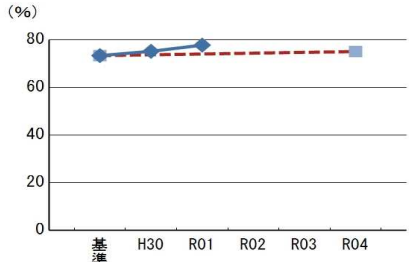

#### 基本事業02 人権擁護の推進

指標	人権侵害に対する措置件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		件	424	-	886	424	
評価	【市民課】	(件)					(低下)
	< 状況 > 令和元年度人権侵害に対する措置件数は886件で、基準値と比較して462件増加しています。						対 前年度
	< 原因 > 児童生徒いじめ認知件数が878件（小学校770件、中学校108件）で、平成29年のいじめ防止対策推進法の改正による認知基準が、「児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」に改正されたため、報告数が増加傾向となっています。						-
							達成 状況
							 (低)

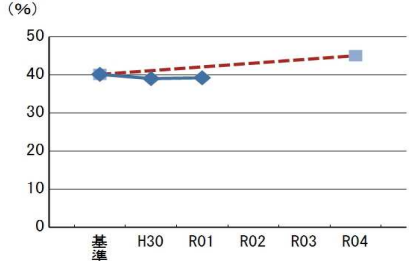

#### 基本事業03 男女共同参画の推進

指標	審議会などに女性委員が登用されている割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値														
	【企画政策課】	%	23.5	-	22.1	33.3															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の審議会などに女性委員が登用されている割合は22.1%で、基準値と比較して1.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 前年度との比較では、女性委員の登用数は8人減少し全体では77人です。減少の主な要因は、審議会の減少に伴い女性委員7人が減少したことによるものです。引き続き、積極的な女性委員の登用に向けて、第3次男女共同参画計画や山武市審議会等委員への女性登用推進方針を基に全庁的に取り組みます。</p>	<p>(%)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>23.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>22.1</td></tr><tr><td>R01</td><td>22.1</td></tr><tr><td>R02</td><td>-</td></tr><tr><td>R03</td><td>-</td></tr><tr><td>R04</td><td>33.3</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	23.5	H30	22.1	R01	22.1	R02	-	R03	-	R04	33.3	(横ばい)
							項目	値													
							基準	23.5													
							H30	22.1													
							R01	22.1													
R02	-																				
R03	-																				
R04	33.3																				
対前年度	-																				
達成状況	-																				
																					
	(低)																				

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	%	73.3	-	77.7	75	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合は77.7%で、基準値と比較して4.4ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; アンケートの割合では、全ての年代で70%を超えており、10代の91.3%をはじめ若年層で高水準を推移しています。男女別では、男性74.1%、女性81.0%でそれぞれ昨年度の数値を向上しています。これらのことから、男女ともに性別的役割意識の解消が進んでいると思われます。</p>						(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況  (達成)

基本事業03 男女共同参画の推進

指標	男性が家事・育児に積極的に参加している割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	%	40.1	-	39.2	45	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の男性が家事・育児に積極的に参加している割合は39.2%で、基準値と比較して0.9ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; アンケートの割合では、男性が43.8%、女性が35.5%で男女間での家事・育児に対する認識の相違が見受けられます。男性が家事・育児に積極的に参加していくには、男性の意識の醸成、家庭内での意思疎通や職場等の周囲の環境整備が進んでいくことが必要と考えます。</p>						(横ばい)
							対 前年度
							-
							達成 状況  (中)



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

多様化する市民ニーズに対応したきめ細かいサービスの提供を行政が担う時代から支えあいと活気のある住民主体の協働による共助社会へと移行しつつあります。地域まちづくり協議会等を通じて、各種団体等が交流し、自らが課題解決をするまちづくりを推進します。

前総合計画期間における「市民活動（地域活動）に参加している市民の割合」、「NPO・ボランティア活動をしている市民割合」は、ほぼ横ばいで推移してきました。更なる市民活動の活性化を図るため、条例の整備や市民活動中間支援センター設置等、まちづくりを推進していくための環境整備に努めます。

近年、山武市においても外国人が増加していることから、在住外国人と地域の人々が、共に理解し、暮らしていけるまちづくりが必要です。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるスリランカのホストタウンとして、オールさんむで大会の成功に協力するとともに、その開催効果を市の発展につなげます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
市民活動（地域活動）に参加している市民の割合（％）	成果	-	36.5	☂ (低下)	-	
NPO・ボランティア活動をしている市民割合（％）	成果	-	17	☁ (横ばい)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	区会、自治会加入率（％）	成果	-	71.9	☁ (横ばい)	-	
02	市民活動に意欲的な市民割合（％）	成果	-	40.9	☁ (横ばい)	-	
02	市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合（％）	成果	-	93.6	☀ (横ばい)	-	
03	市民活動支援施設の利用者数（人）	代替	-	54,093	☀ (向上)	-	
03	活動場所に困っている市民活動団体の割合（％）	成果	-	17.8	☀ (向上)	-	
04	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数(オリパラ関連除く)(件)	成果	-	9	☀ (横ばい)	-	
05	東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数(事業)	成果	-	20	☁ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。


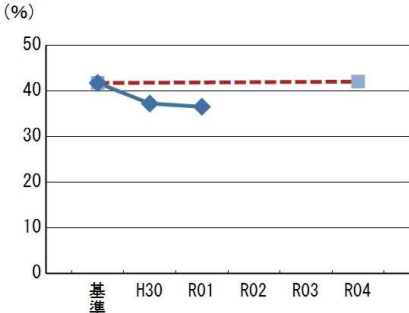

## 政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり


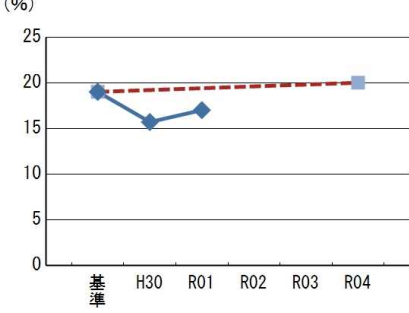

### 施策 01 協働と交流によるまちづくり

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・NPO法人</li> <li>・市民活動団体</li> <li>・職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりや公共について、市民と行政が共に考え、共に実践していく市民活動が活発に行われています。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価

指標	市民活動（地域活動）に参加している市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【市民自治支援課】	%	41.7	-	36.5	42	 (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市民活動（地域活動）に参加している市民の割合は36.5%で、基準値と比較して5.2ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 交流センターなど市民活動を行う拠点が各地域に整備されており、一定の市民活動団体は、各拠点等を中心に活発な活動を展開していますが、多くの地域住民がこれに関心を持つ、又は参加していくまでの段階には至っていないと思われます。市民活動の意義と地域課題に対するその必要性を認識した上で行動に繋げていく必要があります。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							 (低)

指標	NPO・ボランティア活動をしている市民割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【市民自治支援課】	%	19	-	17	20	 (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のNPO・ボランティア活動をしている市民割合は17.0%で、基準値と比較して2.0ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 基準値との比較は減少しているものの、昨年度との比較としては、1.3ポイントの増加となっています。昨年度発生した気象災害等により、各地のボランティア活動が活発化したことが原因と思われます。ボランティア活動を行う方々に対する市の支援は、現時点では無く、地道な活動により支えられている方々も多いことから、支援の仕組み作りを検討する必要があります。</p>						対 前年度
							-
							達成 状況
							 (低)

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。



## 基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 区・自治会活動の活性化

基本事業 02 市民活動の活性化

基本事業 03 市民活動施設の利用促進

基本事業 04 多文化共生社会の推進

基本事業 05 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進

### 基本事業01 区・自治会活動の活性化

指標	区会、自治会加入率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民課】	%	73.3	-	71.9	73.3	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の区、自治会加入率は71.9%で、基準値と比較して1.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 転入世帯へは、転入時に加入案内等のパンフレットを配布して、継続して加入率の向上に努めていますが、既存の区、自治会内では加入者の高齢化が進み、離脱する市民も出てきています。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					☁ (横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況
							■ (中)

### 基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動に意欲的な市民割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	45.4	-	40.9	48	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市民活動に意欲的な市民割合は40.9%で、基準値と比較して4.5ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 基準値との比較は減少しているものの、昨年度との比較では、1.5ポイントの増加となっています。近年の気象災害、また、オリパラの開幕を控え、ボランティア等の市民活動に対する関心度が徐々に高まりつつあると思われます。特にボランティアに関しては、ボランティア市民活動センターと連携し、情報の公開に努めていきます。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					☁ (横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況
							■ (低)

### 基本事業02 市民活動の活性化

指標	市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	88.9	-	93.6	90	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合は93.6%で、基準値と比較し4.7ポイント増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 現在行われている市の支援は、各事業等への補助金交付及び交流センター等の開設による活動施設の確保等となります。市民活動を実施している多くの方が支援を受けられるよう対策を検討してまいります。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					☀ (横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況
							🏰 (達成)

### 基本事業03 市民活動施設の利用促進

指標	市民活動支援施設の利用者数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	人	44,066	-	54,093	45,000	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 市民活動施設の利用者数は54,093人で、基準値と比較して10,027人増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 各交流センターが設置され、その認知度が上がったことによるものと思われます。特に、連沼交流センターは、6,818人の増加、あららぎ館は、3,734人の増加となりました。各地域の市民活動の拠点が完成したことで、今後の更なる活用が期待されます。</p>	<p>(人)</p> <p>基準 H30 R01 R02 R03 R04</p>					☀ (向上)
							対前年度
							-
							達成状況
							🏰 (達成)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業03 市民活動施設の利用促進

指標	活動場所に困っている市民活動団体の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	23.8	-	17.8	23	☀
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の活動場所に困っている市民活動団体の割合は17.8%で、基準値と比較して6ポイント減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 各地区に交流センター等が設置され、公共施設での活動場所の不足は、解消されつつあると思われます。</p>						(向上)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業04 多文化共生社会の推進

指標	多文化共生社会への行政・市民団体の取組数(オリパラ関連除く)	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	件	9	-	9	9	☀
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の多文化共生社会への行政・市民活動団体の取組数は9件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 庁内各課及びS G Cにより、隔年の事業等を除き、毎年継続して実施されていることからほぼ同数で推移しています。オリンピック・パラリンピックの開催を控え、これに合わせて多文化共生の気運も高まりつつあります。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業05 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進

指標	東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室】	事業	21	-	20	20(H32)	☁
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の東京オリンピック・パラリンピック関連事業の実施数は20事業で、基準値と比較して1事業減少しましたが、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 東京2020大会開催までの期間に見合った事業について、毎年度アクションプランを策定し、計画的に事業を実施する事で目標を達成しています。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)



## 施策を取り巻く環境変化と課題

### 施策の 環境変化と 課題

株式会社ブランド総合研究所の地域ブランド調査によれば、山武市の認知度は1,000団体中919位（平成30年度現在）となっています。首都圏に位置し、成田国際空港に近接している立地メリットや、魅力ある地域資源のポテンシャルを発揮するため、市外から「山武市」を知ってもらえる集中的な情報発信体制を構築し、市の魅力を積極的に発信していきます。

広報紙や議会だよりの創意工夫に加え、新聞離れやインターネットメディアの普及等から、SNSを活用しながら、市政情報の伝達手段の多様化に取り組みます。

「市長への手紙」等の仕組みを通じて、市民と行政とが情報共有することにより相互理解を深めます。

ICTを活用した議会中継配信（平成28年9月運用開始）の周知等を通じ、議会への関心を高めていきます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
市政情報の提供の満足度 (%)	成果	-	82.7	☁ (横ばい)	-	
多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合 (%)	成果	-	63.4	☀ (横ばい)	-	
山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合 (%)	成果	-	24.9	☀ (向上)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	広報紙を読んでいる市民の割合 (%)	成果	-	85	☁ (横ばい)	-	
01	広報紙が分かりやすいと思う市民の割合 (%)	成果	-	86.5	☁ (横ばい)	-	
01	市ホームページアクセス件数 (アクセス)	成果	-	827,353	☀ (向上)	-	
01	まちの魅力の各種メディア掲載件数 (件)	成果	-	289	---	-	
02	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合 (%)	成果	-	26.7	☁ (横ばい)	-	
03	議会だよりを読んでいる市民の割合 (%)	成果	-	41.6	☂ (低下)	-	
03	傍聴人数 (人)	成果	-	84	☂ (低下)	-	
03	議会インターネット中継アクセス件数 (件)	成果	-	1,394	☂ (低下)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

### 施策 02 開かれた市政とまちの魅力発信

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・行政</li> <li>・国民</li> <li>・職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政情報が適切に市民に伝わるとともに、市民の意見が市政に取り入れられています。</li> <li>・市民一人ひとりが「わがまち」に誇りを持ち、市外からも魅力が感じられています。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価

指標	指標の対象	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	市政情報の提供の満足度 【企画政策課】	%	84.1	-	82.7	85	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市政情報の提供の満足度は82.7%で、基準値と比較して1.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; ホームページのアクセス件数は増加しましたが、広報紙や議会だよりを読んでいる市民の割合が前年度より低下したことが、指標値の低下原因と考えられます。</p>						<p>(%)</p> <p>対前年度 -</p> <p>達成状況 ■■ (低)</p>
指標	指標の対象	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合 【総務課】	%	60.2	-	63.4	65	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の多様な市民の声を取り入れる仕組みとなっていると思う市民の割合は63.4%で、基準値と比較して3.2ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 年齢別では10～20歳代の若い世代で満足している割合が高く、職業別では「学生」が高くなっています。また、市ホームページなど、インターネットを活用した仕組みづくりが全世代には浸透していないものと思われます。</p>						<p>(%)</p> <p>対前年度 -</p> <p>達成状況 ■■ (中)</p>
指標	指標の対象	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合 【企画政策課】	%	19.2	-	24.9	25	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の山武市の特徴や良い点を近隣以外の人に説明できる市民の割合は24.9%で、基準値と比較して5.7ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 「説明できる」と回答した割合は、年齢別では10～20歳代の若い層が高く、職業別では「学生」が高くなっています。また、説明できる項目として、「いちご」や「自然が豊か」「都心や成田空港へのアクセスがよい」という意見があげられています。</p>						<p>(%)</p> <p>対前年度 -</p> <p>達成状況 ■■■ (高)</p>

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業 01 情報発信力の充実

### 基本事業 02 広聴の充実

### 基本事業 03 議会情報の公開の推進

#### 基本事業01 情報発信力の充実

指標	広報紙を読んでいる市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	88.1	-	85	90	(横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の成果指標は85%で、基準値と比較して3.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 市民編集委員と協働し、市民目線で市民生活に密着した情報や特集記事の掲載、台風被害に関する支援等をお知らせするため号外を発行しましたが、行政情報のお知らせが多く、文字が多い紙面構成になっていることが一つの要因と考えられます。また、パソコンやスマートフォンの普及により広報紙離れが進んでいることも考えられます。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							(低)

#### 基本事業01 情報発信力の充実

指標	広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	%	87.1	-	86.5	90	(横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の広報紙が分かりやすいと思う市民の割合は86.5%で基準値と比較して0.6ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 行政情報のお知らせが多く、文字が多い紙面構成となっていることが一つの原因と考えます。また、パソコンやスマートフォンの普及により広報紙離れが進んでいることも考えられます。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							(低)

#### 基本事業01 情報発信力の充実

指標	市ホームページアクセス件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民自治支援課】	アクセス	694,077	-	827,353	728,000	(向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市ホームページのアクセス件数は827,353アクセスで、基準値と比較して133,276アクセス増加し、後期めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; パソコンやスマートフォンの普及によりホームページのアクセス件数が増加しています。各部署のページの充実や災害対応について迅速な情報発信に努めたことでアクセス件数が増加したと考えられます。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							(達成)

#### 基本事業01 情報発信力の充実

指標	まちの魅力の各種メディア掲載件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【総務課】	件	195	-	289	215	---
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度のまちの魅力の各種メディア掲載件数は289件で、基準値と比較して94件増加し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 台風関連及び東京オリンピック・パラリンピック関連の記事で全体の29%を占めており、その他様々な取り組みが記事として取り上げられました。</p>						対前年度
							-
							達成状況
							(達成)



## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業02 広聴の充実

指標	市民の声が市政に届いていると思う市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【総務課】	%	26.8	-	26.7	33	☁️ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市民の声が市政に届いていると思う市民の割合は26.7%であり、基準値と比較して0.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 30歳代においては17.9%と顕著に低い数値であり、10歳代、50歳代及び70歳以上においてはめざそう値を上回っている状況です。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■■ (中)

### 基本事業03 議会情報の公開の推進

指標	議会だよりを読んでいる市民の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【議会事務局】	%	45.7	-	41.6	47	☔️ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の議会だよりを読んでいる市民の割合は41.6%で、基準値と比較して4.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 議会だより編集委員会で協議検討し、見やすい紙面になるようレイアウト等を工夫していますが、台風の影響による9月定例会一般質問の取りやめにより記事内容の変更等、情報量の減少に伴う一時的な紙面離れがあったと考えられます。</p>						(低下)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■■ (低)

### 基本事業03 議会情報の公開の推進

指標	傍聴人数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【議会事務局】	人	120	-	84	140	☔️ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の傍聴人数は84名で、基準値と比較して36名減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 議会インターネット中継システム導入により、スマートフォン等からも議会中継を視聴することができることと併せ、令和元年度は、台風の影響により9月定例会の傍聴者数が大幅に減少したことが要因と考えられます。</p>						(低下)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■■ (低)

### 基本事業03 議会情報の公開の推進

指標	議会インターネット中継アクセス件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【議会事務局】	件	2,589	-	1,394	2,800	☔️ (低下)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の議会インターネット中継アクセス件数は1,394件で、基準値と比較して1,195件減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 議会の内容により、アクセス件数は増減すると思われます。令和元年度は、9月に発生した台風被害による大規模停電等の影響や、9月定例会一般質問の取りやめなどが要因でアクセス件数が減少したと考えられます。</p>						(低下)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■■ (低)





## 施策を取り巻く環境変化と課題

施策の  
環境変化と  
課題

権限移譲や人口減少等の影響から職員一人ひとりの事務量増加が見込まれる中、行政評価の仕組みを活用することで、費用対効果の高い事業への資源配分を推進し、結果重視の行政経営を一層推進する必要があります。

年金の支給開始年齢の段階的引き上げによる再任用の原則義務化、地方公務員法の改正による人事評価結果の処遇反映の義務化や会計年度任用職員制度の導入等に対応した、組織運営が必要です。

2021年度から普通交付税の合併算定替期間が終了することに伴い、歳入歳出のバランスの適正化を推進する必要があります。

人口減少社会を踏まえた公共施設等総合管理計画（平成28年度）の方針に基づき、具体的な公共施設の見直し案となる個別施設計画の策定を2020年度までに行い、公共施設の適正化を推進します。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
施策の目標達成率(%)	成果	-		---	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	基本事業の目標達成率(%)	成果	-		---	-	
01	PDCAサイクルを意識している職員の割合(%)	成果	-	54.3	☀ (横ばい)	-	
02	部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合(%)	成果	-	69.3	☁ (横ばい)	-	
02	能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合(%)	成果	-	77.9	☁ (横ばい)	-	
02	研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合(%)	成果	-	92.8	☁ (横ばい)	-	
03	経常収支比率(%)	成果	-	92.6	☁ (横ばい)	-	
03	実質公債費比率(%)	成果	-	8.7	☀ (横ばい)	-	
03	経常経費に占める一般財源の割合(%)	成果	-	78.58	☀ (横ばい)	-	
04	市税収納率(%)	成果	-	97.58	☀ (横ばい)	-	
05	市保有の土地活用率(%)	成果	-	45.5	☁ (横ばい)	-	
05	公共施設維持管理費(万円)	成果	-	143,715	☀ (向上)	-	
06	市のITサービスを利用している市民割合(%)	成果	-	41.5	☀ (向上)	-	
06	主要情報システムの予期せぬ停止時間(年間)(時間)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

**政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり**

**施策 03 計画的・効率的な行財政運営**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政</li> <li>・ 市民</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的・効率的・効果的な行財政運営が行われています。</li> </ul>

**施策の成果状況と評価**

指標	施策の目標達成率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【企画政策課】	%	29.1	-		60	---
評価	< 状況 > 施策・基本事業評価の入力完了後に確定する指標のため、確定次第 入力します。		(%)				対 前年度
							-
							達成 状況
							---

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
 なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	行政経営の推進
基本事業	02	人材育成と効率的な組織運営
基本事業	03	健全な財政運営
基本事業	04	税収の確保
基本事業	05	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
基本事業	06	情報化の推進と適正管理

### 基本事業01 行政経営の推進

指標	基本事業の目標達成率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	%	35.6	-		70	
評価	< 状況 > 施策・基本事業評価の入力完了後に確定する指標のため、確定次第入力します。	(%) 					対前年度
							-
							達成状況
							---

### 基本事業01 行政経営の推進

指標	PDCAサイクルを意識している職員の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	%	51.9	-	54.3	66.7	☀
評価	< 状況 > 令和元年度のPDCAサイクルを意識している職員の割合は54.3%で、基準値と比較して2.4ポイント増加しました。 < 原因 > 例年実施している職員向けの説明会に加えて、若手職員向けの研修を実施したことにより向上したものと考えられます。	(%)(横ばい) 					対前年度
							-
							達成状況
							■■ (中)

### 基本事業02 人材育成と効率的な組織運営

指標	部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【総務課】	%	74.2	-	69.3	78	☁
評価	< 状況 > 令和元年度の部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合は69.3%で、基準値と比較して4.9ポイント減少しました。 < 原因 > 令和元年房総台風・東日本台風及び10月25日の大雨時の災害対応業務や新型コロナウイルス感染症対策業務により、職員の交代勤務、サテライトでの事務、在宅勤務等の実施があり、通常業務時よりも職員連携が低下したと感じた職員が増えたためと考えられます。	(%)(横ばい) 					対前年度
							-
							達成状況
							■■ (低)

### 基本事業02 人材育成と効率的な組織運営

指標	能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【総務課】	%	82.1	-	77.9	85	☁
評価	< 状況 > 令和元年度の能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合は77.9%で、基準値と比較して4.2ポイント減少しました。 < 原因 > 目標設定度の平準化や評価結果のフィードバックが定着し、人事評価自体の精度向上が図られてはいるが、災害対応業務等では、部署間に業務量の偏りや応援体制のあり方について改善意見が寄せられるなど、公平性、納得性の減少につながったものと考えられます。	(%)(横ばい) 					対前年度
							-
							達成状況
							■■ (低)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業02 人材育成と効率的な組織運営

指標	研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【総務課】	%	93.4	-	92.8	95	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合は92.8%で、基準値と比較して0.6ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 令和元年房総台風・東日本台風及び10月25日の大雨時の災害対応業務や新型コロナウイルス感染症対策業務により、研修機関が実施する外部研修や内部研修の実施に延期や中止が発生したことにより参加者も減少し資質の向上意識の低下につながったものと考えられます。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■ (中)

### 基本事業03 健全な財政運営

指標	経常収支比率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【財政課】	%	91	-	92.6	90	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の経常収支比率は92.6%で、基準値と比較して1.6ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 経常的に収入される一般財源は減少傾向にある一方で、経常的に支出される扶助費等は増加傾向にあり、経常収支比率は増加傾向にあります。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■ (中)

### 基本事業03 健全な財政運営

指標	実質公債費比率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【財政課】	%	9.3	-	8.7	9	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の実質公債費比率は8.7%で、基準値と比較して0.6ポイント減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 計画的な借り入れを行ってきたため、公債費は減少傾向にあり、実質公債費比率は減少傾向にあります。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ☀ (達成)

### 基本事業03 健全な財政運営

指標	経常経費に占める一般財源の割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【財政課】	%	78.68	-	78.58	77	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の経常経費に占める一般財源の割合は78.58%で、基準値と比較して0.1ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 経常経費は増加傾向にありますが、経常的な特定財源も増加していることから、経常経費に占める一般財源の割合は横ばいとなっています。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■ (中)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業04 税収の確保

指標	市税収納率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【収税課】	%	97.48	-	97.58	98.53	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市税収納率は97.58%で、基準値と比較して0.1ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 市県民税の特別徴収の増加、納付環境拡大の周知（口座振替の推進）、文書催告の強化及び分割納付者への履行監視に努めたことによるものと考えられます。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■ (中)

### 基本事業05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

指標	市保有の土地活用率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【財政課】	%	49	-	45.5	50	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市保有の土地活用率は45.5%で、基準値と比較して3.5ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 土地の貸付件数の減少や、比較的面積の大きい物件の契約が終了したことによって土地の活用率が低下したと考えられます。</p>						(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■ (低)


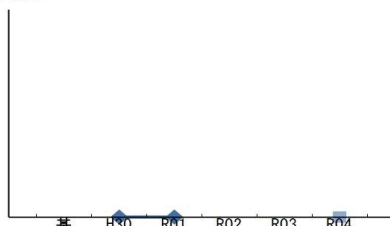

### 基本事業05 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進

指標	公共施設維持管理費	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【財政課】	万円	192,225	-	143,715	192,000	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の公共施設維持管理費は143,715万円で、基準値と比較して48,510万円減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 基礎データの見直しを行い、公共施設維持管理費から公共施設の運営に係る費用（施設型給付費・私立幼稚園等に対する補助）を除いたことにより大幅な減少となりました。実質の公共施設維持管理費については、前年度と比較してほぼ横ばいとなります。</p>						(向上)
							対前年度
							-
							達成状況 ■■ (中)

### 基本事業06 情報化の推進と適正管理

指標	市のICTサービスを利用している市民割合	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【企画政策課】	%	28	-	41.5	31	☀ (向上)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の市のICTサービスを利用している市民割合は41.5%で、基準値と比較して13.5ポイント増加しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; スマートフォンの普及や台風等災害情報の提供により、SNS・ホームページの利用や安全安心メールの登録が増えたため上昇したと考えられます。</p>						(向上)
							対前年度
							-
							達成状況 ■ (達成)

基本事業06 情報化の推進と適正管理

指標	主要情報システムの予期せぬ停止時間（年間）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
		時間	-	-	0	0	
評価	【企画政策課】	(時間)					(横ばい)
	< 状況 > 令和元年度の主要情報システムの予期せぬ停止時間（年間）は0時間で、めざそう値を達成しています。 < 原因 > 主要情報システム（住基、税、国保、年金、福祉総合）については、毎日の点検により、不具合を早期に見つけ、予備的保守を実施したことが原因と考えられます。						対 前年度
							-
							達成 状況
							 (達成)





## 施策を取り巻く環境変化と課題

施策の  
環境変化と  
課題

地方自治体の業務が多様化、高度化する一方で、引き続き、市民に対して不安や誤解を与えない正確な事務執行と会計処理を行っていく必要があります。このため、職員誰もが公正で確実な行政サービスを提供できるよう取り組みます。

選挙権が18歳以上に引き下げられましたが、依然として投票率の向上が見られないことから、若い世代を中心に選挙に関心を持ってもらうための啓発活動を行い、併せて選挙事務の効率化に取り組みます。

## 施策・基本事業成果指標の一覧

### 施策の成果指標

成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
公正確実な事務の執行の満足度 (%)	成果	-	74.1	☂ (低下)	-	

### 基本事業の成果指標

No.	成果指標名	区分	H30実績	R01実績	対 基準値	対 前年度	掲載
01	口座振替支払期日における支払不能件数 (件)	成果	-	29	☀ (向上)	-	
02	市政投票率 (市長) (%)	成果	-	-	---	-	
02	市政投票率 (市議) (%)	成果	-	55.6	---	-	
03	監査による指摘事項などの措置率 (%)	成果	-	100	☀ (横ばい)	-	
04	不服申立による変更件数 (件)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	
04	個人情報の漏洩件数 (件)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	
05	窓口サービスの満足度 (%)	成果	-	82	☁ (横ばい)	-	
06	不服申立等により課税誤りになった件数 (件)	成果	-	0	☀ (横ばい)	-	

掲載欄に のある成果指標については、次の成果状況と評価においてグラフと評価コメントを掲載しています。

## 政策 06 市民と行政が協働してつくるまちづくり

### 施策 04 公正確実な事務の執行

#### 施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民</li> <li>・ 職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員のだれもが、公正で確実な行政サービスを提供できます。</li> </ul>

#### 施策の成果状況と評価


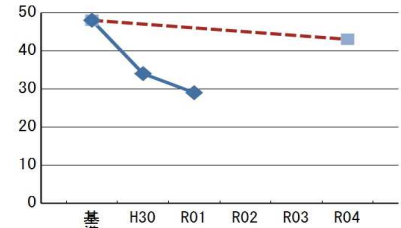

指標	公正確実な事務の執行の満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値										
	【総務課】	%	81.9	-	74.1	82	☂ (低下)										
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の公正確実な事務の執行の満足度は74.1%で、基準値と比較して7.8ポイント減となっています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 基準値と比較すると7.8ポイント減となっているものの、対前年度比では2.3ポイント向上しています。引き続き、文書管理や情報公開制度等の市独自の研修の実施等により、職員の事務能力の向上が図られるものと考えられます。</p>			<p>(%)</p> <table><caption>満足度の推移</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>81.9</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>R01</td><td>74.1</td></tr><tr><td>R04 (めざそう値)</td><td>82</td></tr></tbody></table>			項目	値 (%)	基準	81.9	H30	-	R01	74.1	R04 (めざそう値)	82	対 前年度
							項目	値 (%)									
							基準	81.9									
							H30	-									
R01	74.1																
R04 (めざそう値)	82																
-																	
達成 状況																	
■■■ (低)																	

見開き左側のページに施策の成果状況を、右側のページに基本事業の成果状況を掲載しています。  
なお、基本事業の成果状況については、特に動きのあった指標を抜粋して掲載しています。

## 基本事業の成果状況と評価

基本事業	01	適正な会計処理
基本事業	02	積極的な選挙啓発
基本事業	03	監査の充実
基本事業	04	情報公開及び個人情報保護の推進
基本事業	05	窓口サービスの向上
基本事業	06	公平・公正な課税


### 基本事業01 適正な会計処理

指標	口座振替支払期日における支払不能件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値														
	【会計課】	件	48	-	29	43															
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の口座振替支払期日における支払不能件数は29件で、基準値と比較して19件減少し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 債権者登録内容、振込依頼データを複数の職員が確認しています。振込不能返却報告書が随時ファックス連絡されるようになったことと、正当債権者情報等の整理をすることにより、当日再振込ができる件数が増加しました。</p>	<p>(件)</p>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>48</td></tr><tr><td>H30</td><td>0</td></tr><tr><td>R01</td><td>29</td></tr><tr><td>R02</td><td>0</td></tr><tr><td>R03</td><td>0</td></tr><tr><td>R04</td><td>43</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	48	H30	0	R01	29	R02	0	R03	0	R04	43	(向上)
		項目	値																		
基準	48																				
H30	0																				
R01	29																				
R02	0																				
R03	0																				
R04	43																				
							対 前年度														
							-														
							達成 状況														
							 (達成)														


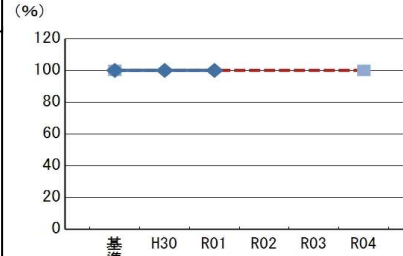

### 基本事業02 積極的な選挙啓発

指標	市政投票率（市長）	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【選挙管理委員会事務局】	%	-	-	-	50	
評価	< 状況 > 令和元年度に市長選挙はありませんでした。 < 原因 >	<div>(%)</div> <div>基準 H30 R01 R02 R03 R04</div>					---
							対 前年度
							-
							達成 状況
							---

### 基本事業02 積極的な選挙啓発

指標	市政投票率（市議）	単位	基準値	実績値 （H30）	実績値 （R01）	めざそう値 （R04）	対 基準値
	【選挙管理委員会事務局】	%	-	-	55.6	55	
		(%)					---
評価	< 状況 > 令和元年度の市政投票率（市議）は55.6%で、めざそう値を達成しました。 < 原因 > 平成31年4月21日執行の山武市議会議員選挙で、定数20に対して29名の方が立候補したことにより、市民（有権者）の関心が高まったことが考えられます。						対 前年度
							-
							達成 状況
							 (達成)

### 基本事業03 監査の充実

指標	監査による指摘事項などの措置率	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対 基準値
	【監査委員事務局】	%	100	-	100	100	 (横ばい)
		(%) 					対 前年度
評価	< 状況 > 令和元年度の監査による指摘事項などの措置率は100%で、基準値を維持し、めざそう値を達成しています。						-
	< 原因 > 監査等の結果、是正すべき点を明確にすることにより、事務が適正に行われ、すべて措置が講じられたと考えられます。						達成 状況
							 (達成)

## 基本事業の成果状況と評価

### 基本事業04 情報公開及び個人情報保護の推進

指標	不服申立による変更件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【総務課】	件	0	-	0	0	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の不服申立による変更件数はゼロ件で、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 職員の事務が正確に行われているためと考えられます。</p>	(件)					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業04 情報公開及び個人情報保護の推進

指標	個人情報の漏洩件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【総務課】	件	0	-	0	0	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の個人情報漏洩件数はゼロ件で、めざそう値を達成しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 個人情報の取扱いについての注意喚起を継続的に行っているためと考えられます。</p>	(件)					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)

### 基本事業05 窓口サービスの向上

指標	窓口サービスの満足度	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【市民課】	%	82.4	-	82	84	☁ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 窓口サービスの満足度は82.0%で、基準値と比較して0.4ポイント減少しました。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 休日の窓口の開設、マイナンバーカード等を利用したコンビニ交付の実施、窓口混雑時緩和等を目的とした窓口番号案内システムを導入し、窓口サービスの向上に努めていますが、市役所の窓口によって満足度にばらつきがあることが考えられます。</p>	(% )					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (中)

### 基本事業06 公平・公正な課税

指標	不服申立等により課税誤りになった件数	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R01)	めざそう値 (R04)	対基準値
	【課税課】	件	0	-	0	0	☀ (横ばい)
評価	<p>&lt; 状況 &gt; 令和元年度の不服申立等による課税誤りとなった件数は0件で、基準値を維持し、めざそう値を達成しています。</p> <p>&lt; 原因 &gt; 課税客体を的確に把握し、適正な賦課が実施されたためと思われます。</p>	(件)					(横ばい)
							対前年度
							-
							達成状況 🏰 (達成)

